東日本大震災

Rotary

支援報告書

国際ロータリー第2530地区

Rotary International District 2530

■ Contents ■

はじめに　東日本大震災支援報告書編集委員会 委員長　酒井善盛 …… 2
巻頭言　国際ロータリー第2530地区 2016－17年度ガバナー　佐久間英一 …… 3

<2010−2011>
ガバナーメッセージ …… 4
組織図 …… 5
支援活動記録 …… 6
義援金受入・支援先報告 …… 12

<2011−2012>
ガバナーメッセージ …… 14
組織図 …… 15
支援活動記録 …… 16
義援金受入・地区版補助金承認報告 …… 33

<2012−2013>
ガバナーメッセージ …… 38
組織図 …… 39
支援活動記録 …… 40
義援金入金支出表・復興補助金承認報告 …… 62

<2013−2014>
ガバナーメッセージ …… 66
組織図 …… 67
支援活動記録 …… 68
義援金受入・地区補助金承認報告 …… 92

<2014−2015>
ガバナーメッセージ …… 96
組織図 …… 97
支援活動記録 …… 99
復興補助金 収支並びに承認一覧 …… 112

<2015−2016>
組織図 …… 114
福島第一原子力発電所 視察写真 …… 115
支援活動記録 …… 116
復興補助金 収支並びに承認一覧 …… 126

編集後記　東日本大震災支援報告書編集委員会 副委員長　野地利雄 …… 129

感　謝

東日本大震災支援報告書編集委員会　委員長　酒井　善盛

2011年3月11日、未曾有の震災から今日まで5年数か月の間、国内34地区をはじめ世界中のロータリークラブ、ロータリアンから多大なご支援を賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。

2530地区では東日本大震災発生から5年間、ご支援を頂きました多くの浄財をもとに復興支援本部を設置し、歴代ガバナーが本部長を務め月1回のペースで支援会議を行ってまいりました。全国のロータリアンのご厚情で被災地の多くの人々が勇気と元気を頂き、復興復旧の礎になりました。2530地区、2400名のロータリアン全員でロータリーの根幹である「地域社会の貢献」を実践できましたことに感謝と心からの御礼を申し上げます。

5年間の思いを込めて2016年末を目途に報告書を制作する事にいたしました。地震と津波被害は大半、復旧をいたしておりますが「福島」は原発事故の特殊事情があり復興の時期もわからない状態です。今日現在自分の家に帰る事も、自分の会社に行く事もできないロータリアンが80名以上います。彼らが以前の生活を取り戻す日が1日も早く来ることを願わずにはいられません。各地からの激励を頂き頑張っている姿等も紹介できればと思っています。

3.11以後数えきれないご支援を頂きました、地区対地区、クラブ対クラブ等、義援金をはじめ、食料、水、テント、医薬品、医療、衣料品等々、総額10億を超えるご支援と励ましのお言葉を賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。

温暖化、異常気象、地球の環境は厳しくなっています。今年も熊本地震、台風10号等、被災地の方々に心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災から5年数か月を経過いたしました、これからは、賜りました多くのご支援を糧に自分たちで復興、復旧に努力をしてまいります。友好クラブ等の関係でクラブ間の支援は継続中ですが、2530地区は2016年6月30日付けで地区口座地区復興支援本部を閉鎖致しました。

5年間にわたりご支援を頂きました全国のロータリアンのご恩を忘れることなく、未来に引き継いで参る所存です。ありがとうございました。

復興支援に感謝して

国際ロータリー第2530地区　ガバナー　佐久間　英一

2011年3月11日午後2時46分東日本大震災が起きてから5年8か月、未だ傷跡は癒えない状況でありますが、県内外各地より多大なご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

地区ガバナーとしてクラブの公式訪問をする中で、被災地の各クラブから、地域企業での若年層流出による雇用確保の難しさ、賃金の高騰など、厳しい現実のお話を数多く聞きました。

そのような中で被災地ロータリークラブの皆様から、クラブ活動を前向きに捉えクラブの復興をまず優先したいので頑張りますとのお話を頂き、逆に励まされたような気がいたしました。

福島県の内堀雅雄知事は、海外にも目を向けて積極的に活動されています。私たち第2530地区のロータリアンも、国際社会からの本県に対する関心・理解を深めていただけるようにするためにも、ロータリーの国際性を活かし、あらゆる機会・行動を通して、風評払拭と風化防止を訴え、復興をなすための責務を果たして行かなければなければならないのではないかと考えます。

復興支援は「お金や物」だけではありません。ロータリーの国境を越えた活動により、一人の高校生ピアニストがウィーン国立音楽大学留学を実現しました。大震災7日後の2011年3月18日に、オーストリアのロータリアンの奥様から、被災地の子供たちを預かって心のケアの支援をしたいとの話があり、その中の一人・吉田昂城君が、ピアノ演奏でウイーンの国立音楽大学に見事入学出来たという素晴らしい事例です。

今日まで寄せられた多くのご支援に対し、恩返しの意味を込め、今後私たちロータリアンは、福島の復興と未来のために力を合わせ奉仕活動を続けて行かなければならないと考えます。

東日本大震災に思う

国際ロータリー第2530地区　2010－2011年度ガバナー　大橋　廣治

2011年3月11日午後2時46分。この日この時刻を境に国民生活を根底から覆した。人生も変わった。

相双地区・いわき地区の風景は一変した。何もかも失い、寒空の下で震えるしかなかった被災者たち。当たり前が当たり前でなくなった。自然の脅威の前に圧倒された。

まさに徒然草にある「世は定めなきこそいみじけれ」の光景である。

第2530地区では3人のロータリアンを亡くし、未だに例会がままならないクラブが相双地区に6クラブある。そういう中にあっても、一つのクラブの終結もなく一人の退会者も出ていない。これはまさに奇蹟としか言いようがない。あるロータリアンは「最後の4人になってもロータリークラブを継続していきたい」と涙ながらに避難先で訴えておられた。ロータリーに対する思いに感動させられた。

この度の被災に際し、国内はもとより台湾、アメリカを始め世界各国、各地区、そして米山学友会から多額の義援金、支援物資そして善意が送られてきた。まさにロータリーのインターナショナル、見返りを求めないロータリー・ロータリアンの思いやり、友情を改めて感じたのであります。この受けた恩義を第2530地区2400名のロータリアンは石に刻み、いつかお返しせねばならないと肝に銘じております。

第2530地区「フクシマ」は他被災地区と異なり、何時収束するか分からない原発の放射能汚染の風評被害に悩まされている。農・水産物は買ってもらえない、肉牛も出荷停止、子供達は他地区に避難され人口流出が止まらない。観光地も閑古鳥が鳴いている始末である。世界一平和な国で自殺者は増え続けている。戦後日本はひたすら利便性、効率性そして物の豊かさを際限なく追い求めてきた。そして今回、原発事故を引き起こし放射線漏れとなった。その結果国際社会から信用を失い、国への不信感、怒りは日に日に募りいかんともし難い諦観、虚無感が増幅するばかりである。

ロータリアンとして一番大事なことは約束事を守ることであります。つまり信用・信頼であります。これがなければ世の中は成り立ちません。その責任感が今、日本人から失われようとしております。政府、原子力安全保安院、原子力安全委員会、東京電力などの発表はあたかも太平洋戦争における大本営発表を思わせます。無責任であります。被災された方々は日夜必死になって避難生活の中で家族を守り復旧・復興に努めております。我々ロータリアンは今こそロータリーだからできる奉仕活動を展開していかねばなりません。マーティン・ルーサー・キング牧師は「一人ひとりが偉大な行動を起こす力を持っている。名声のためではなく、大義のために行動するのだ。人の素晴らしさとはいかに他人のために尽くすかで決まるからである」と言っております。

日本は今まで多くの国難に遭遇してきた。しかしその何れをも乗り越えてきた。日本人はどんな困難にも立ち向かうDNAを持ち備えております。有史以来といわれるこの度の東日本大震災も必ずや乗り越えることができると確信しております。そして希望をもって元の「うつくしま、ふくしま」に戻ろうではありませんか。がんばろうロータリアン。がんばろうふくしま。

国際ロータリー第2530地区 東日本大震災支援本部組織図

このたび、2530地区の支援強化体制の充実、及びさらなる連携強化を目的として災害支援本部を立ち上げました。組織図は以下のとおりとなっておりますので、よろしく御願い申し上げます。

また、今般の災害に対して皆様からの義援金のご協力を御願い申し上げます。

災害支援本部組織図

本部長
ガバナー 大橋　廣治

副本部長
ガバナーエレクト 根本　一彌
ガバナーノミニー 伊藤　浩

財団委員長 内藤　健二
国際奉仕委員長 平井　義郎
鈴木　恒昭
佐久間　功

事務局
幹　事 宍戸　清和
副幹事 石田　弘

アドバイザー（PG）	
松永　輝彦	阿久津　肇
國分雄太郎	山崎　栄一
鈴木　喬二	紺野　嘉昭
岩崎　稠	寺島　岩男
作山　博之	牧　公介
富永　健男	味戸　道雄
佐原　元	中澤　剛

分区担当責任者・支援受入地区担当
相双担当
ガバナー補佐　今村　義幸
次期ガバナー補佐　酒井　善盛
いわき担当
ガバナー補佐　渡邊　公平
次期ガバナー補佐　橋本　芳家

総務班
班　長 野地　利雄
副班長 廣澤　俊樹
副班長 水野　博光（救援物資担当）

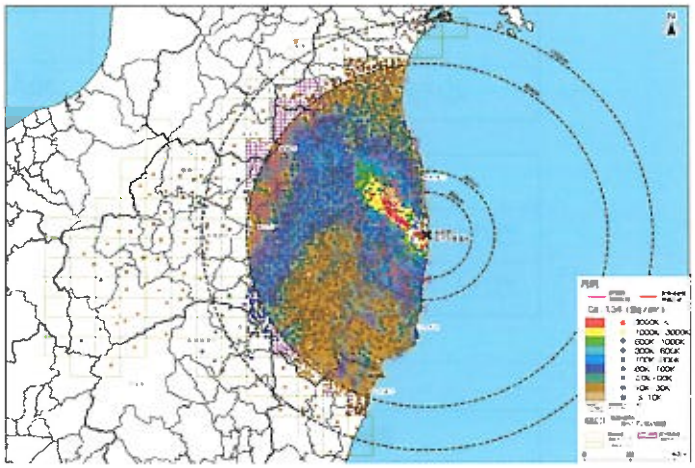
広報班
班　長 林　克重
副班長 紺野　仁昭

救援物資受入班
班　長　佐藤　信博
副班長　渡辺　健寿
(会津)ガバナー補佐 佐藤　正
(県南)ガバナー補佐 掛田　勝院
(県中)ガバナー補佐 三條　安國
(第二)ガバナー補佐 安斎　利昭
(中央)ガバナー補佐 藤田　宣一

救援物資配送班
班　長　宗形　守敏
副班長　冨田健三郎
(会津)次期ガバナー補佐 芹沢　健
(県南)次期ガバナー補佐 大竹　貞夫
(県中)次期ガバナー補佐 佐久間好夫
(第二)次期ガバナー補佐 吉川　伊能
(中央)次期ガバナー補佐 岡部新一郎

経理班
班　長 吉田　和義
副班長 三浦　善治
副班長 橋本　忠雄

第３次航空機モニタリング結果とセシウム134の土壌濃度マップの比較について



文部科学省　報道発表（平成23年8月30日）より

大津波により船が校庭まで流されてきた

3月14日（月）
2日前に発生した、東京電力福島第一原子力発電所にての原子力事故の衝撃と混乱の中、冷静に今後の支援体制の協議を行う、日本赤十字社福島県支部・太田支部長と大橋ガバナー。

3月19日（土）
第2640地区大阪北地区：米田眞理子ガバナーより毛布1,000枚をはじめトイレットペーパー・紙おむつ･生理用品･飲料水等が届く。米田ガバナーが10tトラックに同乗し、会津若松市内で荷受けし福島のトラックに積替えて福島市内まで運ぶ。
米田眞理子ガバナーと感謝の握手を交わす大橋ガバナー
感動と勇気を頂いた支援物資第1号であった。

3月19日（土）同日
大橋ガバナーが会津若松市内で米田眞理子ガバナーより支援物資を受け入れている頃、明石西RCの西大條公一氏、他1名の方が大量の医薬品類を携えて自家用セスナ機で福島空港に到着。
味戸PG他、3名のRC会員が空港に待機。頂いた医薬品類は、味戸PGにより須賀川の公立岩瀬病院に届けられた。ロータリーの深い友情と絆に感謝。

3月30日（水）
シェルターボックスの説明に第2520地区：笹氣PGとフランスからJohn Diksa氏が来訪。両氏の説明の下、活用方法及び組立方法を学ぶ。浄水装置、サバイバルセットも付いた優れものである。

4月5日（火）
福島県庁を訪問。内堀雅雄副知事（当時）に義援金300万円・シェルターボックス64個を贈呈する。
左から宗形守敏救援物資配送班長、大橋ガバナー、宍戸清和幹事、野地利雄総務班長。
感謝のことばと合わせて、今後の対応を協議。

4月8日（金）
福島市内の福島県青少年会館にて、我々ロータリアンにシェルターボックス設営説明会を行う。ここで説明を受けた会員たちが、各避難所にシェルターボックスを設営していく。

4月11日（月）
震災から１ヶ月後、ロータリーの友・渡辺誠二所長、二神典子編集長が来復し、支援対策協議を行う。
福島の現状を説明する、宍戸幹事と廣澤俊樹総務副班長。

4月12日（火）
東京杉並 RC：金子朋睦会長、井上和英氏が飲料水 10t を届けて下さる。飯館村へ同行し贈呈する。
水・ガソリンが大変不足しておりました。他の方々にも分けてあげたいと思いました…

5月6日（金）
浜北伎倍 RC 会員の方々がバイクにて来訪。
義援金・支援物資（文具・食料品・タオル他）が届けられる。
風評被害が広まり、高速道路の通行もままならぬ中、バイクで来福されたことに感謝します。

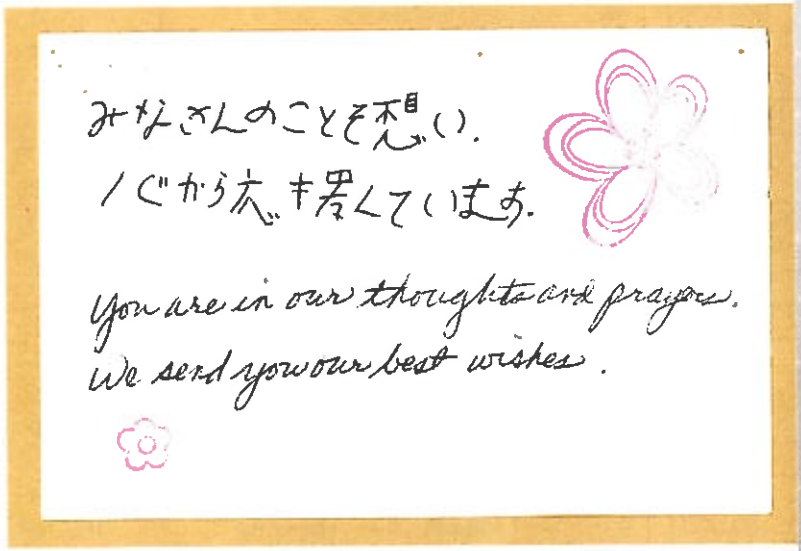
5月19日（木）
二本松市役所内に仮役場を設置していた、浪江町馬場町長のもとを訪問。浪江町民は二本松体育館を避難所としていた。この際、義援金を贈呈。この他、県内の被災14市町村にも義援金を贈呈する。（浪江町を含め15市町村）

6月2日（木）
ホノルルサンライズRCが立谷相馬市市長へ義援金を贈呈。会員の方々が相馬市磯部小学校での交流会に参加し、小学生たちと楽しいひと時を過ごす。我々も10名程現地に集合し、御礼と共に友情を温めました。

6月24日（金）
ガバナー事務所にて、地区副幹事会開催。
現時点での支援活動について報告し、今後の計画について協議する。
皆さん、自分の仕事を二の次にして支援活動に務めて下さった。

日本全国から届けられる善意の支援物資の数々。
段ボール箱の側面には温かい激励のメッセージが綴られている。素晴らしい絆を感じる。

被災者に配布される衣料品類。
ロータリアンの手で男女、サイズ毎に丁寧に仕分けされた。



ミネベア（株）アメリカ法人様から届いた支援物資（寝袋）に同封されていたメッセージと折鶴。
日本語で書かれているメッセージに深い思いやりと真心が伝わりました。

義援金受入報告

収入の部

（単位：円）

	日付	義援金送金者氏名	金　額
	3/17	川崎宮前RC	600,000
	3/22	2580地区ハマダアキオ氏	20,000
	3/23	川崎宮前RC	200,000
	3/23	2770地区北澤治氏	30,000
	3/24	2660地区(大阪)	200,000
	3/24	福井フェニックスRC	41,000
	3/25	2530地区本宮RC	500,000
	3/25	日本事務局　島村耕介氏	1,000
	3/25	ツルマヨウヘイ	20,000
	3/29	2710地区広島西RC	30,000
	3/29	2750地区ガバナー辰野克彦氏	110,000
	3/29	2630地区(岐阜)	300,000
	3/31	2510地区ガバナー佐々木正丞氏	100,000
	3/31	2530地区ガバナー大橋廣治氏	500,000
	4/4	2590地区川崎麻生RC	300,000
	4/4	2530地区東白川RC	100,000
	4/4	ガバナー会	30,000,000
	4/5	2570地区秩父RC会長井上豊氏	30,000
	4/7	オーストラリア・アデレードRC	249,660
	4/7	東京城西RC	76,000
	4/8	戸田RC	300,000
	4/11	2530地区福島東RC	930,000
	4/12	2770地区(埼玉)	30,000
	4/12	所沢東RC	827,000
	4/13	Marijampoles RC (リトアニア)	29,800
	4/14	今市RC	500,000
	4/14	横浜都築RC	1,000,000
	4/14	ロータリーの友事務所(渡辺誠二氏・二神典子氏)	10,000
	4/14	2530地区中央分区	600,000
	4/14	Newport RC (USA)	39,855
	4/15	2590地区(ケンタンRC)	2,500,000
	4/15	(財)ロータリー米山記念奨学会	1,800,000
	4/15	2530地区福島南RC	2,000,000
	4/15	神戸RC	1,000,000
	4/15	2720地区(大分)	8,000,000
	4/20	加古川RC	500,000
	4/20	Jakchai Visutthakul (タイ)	231,655
	4/21	GDANSK-SOPOT-GDANIA RC(ポーランド)	79,800
	4/21	5330地区(USA)	795,345
	4/22	馬頭小川RC	260,337
	4/22	石川RC	50,000
	4/25	2750地区東京稲城RC	270,000
	4/25	2830地区関場慶博	50,000
	4/25	会津若松南RC	30,000
	4/27	川崎百合ヶ丘RC	200,000
	4/27	佐世保南RC	500,000
	4/27	2750地区ガバナー辰野克彦氏	182,957
	4/27	会津若松RC	38,000
	5/2	猪苗代RC	40,000

	日付	義援金送金者氏名	金　額
50	5/2	しみすたにひろし氏	10,000
51	5/6	福島西RC	500,000
52	5/6	東京大崎RC　台北理南RC	500,000
53	5/6	梁仙玉(元米山奨学生)	46,000
54	5/6	兵北岐部RC	11,348
55	5/9	Apple Valley RC(USA)	38,340
56	5/9	Fundacja Polskich (ポーランド)	653,376
57	5/9	5330地区(USA)	482,781
58	5/9	Jimmy Lim Than Chay	261,913
59	5/10	2530地区いわき内郷RC	23,000
60	5/11	BO EUFAULA RC(USA)	78,430
61	5/13	5330地区(USA)	95,656
62	5/17	川崎多摩RC	200,000
63	5/17	ALCOY RAC (スペイン)	595,718
64	5/17	Islands RC (ニュージーランド)	60,392
65	5/18	姫路RC	1,000,000
66	5/19	船橋西RC	550,000
67	5/20	ホノルルサンライズRC (USA)	1,775,728
68	5/20	2420地区(トルコ)	481,389
69	5/24	地区WCS基金	3,000,000
70	5/25	千葉幕張RC	2,000,000
71	5/25	2530地区会津若松西RC	25,000
72	5/26	戸田西RC	50,000
73	5/27	2530地区会津若松中央RC	70,000
74	5/30	High Wycombe 5K RC (UK)	133,981
75	5/30	2530地区猪苗代RC	4,000
76	5/30	2530地区会津若松RC	37,000
77	5/31	2530地区会津若松南RC	30,000
78	6/6	2530地区県南分区	130,000
79	6/9	Apple Valley RC(USA)	61,768
80	6/9	戸田西RC	50,000
81	6/13	戸田RC	300,000
82	6/13	姫路中央RC	300,000
83	6/14	2530地区二本松RC	10,000
84	6/15	京都西RC	800,000
85	6/16	京都西北RC	1,000,000
86	6/17	2530地区喜多方RC	300,000
87	6/22	外国送金(チェコ) D2240	1,950,875
88	6/22	The Walter D Foundation (アメリカ)	11,887,414
89	6/23	2530地区郡山西RC	1,000,000
90	6/23		1,000,000
91	6/29	2560地区東山ガバナー事務所	2,000,000
92	7/1	2760地区(愛知)	6,312,599
93	7/1	外国送金(ベルギー) Namur RC	109,168
94	7/1	外国送金(キプロス) Nicosia RC	138,624
95	7/1	2530地区福島RC義援金	300,000
96	7/8	2530地区三春RC義援金	92,910
97	8/8	2760地区(愛知)直前ガバナー事務所	200,000
98	8/12	2730地区(鹿児島)直前ガバナー事務所	10,621,111
合　計			107,489,910

義援金支援先報告

収入の部　（単位：円）

	日付	義援金送金者氏名	金　額
1	3/15	日赤へ（マスク購入代）	504,000
2	4/2	相双分区支援物資（ティッシュ他）	130,909
3	4/7	支援衣料費	175,000
4	4/30	支援物資配送料（磐梯貨物　他）	85,470
5	5/17	南相馬市へ支援物資購入代（工具　他）	555,980
6	5/18	弔慰金（相馬RC　松本　熊田物故会員）	100,000
7	5/18	南相馬RCクラブ活動活性資金	1,200,000
8	5/18	浪江RCクラブ活動活性資金	2,600,000
9	5/18	小高RCクラブ活動活性資金	600,000
10	5/18	富岡RCクラブ活動活性資金	2,400,000
11	5/18	いわき小名浜RCクラブ活動活性資金	1,600,000
12	5/18	いわき鹿島RCクラブ活動活性資金	525,000
13	5/18	川俣RCクラブ活動活性資金	1,000,000
14	5/19	いわき桜RCクラブ活動活性資金	475,000
15	5/19	いわき内郷RCクラブ活動活性資金	725,000
16	5/19	いわき平東RCクラブ活動活性資金	1,200,000
17	5/19	いわき常磐RCクラブ活動活性資金	600,000
18	5/19	弔慰金（富岡 RC　平山物故会員）	50,000
19	5/20	いわき平RCクラブ活動活性資金	1,275,000
20	5/20	いわき平中央RCクラブ活動活性資金	800,000
21	5/23	相馬RCクラブ活動活性資金	1,350,000
22	5/23	いわき四倉RCクラブ活動活性資金	200,000
23	5/23	原町中央RCクラブ活動活性資金	1,650,000
24	5/23	原町RCクラブ活動活性資金	1,750,000
25	5/24	福島県へ（WCS）	3,000,000
26	5/24	相馬東RCクラブ活動活性資金	250,000
27	5/24	いわき勿来RCクラブ活動活性資金	1,425,000
28	5/30	相馬市（震災孤児及び被災者就学資金支援金）	1,000,000
29	5/30	南相馬市（人道的支援金）	2,000,000
30	5/30	いわき市（人道的支援金）	2,000,000
31	5/30	田村市（人道的支援金）	1,000,000
32	5/30	新地町（人道的支援金）	1,000,000
33	5/30	飯舘村（教育文化支援金）	2,000,000
34	5/30	浪江町（人道的支援金）	2,000,000
35	5/30	葛尾村（人道的支援金）	2,000,000
36	5/30	富岡町（人道的支援金）	2,000,000
37	5/30	川内村（人道的支援金）	2,000,000
38	5/30	双葉町（人道的支援金）	2,000,000
39	5/30	大熊町（人道的支援金）	2,000,000
40	5/30	楢葉町（人道的支援金）	2,000,000
41	5/30	広野町（人道的支援金）	2,000,000
42	5/30	川俣町（教育文化支援金）	1,000,000
43	5/30	生花一基	21,315
44	6/2	相馬市（災害孤児義援金）サンライズより	500,000
45	6/2	相馬市（ふるさと寄付金）サンライズより	1,000,000
46	6/7	福島県体育協会へ	200,000
47	6/14	支援物資輸送費	367,360
48	6/22	相馬愛育園へ	1,000,000
49	6/24	京都西北RCより相馬市ふるさと基金へ	1,000,000
50	9/24	いわき昌平黌 へ	1,000,000
51	6/27	県立医大研究室へ	11,887,414
52	6/30	根本ガバナー事務所へ繰越金	2,000,000
53	6/30	南相馬3クラブ炊き出し補助	626,425
54	6/30	南相馬高齢者施設支援プロジェクト	2,000,000
55	6/30	支援物資保管料　他	303,420
56	6/30	ガイガーカウンター	1,011,558
57	7/1	サテライト校8校へ義援金（被災高校生学業支援プロジェクト）	10,000,000
		双葉高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,100,000)
		浪江高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,030,000)
		富岡高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(900,000)
		双葉翔陽高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(900,000)
		原町高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,950,000)
		相馬農業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,200,000)
		小高商業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(850,000)
		小高工業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(2,070,000)
58	7/4	被災生徒オーストリア派遣プロジェクト	3,500,000
59	7/8	福島県授産事業振興会義援金	300,000
60	7/11	ガイガーカウンター	500,000
61	7/19	オーストリア派遣プロジェクト	300,000
62	7/22	地区米山奨学会委員会へ	500,000
63	7/28	二本松への避難者支援（にほんまつ復興応援寄附金）	2,000,000
64	7/28	福島市への避難者支援（元気ふくしまふるさと寄附金）	3,000,000
65	8/4	オーストリア派遣プロジェクト スーツケースレンタル代	56,280
66	8/8	オーストリア派遣プロジェクト土産代 （相馬RC立て替え分）	66,570
67	8/25	サテライト校8校へ義援金（被災高校生学業支援プロジェクト）	10,000,000
		双葉高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		浪江高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		富岡高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		双葉翔陽高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		原町高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		相馬農業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		小高商業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
		小高工業高校（被災高校生学業支援プロジェクト）	(1,250,000)
68	8/25	振り込み手数料（合計）	36,750
		合　計	105,403,451

残　高（繰越金）	2,000,000

監　査　報　告

国際ロータリー第2530地区 2010 － 2011年度の上記特別会計の義援金収支報告書は、記帳簿および証拠書類について監査の結果、いずれも適正に処理され、正確であることを認め、この旨を報告します。

2011年8月25日
国際ロータリー第2530地区
2010 － 2011年度地区会計幹事　三浦　善治
〃　鈴木　定男

2010－2011年度地区資金収支決算と監査が終了

2010 － 2011年度地区の決算が終わり、8月25日に地区直前ガバナー事務所で監査が行われ、異常ない旨の報告がありました

ご支援戴いた全てのロータリアンに感謝

国際ロータリー第2530地区　2011－2012年度ガバナー
災害支援本部長　根本　一彌

当地区は3.11突然の大自然の猛威に見舞われ大打撃を受けました。更に他の被災地区にはない放射能の問題とも闘う事態に追い込まれました。人類は大自然の猛威を防ぐ手だては無いと痛感せざるを得ない状態です。岩手県田老地区の日本が世界に誇るスーパー堤防も壊滅、東京電力福島第一原子力発電所も津波によって全電源喪失の為制御不能に陥り、大自然の猛威に態勢する術の無かったことが昨日のように思い出されます。

より多くのエネルギーを効率良く生み出すための技術の進化と、その安全を担保とする保安技術の進化は同時進行でなければなりませんが、現実はどうしても経済を優先させ、安全が後手に廻ることが殆どです。日本は地震活動期に入っていると言われています。どこに住んでも地震から逃げられないのであればせめて津波を避けるために高台に集団移転をしなければならないことになります。

震災の後、防災より被害を軽減するための減災と言う方向に舵取りがなされています。一方、当地区においては、面倒なことに半減期の長い放射能は何十年も住環境に悪影響を及ぼします。放射能と真正面から向き合って、復旧・復興を加速して行かなければ取り残されてしまう心配を抱えています。震災から１年５ヶ月が経った現在でも、県外への避難者は16,000人を超えています。大規模な復旧・復興策は国や地方の行政に委ねることとなりますが、我々に出来る支援の実質的な方策は、基本的に政府、自治体の手が行き届かない狭間の部分に多くの必要な求めがあることに重点を置き、地区、クラブから申請された案件を含め、災害支援本部会議で慎重に審議し、決定とその実践をしてまいりました。

この支援活動を実行出来たことは、国内外の地区及びクラブのロ ータリアンから多くの義援金及び物資のご支援をいただいたことによるものです。我々のこの支援活動は継続して行わなければ成りません。従って義援金は出来るだけ次年度に引き継ぐことも検討し、実施してまいりました。

四国の2670地区からは３千万円を超える多額の義援金を、又、ある関西のロータリアンは医療用医薬品を航空機で運び込み病院の救援を、北海道のガバナー及びエレクトは南相馬まで赴き、現状視察を踏まえ放射線線量計を多数寄贈して下さいました。

他にも国内外からの沢山のロータリークラブ及びロ ータリアンから多大なご支援をいただいたことに深く感謝すると共に、復興への確かな足跡を培って行かなければならないと強く感じております。我 々を応援して下さっている全ロータリアンに、復興の朗報をお届け出来るよう前進あるのみです。共に希望をもって頑張りましょう。

国際ロータリー第2530地区　災害支援本部組織図

本部長
ガバナー 根本　一彌

アドバイザー（PG）	
國分雄太郎	山崎　栄一
鈴木　喬二	紺野　嘉昭
岩崎　稠	牧　公介
宮永　健男	味戸　道雄
佐原　元	中澤　剛
阿久津　肇	大橋　廣治

副本部長
ガバナーエレクト 伊藤　浩
ガバナーノミニー 渡邉　公平

委員会	
クラブ奉仕委員長	田中　文雄
職業奉仕委員長	篠木　勝司
社会奉仕委員長	伊野　勝彦
国際奉仕委員長	福山　吉英
新世代委員長	渡邊　英世
R財団委員長	平井　義郎

事務局	
局　　長	平　雄一
地区幹事	石田　弘
	安藤　元二
前地区幹事	宍戸　清和

分区ガバナー補佐	
相双分区	酒井　善盛
いわき分区	橋本　芳家
中央分区	岡部新一郎
県北第一分区	渡辺　健寿
県北第二分区	吉川　伊能
会津分区	芦沢　健
県中分区	佐久間好夫
県南分区	大竹　貞夫

救援物資受入班
伊東　孝弥

広報班
安藤　元二

経理班
橋本　忠雄

人的支援グループ
グループ長 金田　岩光
副グループ長 伊東　正司 伊藤　力男
郡山西RC会員
茹　勇二 森尾　和衛 松隈　仁吉 十林　賢児 丹治　徹 渡辺　良助 関口　修
協力RC
郡山会長 遠藤喜志雄
郡山東会長 橋詰　勝雄

義援金グループ
グループ長 石橋　理
副グループ長 宮本　孝 安部　信幸
郡山西RC会員
若松信一郎 南條　哲二 神事　護 滝田　吉宏 宮本　勝重 内藤　寛 千田　孝男
協力RC
郡山南会長 伊藤　治
郡山北会長 笠間　善裕

海外RCグループ
グループ長 佐藤　克敏
副グループ長 猪腰　光夫
郡山西RC会員
鈴木　淳弥 渡辺　紘三 八代　幸男 市野　文治 佐々木哲夫 長野　徳哉 鈴木美恵子
協力RC
郡山西北会長 滝本　忠夫
福島グローバル会長 角田　純一

物資受入グループ
グループ長 村越　文明
副グループ長 小林　文紀
郡山西RC会員
鈴木　功一 清野　清彦 渡辺　靖彦 満井　紀勝 今泉信一郎 柳沼　克彦 片桐　一夫
協力RC
郡山アーバン会長 蔭山　寿一
郡山安積会長 石塚　征夫

郡山西RC会員
伊藤　幹夫 七海　正克 濱尾　博文 今泉　成博 稲川　治利 高橋　金一
協力RC
郡山コスモス会長 安藤　貞夫

横山　雅一

3.11東日本大震災

2011-2012年度災害支援活動記録

The Great East Japan EarthquakeSupport Activity Report

日本国内からはもとより
世界のロータリアンからお預かりした貴重な義援金をもとに行った支援活動。
ロータリー東日本震災復興基金日本委員会へ申請して承認された支援プロジェクト。
各クラブ、委員会で行った様々な支援活動の一部を掲載いたします。

◀ 喜多方中央RC、漢水RC（韓国）は、いわき勿来RCへ車椅子10台を寄贈。7月13日に贈呈式を行いました。

福島中央RC、新大阪RC（2660地区）、台北中興RC（3480地区）は、福島市教育委員会に、福島市に避難している中学生へ国語辞典と英和辞典を各354冊贈呈。7月19日に贈呈式を行いました。 ▶

● いわき平東RC、台北昇陽RC（台湾）は、7月20日にいわき市へ義援金を寄付されました。

◀「被災者にウナギを届けよう！」スリウォンRC（タイ）、古河RC・つくば学園RC（茨城）は、7月22日に真空パックのうなぎ500人前（たれ・山椒付き）粉末澄まし汁・奈良漬21箱を、ビッグパレットふくしまに避難されている方々に届けられました。つくば豊里中の生徒による応援短冊も一緒に添え、夕食に配られました。

2560地区（新潟）、いわき内郷RCは、「熱中症予防に製氷機を贈ろう！」と、いわき市内郷地区の小学校・中学校・高校（13校）に製氷機を贈呈。石本ガバナー、小山地区幹事が来福し、7月28日に贈呈式が行われました。 ▶

▲オーストリア1910地区、1920地区、2760地区（愛知）、大阪の近藤真道アドバイザーら多くの方々の支援により、相双地区の高校生21名が、8月2日から22日迄の3週間にわたり、オーストリアへ短期留学しました。
オーストリアの観光、文化・音楽等を紹介するためにオーストリア大使も来福されました。

▼台湾永和RCより、友好クラブ関係にある川崎百合丘RCを通じて義援金を贈呈。8月27日に贈呈式を行いました。

◀郡山西RC、須賀川ぼたんRC、ノンカイRC（タイ3340地区）、札幌北RC、2510地区（北海道西部）は、郡山市内の保育園、県内の養護学校、郡山市、須賀川市の老人施設等に放射線測定器117台を贈呈。8月29日に贈呈式を行いました。これは、R財団のマッチング・グラントによるもので、当日はタイ王国からタイの子供たちの絵とメッセージが届けられました。

●いわき桜RCは、いわき市社会福祉協議会へテント10張を寄贈。

福島21RC、ウランバートルRC（モンゴル3450地区）、東広島21RC（広島2710地区）は、県立相馬農業高等学校へ制服及び実習着を寄贈。9月7日に贈呈式を行いました。▶

福島南RCは、呉南RC（2710地区）からの見舞金を活用し福島市社会福祉協議会へ車椅子2台を贈呈。9月14日に贈呈式を行いました。

郡山南RC、2800地区（山形）、560地区（オランダ）は、空間線量計90台を郡山市に寄贈。これはマッチング・グラントによるもので、10月6日に贈呈式を行いました。

相双分区3クラブ（浪江・富岡・小高）の合同公式訪問が、10月13日に磐梯熱海温泉ホテル華の湯で開かれました。108名の内、約半数のロータリアンが参加。いわき分区の橋本ガバナー補佐より、いわき分区全員の総意として100万円余の支援金も3クラブに贈呈されました。

いわき桜RC、京都西山RC、三重北区扶輪社（台湾）は、アクアマリンふくしまへ津波により流失してしまった公用車を寄贈（スズキのエブリィPA5型）。9月13日に贈呈式を行いました。

いわき平東RCは、いわき市立豊間中学校へシューズを寄贈。9月16日に贈呈式を行いました。

福島東RC、京都田辺RC（2650地区）、台北雙園RC（台湾）は、福島市内のサテライト校にて勉学している相双地区の高校生達を支援したいと義援金を贈呈。中川清通会長が来福し、10月7日に贈呈式を行いました。

● いわき勿来RCは、NPO法人勿来まちづくりサポートセンターへ巡回用車（スズキ新型エブリィRC）1台を贈呈。

● いわき平RCは、双葉郡広野町での学校再開に向けて、広野町立小・中学校へ放射線測定装置を贈呈。

◀ 福島中央RC、鹿児島東南RC（2730地区）、台北グランドパークRC（台湾）は、飯館村へ車輌を贈呈。2730地区長峯ガバナー、上園鹿児島東南RC会長、3480地区台北グランドパークRC李子会長らが来福し、10月27日に贈呈式を行いました。

● 福島東RCは、国際宇宙ステーションの日本実験ユニット「きぼう」の入り口に掲げられる暖簾を、福島市内の全ての小学校（市立小学校53校・国立校1校・私立1校・養護学校1校）56校に贈呈。11月1日に贈呈式を行いました。

いわき常磐RCは、福島県立湯本高等学校吹奏楽部へ楽器を贈呈。11月7日に贈呈式を行いました。 ▶

◀ 本宮RCは、本宮市・大玉村の仮設住宅入居者の地域自治会作りを支援。11月13日に「地域づくり支援激励の集い」を開催しました。

福島21RC、千里メイプルRC（2660地区）は、東日本大震災により保護者を失った子供達のために、東日本大震災ともしび会桜の聖母里親制度への支援を協力。 ▶

◀ 福島中央RCは、福島市へ放射線測定の為の車両2台（トヨタプリウス、ダイハツハイゼット）を贈呈。11月18日に贈呈式を行いました。

喜多方中央RC、京都西山RC、台湾三重北区扶輪社、2570地区WCS委員会（埼玉西部）、南相馬RCは、南相馬市に学校給食運搬車両（約四百万円相当）を贈呈。これはマッチング・グラントによるもので、11月21日に贈呈式を行いました。 ▶

● 郡山南RCは、11月27日に『がんばろう！こおりやま青少年自由音楽会』を開催。上野の森ブラス（モリキン）を招き、小・中・高校生達にプロのメンバーによる直接指導をしてもらいました。

◀ 2770地区（埼玉南東）は、埼玉・郡山労働局の協力により、来春卒業の県内高校生向け就職説明会を12月2日に開催しました。

● 南相馬RC、広島西RCは、災害時に活用してもらおうと南相馬市へ南相馬災害FM放送を受信できるポータブルラジオを寄贈。12月9日に贈呈式を行いました。

会津若松西RC、鹿児島中央RC、鶴岡西RCは、会津若松市の仮設住宅に避難している大熊町の方々に、住宅周辺の除雪に必要な簡易な除雪用具(ポリスコップ&スーパー箒各1,000個、スノーダンプ&アルミスコップ各120個)を寄贈。12月13日に贈呈式を行いました。 ▶

◀ いわき平中央RCは、津波により校舎が流失し、他校に間借りしての学校生活を送っているいわき市立豊間中学校に教材・用具・備品等を支援。12月15日に贈呈式を行いました。

福島南RC、2750地区日本橋グループ（東京日本橋RC・東京日本橋東RC・東京日本橋西RC・東京日本橋シティRC）は、福島県社会福祉協議会を通して、県内被災施設（甲子の里福祉会、清峰会・優樹福祉会）にリフトカー3台を贈呈。12月15日に贈呈式を行いました。 ▶

◀ 南相馬RC、東京杉並RC、東京青山RC、NorthbridgeRC（オーストラリア）、南山RC（韓国）は、日野皓正さん率いるライブ『日野皓正カルテットライブ』と原町高校吹奏楽部の演奏会を12月17日に開催。当日は、被災した南相馬市民約1,100人を無料招待しました。

福島中央RC、新大阪RC（2660地区）、台北中興RC（3480地区）は、福島市教育委員会に、福島市に避難している小学生へ国語辞典と漢字辞典を各520冊贈呈。12月22日に贈呈式を行いました。 ▶

- いわき鹿島RC、2780地区第8グループ（平塚・平塚北・二宮・平塚西・平塚南・平塚湘南）は、いわき市立永崎小学校へ津波の被害により流出した楽器やスポーツ用具を寄贈。
- いわき鹿島RC、大磯RC（神奈川）、R・FRC（6270地区）は、いわき市立江名小学校へ津波の被害により流出した楽器やスポーツ用具を寄贈。

▲

福島グローバルRC、郡山西RC、郡山アーバンRCは、震災復興プロジェクト「おこしやす癒しやす京都」に、県内在住の被災した中高生8名（引率者福島大学生2名）を1月6日から9日まで招待。京都ならではのイベントに参加・体験して心身共にリフレッシュしてもらいました。

避難地区3RC（富岡・浪江・小高）は、1月17日に母畑温泉八幡屋で3RCの合同例会・新年会を開催。親睦を深めながら、避難による心のストレスを癒やしてもらいました。 ▶

● 郡山北RCは、本宮恵向公園仮設住宅ロハス集会施設に太陽光発電設備を設置。

◀ 2510地区（北海道西部）は、車両2台（カローラフィールダー計450万円相当）を飯館村へ寄贈。2510地区熊澤ガバナーらが来福し、1月19日に贈呈式を行いました。

船引RC、台湾板橋RC（3490地区）、和歌山RC（2640地区）は、田村市へ車両2台（日産キャラバン）を贈呈。樫畑和歌山RC会長が来福し、1月19日に贈呈式を行いました。 ▶

◀ 福島南RC、京都洛中RC（2650地区）は、福島県社会福祉事業団、社会福祉法人いわき福音協会へ車椅子リフト付き車輌を贈呈。北川京都洛中RC会長らが来福し、1月20日に贈呈式を行いました。

▶ いわき四倉RC、いわき平東RCは、市立四倉中学校の3年生のみ母校に戻り授業を再開するため、津波で流失した下駄箱の補充と、乾燥を防ぐ加湿器を寄贈。1月26日に贈呈式を行いました。

◀ いわき平東RCは、除染のための高圧洗浄機120台をいわき市を通じて市内の小学校・中学校・幼稚園・保育園に寄贈。2月8日に贈呈式を行いました。

● いわき勿来RC、東京江戸川RCは、福島県立磐城農業高等学校インターアクトクラブのホストクラブとして、震災により流失した同校の備品等の購入を支援。2月15日に贈呈式を行いました。

● 郡山南RCは、亘理RC（2520地区）は海沿いで津波の被害があり、微力ながら何かできないかと思い、起き上がり小法師を寄付。2月16日に贈呈式を行いました。

川俣RC、横浜磯子RCは、川俣町へ車両を贈呈。2月22日に贈呈式を行いました。 ▶

◀会津若松城南RC、猪苗代RC、福岡城南RC、大阪城南RC、新潟RCは、外で遊べない被災地域の子供達を猪苗代湖の放射線量の低い地域で遊ばせようと用品・備品の購入を支援。2月24日に贈呈式を行いました。

いわき平東RCは、久之浜幼稚園へ寄付金を贈呈。▶2月29日に贈呈式を行いました。

◀喜多方中央RCは、喜多方周辺に避難されている相双地区出身の家族と連帯と絆を深めようと、3月3日のひな祭りに協力しました。

●2770地区（埼玉南東）は、富岡町立第1・第2小学校、第1・第2中学校、南相馬市あおば幼稚園に義援金を贈呈。3月6日に贈呈式を行いました。

福島南RCが窓口となり、東京麹町RCから福島県社会福祉協議会を通して県内60施設に車椅子を贈呈。3月6日に贈呈式を行いました。▶

◀ 原町中央RCは、東日本大震災で亡くなった方々の生きた証と、今を生きる人々の「道しるべ」として、1.17神戸希望の灯りから分灯いただき、3月10日に「3.11南相馬希望の灯り」の落成・点灯式を行いました。

▲ いわき分区10RCは、3.11震災復興の「希望の灯り」を永遠に灯し続けて慰霊と鎮魂と復興の輪を広げていくために「希望の灯り」モニュメントを建設。震災から1年を迎える前夜の3月10日に多くの市民とロータリアンの参加のもと、3,000本のロウソクに希望の灯りを灯して鎮魂と復興の祈願をしました。

◀ 原町RC、東京小金井RCは、青色灯付きのパトロールカー2台（スズキジムニー）を南相馬市に寄贈。3月12日に贈呈式を行いました。

●石川RCは、3月15日に相双分区ガバナー補佐酒井善盛氏のもとへ支援金を贈呈。

▶ 春日部イブニングRCは、3月20日にトラックに花を積んで来福。いわき市塩屋崎灯台へ、地元の皆さんと一緒に花を植えた後、蕎麦やうどんの炊き出し、トークや歌で被災者を励ましました。

● 喜多方中央RCは、3月21日にいわき平競輪場内避難所へ「おかゆ」800食を寄贈。

◀ 猪苗代RCは、猪苗代町へ避難して来られた被災者へ、3月22日に支援金を贈呈しました。

● 南相馬RC、大阪南RC、大阪天満橋RC、大阪ネクストRC、台北中央RC（台湾）は、相馬市鹿島厚生病院にベッド60床と、鹿島区内の仮設住宅の共用スペースに高級マッサージチェア2台を寄贈。3月23日に贈呈式を行いました。

● 宇佐八幡RC（大分）より、「『夢に向かって』～明日の仲間へ応援メッセージ～」として、宇佐市内20校の小学校より、被災地の子供たちに向けて『応援メッセージ』を頂きました。3月25日の2530地区地区大会で展示後、各小学校へ届けました。

◀ 南相馬RC、横浜RC、エクサンプロバンス・トレバレス・デュランスRC、参参会（2008-09年度ガバナー会）、東京恵比寿RC、人吉RCは、4月から原町区内の仮設校舎で学校活動を再開した県立小高工業高等学校へ、当面の教育活動に必要な機器や部活動再開のための備品を寄贈。また参参会のメンバーらは、3月26日に警戒区域内の小高工業高等学校を視察されました。

▲ 2510地区（北海道西部）は、『福島キッズキャンプin北海道』として、3月27日から4月1日まで、飯館村の小学生（4・5・6年生）を対象に、外遊びが出来ない子供達を北海道のキャンプ施設に招待しました。

◀ 保原RC、東京池袋西RC、白井RC（千葉）、ブリンバンクセントラルRC（オーストラリア）は、安全・安心な給食にするため、給食に使う食材の放射線物質量を測定する微量放射能分析器を保原学校給食センターに寄贈。3月28日に贈呈式を行いました。

● 本宮RC、東京お茶の水RC（2580地区）は、相双地域等から避難し、本宮市と大玉村に住む児童生徒を支援するために奨学金を贈呈。3月28日に贈呈式を行いました。

郡山南RC、横浜西RC、郡山東RC、郡山コスモスRCは、郡山市立中学校第一給食センター・第二給食センターに放射線線量計（食品線量計）2台を寄贈しました。

◀郡山南RCは、放射線量を低減するための除染用機器である超高圧洗浄機（2台）を寄贈。3月29日に贈呈式を行いました。

◀2530地区ロータリー猪苗代湖水環境協議会より、猪苗代町役場へ軽トラックを寄贈。
3月30日に贈呈式を行いました。

▲郡山南RCは、新狭山RC（2570地区）より寄贈いただいた八重紅しだれサクラを、いこいの森に植樹。3月31日の植樹祭には、新狭山RCの小久保会長、東　喜代雄幹事らが来福しました。

◀いわき平東RCは、新狭山RC（2570地区）より寄贈いただいた八重紅しだれサクラ20本を、久ノ浜第一幼稚園に贈呈しました。

●横浜都築RCは、中古の消防車1台を横浜から南相馬市鹿島区まで陸送し、鹿島消防団へ寄贈。3月31日に贈呈式を行いました。

● 矢吹RCは、前橋中央RC（2840地区）より申し出のあった中古のグランドピアノを、福島県立光南高等学校へ寄贈しました。

◀ 会津若松城南RC、福岡城南RC、大阪城南RC、新潟RC、ドイツ3RC（コースフェルドRC・ケーベラーRC・クレーベRC）は、会津若松市内の仮設住宅地に物置や倉庫を寄贈しました。

● 南相馬RCは、福島県立原町高等学校の部活動を支援しようと、弓道場の修復、放送部の備品を購入し、寄贈しました。

2530地区RACは、『ローターアクト元気祭 ～笑顔を咲かそう～』と、県内の仮設住宅に入居している避難者に対し、元気づけと気分転換をしてもらおうと、4月8日と22日に炊き出しと交流イベントを開催。 ▶

● 会津若松城南RC、コースホルド・クレーブ・ケーベラー3RC（ドイツ）は、南相馬市原町区の社会福祉法人車輪梅デイサービスセンターしゃりん梅に、車椅子が搭載できる軽乗用車ダイハツ「タント」を贈呈。4月13日に贈呈式を行いました。

● 久喜菖蒲RC（埼玉）は、4月15日に久喜総合文化会館で東日本大震災被災支援チャリティーコンサートを開き、南相馬市に震災孤児義援金124万2千円を贈呈。

● 白河RC、御坊RC（和歌山）は、安珍堂復旧及び戊辰戦争白河口の戦い戦没者慰霊碑修復を支援。4月17日に贈呈式を行いました。

▲ 須賀川RC、守口イブニング・高槻東RC（大阪府）は、放射能汚染をシャットアウトし、水の安全を完全に近い形で確保出来る逆浸透膜浄水器を須賀川市全地域の幼稚園・保育園、公立岩瀬病院・国立福島病院に寄贈。4月18日に贈呈式を行いました。

◀ 南砺RC（富山県）より、4月18日に南相馬RCへ義援金20万円が寄付されました。

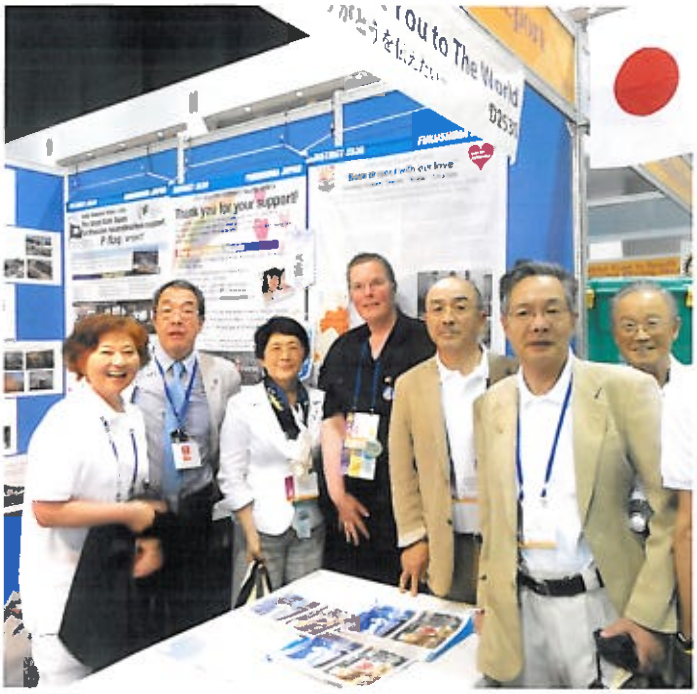
● 2530地区、2780地区(神奈川)、3560地区（ソウル）は、福島県立医大へ放射線量測定機搭載車輌（日産キャラバン）を寄贈。4月20日に贈呈式を行いました。

● 相双分区、南相馬RC、稲敷RC（茨城）は、原町区内の小野田病院と障害者支援の特定非営利活動法人さぽーとセンターぴあに、乗用車をそれぞれ1台寄贈。4月26日に贈呈式を行いました。

● 白河RC、白河市内RC、矢吹ＲＣ、行田RC（2570地区）は、仮設住宅と借上住宅に住む避難者にコミュニケーションの場を設けるべく陶芸教室の開催と木製プランターを使った野菜作りを支援しました。

◀ ▲ 福島北RC、2680地区（兵庫）は、5月3～5日福島市「四季の里」にて、「がんばろう福島こどもフェスティバル」を開催しました。

◀タイ・バンコクで開催された国際大会「友愛の広場」に2530地区のブースを開設し、世界中のロータリアンから頂いた支援への御礼と、更なる支援のお願いをしました。



原町中央RC、2710地区第3グループの7RC（山口・山口南・山口中央・山口県央・防府・防府南・防府北）は、南相馬市に生活する幼児を放射能被爆から防ぐため、南相馬市に4月から入園する新入園児分（800台）の線量計を配布し支援。5月9日に贈呈式を行いました。

▼

いわき桜RCは、5月19日に開催された第17回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭に参加。被災者の子▲どもを含む県立磐城桜ケ丘高等学校の合唱部員25名も一緒に参加。「3.11 命つないで」を合唱し、震災への思いを伝えました。

◀ 須賀川ぼたんRCは、震災により仮設校舎となっている須賀川第一小学校に移動式花壇を寄贈。5月23日に子供たちと一緒に花を植えました。

郡山RC、郡山西北RCは、5月27日『2012まちなか子ども夢駅伝競走大会』で、原発事故で外で遊べない子供達のために、道路の除染をし、放射線量を低減させ駅伝大会の開催を支援しました。 ▶

● 近江八幡RCより、6月8日に義援金として南相馬RCへ24万円が寄贈されました。

◀ 福島南RCは、国内外の学生達に、今の福島の現実を体験してもらい、福島の過去、3.11、今、未来を討議し、未来の活動のために役立て、そして学生達に広く国内・外に発信してもらおうと、6月10日～16日の1週間、福島大学の学生のサポートにより、「学生の力で世界と繋がろうプロジェクト」を開催しました。

● 南相馬RC、新潟万代RC、今市RC（栃木）、北港扶輪社RC（台湾）は、被災後、福島市・相馬市のサテライト校で授業を受けていた県立小高商業高等学校が、4月から新入生を迎え南相馬市内のサテライト校で学校活動を再開させるため、当面の教育活動に必要な教材、新入生の制服及び除染費用等を支援。6月15日に贈呈式を行いました。

義援金受入先報告

（単位：円）

No	支払日	支援内容	支払金額
1	2011/ 9/30	震災、原発事故の影響が大きい相双分区8RCへの支援	11,550,000
2	2011/ 10/13	避難地域3RC（浪江・富岡・小高）合同公式訪問の支援	145,425
3	2011/ 11/10	2730地区（鹿児島）長峯ガバナー車輌贈呈式	85,316
4	2011/ 12/15	第1回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（福島グローバルRC）	336,408
5	〃	〃 （郡山南RC・青少年音楽会）	500,000
6	〃	〃 （郡山南RC・食品線量計）	1,700,000
7	〃	〃 （いわき平中央RC）	226,969
8	〃	〃 （福島中央RC）	688,000
9	〃	〃 （保原RC）	1,100,000
10	〃	〃 （南相馬RC）	2,100,000
11	〃	前年度義援金の使途指定（会津若松西RC）	1,000,000
12	〃	2770地区（埼玉南東部）就職説明会　会場設営	394,100
13	2012/ 1/10	第1回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（いわき平東RC）	2,100,000
14	〃	第2回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（会津若松西RC）	1,853,200
15	〃	〃 （いわき勿来RC）	669,540
16	〃	〃 （いわき四倉RC）	596,750
17	2012/ 1/17	第2回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（相双3RC）	567,000
18	2012/ 1/26	第2回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（郡山北RC）	1,230,648
19	〃	〃 （郡山南RC）	108,250
20	〃	10-11年度東日本大震災活動記録　増刷代金	409,500
21	2012/ 2/24	第3回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（会津若松城南RC）	94,531
22	2012/ 3/8	第2回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（いわき小名浜RC）	2,100,000
23	〃	〃 （郡山西RC）	2,100,000
24	〃	第4回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（会津若松城南RC）	2,100,000
25	〃	〃 （No. 4南相馬RC）	2,000,000
26	〃	〃 （No. 5南相馬RC）	2,100,000
27	〃	〃 （いわき桜RC）	357,000
28	2012/ 3/26	第1回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（2530地区RAC）	1,100,000
29	〃	第4回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（郡山RC）	700,000
30	〃	〃 （ガバナー事務所　キッズキャンプ）	2,100,000
31	2012/ 4/10	地区大会　友愛の広場パネル製作　支援状況発表	284,550
32	2012/ 4/19	相双分区3RC移動例会補助	300,000
33	2012/ 4/27	バンコク国際大会　ブース関連費用	439,770
34	2012/ 5/14	第5回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（原町中央RC）	1,500,000
35	〃	〃 （須賀川ぼたんRC）	1,470,000
36	〃	第6回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（いわき平東・いわき桜RC）	1,991,115
37	〃	〃 （南相馬RC）	750,000
38	2012/ 5/25	第6回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（No.1白河RC）	700,000
39	〃	〃 （No.2白河RC）	2,100,000
40	〃	〃 （須賀川RC）	560,000
41	〃	〃 （ガバナー事務所）	800,000
42	〃	第7回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（福島RC）	828,000
43	〃	第4回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（ガバナー事務所）	2,100,000
44	〃	バンコク国際大会ブース　世界の地区、ロータリアンへご支援のお礼と報告	989,885
45	2012/ 6/15	第5回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（No.3福島南RC）	1,500,000
46	2012/ 6/25	第7回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（No.2いわき分区）	2,100,000
47	2012/ 6/27	明文堂プランナー図鑑寄贈（いわき市教育委員会）	241,962
48	2012/ 6/29	預金振替　地区WCS特別会計	3,000,000
49	2012/ 7/2	第4回地区版補助金申請承認クラブへの支払い（No.1福島南RC）	2,100,000
50	2012/ 6/30	7月～6月支援会議　会議費	628,590
51	〃	7月～6月事務所家賃、人件費、贈呈式、MG費用 他	1,991,503
		小　　計	68,488,012
		次年度繰越金	96,813,018
		合　　計	165,301,030

ロータリー東日本震災復興基金日本委員会 2530 地区承認報告

（単位：円）

NO	クラブ名	支援先・申請内容	合計金額	申請(承認)金額	クラブ持出総合計
1	福島21	相馬農業高等学校　新入生制服等支援	1,649,752	800,000	849,752
2	いわき桜	いわき市社会福祉協議会　テント10張を寄贈	1,134,000	1,100,000	34,000
		第1回　日本委員会承認金額(2件)	2,783,752	1,900,000	883,752
3	福島中央	福島市　線量計で測定するにあたっての車両を2台寄贈	3,549,820	3,549,820	0
		第2回　日本委員会承認金額(1件)	3,549,820	3,549,820	0
4	いわき常磐	湯本高等学校　吹奏楽部への楽器の提供と練習場所の確保	2,990,000	2,940,000	50,000
5	いわき平	いわき市　放射線測定装置整備事業	2,484,000	2,400,000	84,000
6	本宮	本宮市、大玉村　仮設住宅入居者の地域自治会作りの支援	712,000	400,000	312,000
		第3回　日本委員会承認金額(3件)	6,186,000	5,740,000	446,000
7	いわき鹿島	いわき市江名小学校　津波被害により流出した楽器スポーツ用具の補充	906,450	126,450	780,000
8	船引	田村市　災害復興支援事業（車輌2輌の寄贈）	4,255,580	2,000,000	2,255,580
9	いわき勿来	NPO法人勿来まちづくりサポートセンター　巡回用車の贈呈（軽ミニバン）	1,463,376	1,200,000	263,376
		第4回　日本委員会承認金額(3件)	6,625,406	3,326,450	3,298,956
10	南相馬	南相馬市医療法人相雲会小野田病院（巡回車）	1,484,710	600,000	884,710
11	保原	伊達市　保原学校給食センター（食品等の放射線物質量測定器の寄贈）	4,200,000	2,100,000	2,100,000
12	福島中央	避難所等から通っている児童に対し、辞書を贈呈するプロジェクト	1,976,000	988,000	988,000
13	いわき鹿島	いわき市永崎小学校　津波被害により流出した楽器スポーツ用具の補充	1,973,168	405,368	1,567,800
		第5回　日本委員会承認金額(4件)	9,633,878	4,093,368	5,540,510
14	いわき平東	いわき市教育委員会（小・中・幼稚園・保育園）高圧洗浄機120台を寄贈	6,930,000	3,450,000	3,480,000
15	南相馬	県立原町高校への部活動支援（弓道場の修復、放送部の備品購入）	885,500	400,000	485,500
16	南相馬	南相馬市医療法人相雲会小野田病院（巡回車）	1,484,710	600,000	884,710
17	いわき平中央	いわき市立豊間中学校　津波で校舎流出　教材・用具・備品の提供	648,477	324,237	324,240
18	いわき小名浜	いわき海星高校復興「P旗」プロジェクト　学校再開の支援（校舎工事他）	12,513,520	6,240,000	6,273,520
19	郡山北	本宮市　仮設住宅に設けられる集会施設の空調設備	3,516,135	1,758,067	1,758,068
20	郡山南	郡山市　放射線除染用高圧洗浄機の寄贈（2台）	976,500	488,250	488,250
21	いわき四倉	いわき市立四倉中学校　下駄箱の寄贈、感染症予防加湿器の寄贈	1,606,500	803,250	803,250
		第6回　日本委員会承認金額(6件)	28,561,342	14,063,804	14,497,538
22	福島南	ミュージカル「葉っぱのフレディ」公演（いわき市・南相馬市）	11,170,000	2,500,000	5,670,000
23	福島北	福島市「四季の里」　がんばろう福島こども　グルメスイーツフェスティバル	5,000,000	4,500,000	500,000
24	原町中央	南相馬市　南相馬市へ放射線測定器を寄贈（新入園児分720台）	5,688,000	1,500,000	4,188,000
		第7回　日本委員会承認金額(3件)	21,858,000	8,500,000	10,358,000
		日本委員会承認金額総計　24件	¥79,198,198	¥41,173,442	¥35,024,756

地区版補助金承認報告

（単位：円）

NO	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト合計金額	東日本震災復興基金日本委員会	クラブ持出額	地区版補助金承認額	
1	福島グローバル	おこしやす癒しやす京都	480,584		144,176	336,408	持出金は3クラブで準備
2	郡山南	がんばろう！こおりやま青少年自由音楽会	1,500,000		1,000,000	500,000	クラブ持ち出し金のうち、50万は地区補助金
3	郡山南	放射線線量計の寄贈（食品線量計）	6,300,000	2,540,000	2,060,000	1,700,000	①R財団指定補助金へ寄付補助金が決定②持出金協力RC横浜西（200万）・郡山東（3万）・郡山コスモス（3万）
4	いわき平中央	いわき市立豊間中学支援	648,477	324,237	97,271	226,969	申請額は、東日本震災復興基金の持出金に充当
5	福島中央	区域外就学児へ辞典の寄贈	1,976,000	988,000	300,000	688,000	持出金は福島中央RC10万、姉妹クラブの新大阪RC10万、台北中興RC10万
6	保原	こども未来づくりプロジェクト（食品線量計）	4,200,000	2,100,000	1,000,000	1,100,000	持出金は保原RC25万、姉妹クラブの白井RC50万、東京池袋西RC25万
7	いわき平東	小・中・幼稚園備品支援	6,930,000	3,450,000	1,380,000	2,100,000	
8	2530地区RAC	ローターアクト元気祭～笑顔を咲かそう～	1,150,000		50,000	1,100,000	
9	南相馬	避難住民へのポータブルラジオの寄贈	3,380,000		1,280,000	2,100,000	協力クラブは、広島西RC
10	郡山北	本宮恵向公園仮設・住宅ロハス集会室太陽光発電設備事業	3,516,135	1,758,067	527,420	1,230,648	
11	会津若松西	仮設住宅への除雪用具の寄贈	3,053,200		1,200,000	1,853,200	持出金は鹿児島中央RC100万、福岡西RC10万、会津若松西10万
12	いわき勿来	県立磐城農業高等学校 震災支援プロジェクト	959,540		290,000	669,540	持出金は東京江戸川RC20万、いわき勿来RC9万
13	いわき小名浜	県立いわき海星高校復興・P旗プロジェクト	4,100,000		2,000,000	2,100,000	持出金は2510地区（北海道西部）
14	郡山西	県立いわき海星高校復興・P旗プロジェクト	4,100,000		2,000,000	2,100,000	持出金は2510地区（北海道西部）
15	いわき四倉	四倉中学校3年生受験応援	1,608,500	803,250	206,500	596,750	
16	避難地区3RC（富岡・浪江・小高）	相双分区合同例会プロジェクト	810,000		243,000	567,000	
17	郡山南	放射線量除染用:高圧洗浄機の寄贈	976,500	488,250	380,000	108,250	持出金はロータリー財団指定補助金へ寄付し補助金が決定
18	会津若松城南	子供の外遊び支援事業	135,045	0	40,514	94,531	協力団体：福島の子供の外遊び支援ネットワーク
19	福島南	ミュージカル「葉っぱのフレディ-いのちの旅-」福島支援公演	11,170,000	5,500,000	3,570,000	2,100,000	

地区版補助金承認報告

（単位：円）

NO	クラブ名	プロジェクト名	プロジェクト合計金額	東日本震災復興基金日本委員会	クラブ持出額	地区版補助金承認額	
20	会津若松城南	仮設住宅地への倉庫設置プロジェクト	3,143,381	0	1,043,381	2,100,000	持出金の協力はドイツの3RC（コースフェルドRC、ケーベラーRC、クレーベRC）
21	郡山	2012なかまち子ども夢駅伝競走大会	2,500,000	0	1,800,000	700,000	
22	南相馬	県立小高商業高校への支援プロジェクト	8,000,000	0	6,000,000	2,000,000	持出金は横浜RCとフランスの友好クラブ。その他、栃木今市RC、東京恵比寿RC等。
23	南相馬	県立小高工業高校への支援プロジェクト	15,000,000	0	12,900,000	2,100,000	持出金は横浜RCとフランスの友好クラブ。その他、栃木今市RC、東京恵比寿RC等。
24	ガバナー事務所	福島キッズキャンプin北海道	12,100,000	1,500,000	8,500,000	2,100,000	持出金は2510地区（北海道西部）現金450万、同地区DDF400万
25	ガバナー事務所	福島県立医大へ放射線量測定機搭載車輌の寄贈	4,050,000	0	1,950,000	2,100,000	持出金は2780地区及び地区内クラブ15,000＄、3560地区（ソウル）10,000＄
26	いわき桜	第17回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭への参加	980,000	0	623,000	357,000	
27	原町中央	南相馬市に生活する園児を放射線被曝から防ぐこと	5,688,000	1,500,000	2,688,000	1,500,000	
28	須賀川ぼたん	子供の心を癒し、花を植えようプロジェクト	2,100,000	0	630,000	1,470,000	
29	福島南	学生の力で世界と繋がろうプロジェクト	2,500,000	0	1,000,000	1,500,000	
30	白河	こころなごみプロジェクト	1,000,000	0	300,000	700,000	持出金協力クラブ：行田RC（2570地区）、矢吹RC、白河市内RC
31	白河	安珍堂復旧及び駄量碑復旧プロジェクト	3,100,000	0	1,000,000	2,100,000	
32	いわき平東・いわき桜	保育所支援プロジェクト	2,844,450	0	853,335	1,991,115	持出金協力クラブ：京都西山RC50万、いわき平東RC 253,335円、いわき桜RC10万円
33	須賀川	逆浸透膜浄水器寄贈プロジェクト	800,000	0	240,000	560,000	
34	南相馬	入院患者用食品放射能検査器の支援	2,610,300	0	1,860,300	750,000	持出金協力クラブ：ドイツ Coesfeld RC、Kleve RC
35	ガバナー事務所	福島県立医大へ 放射線量測定機2台搭載した大型車両の寄贈	7,500,000	1,000,000	5,700,000	800,000	持出金協力：2510地区（北海道西部）DDF320万円、現金250万円
36	福島	保育園児運動量補充プロジェクト	1,183,245	0	355,245	828,000	
37	いわき分区10RC	「希望の灯り」モニュメントの建設	4,005,199	0	1,905,199	2,100,000	

承認合計 37 件 ¥ 136,096,556 ¥ 21,951,804 ¥ 67,117,341 ¥ 47,027,411

福島の未来のために

国際ロータリー第2530地区　2012－13年度ガバナー
復興支援本部長　伊藤　浩
（2014年2月10日 逝去）

一昨年の3月11日に勃発した未曽有の東日本大震災に加えて、東京電力第一原子力発電の大変な事故により私共の第2530地区福島県はまことに甚大な被害をこうむりました。

今尚、本日に至るまで、風評被害、原子力被害に悩まされております。こうした大変厳しい環境の中にあって東日本大震災の当初より世界中のロータリークラブより物心両面にわたる御支援を続けて戴いたことに対し深謝致している次第でございます。

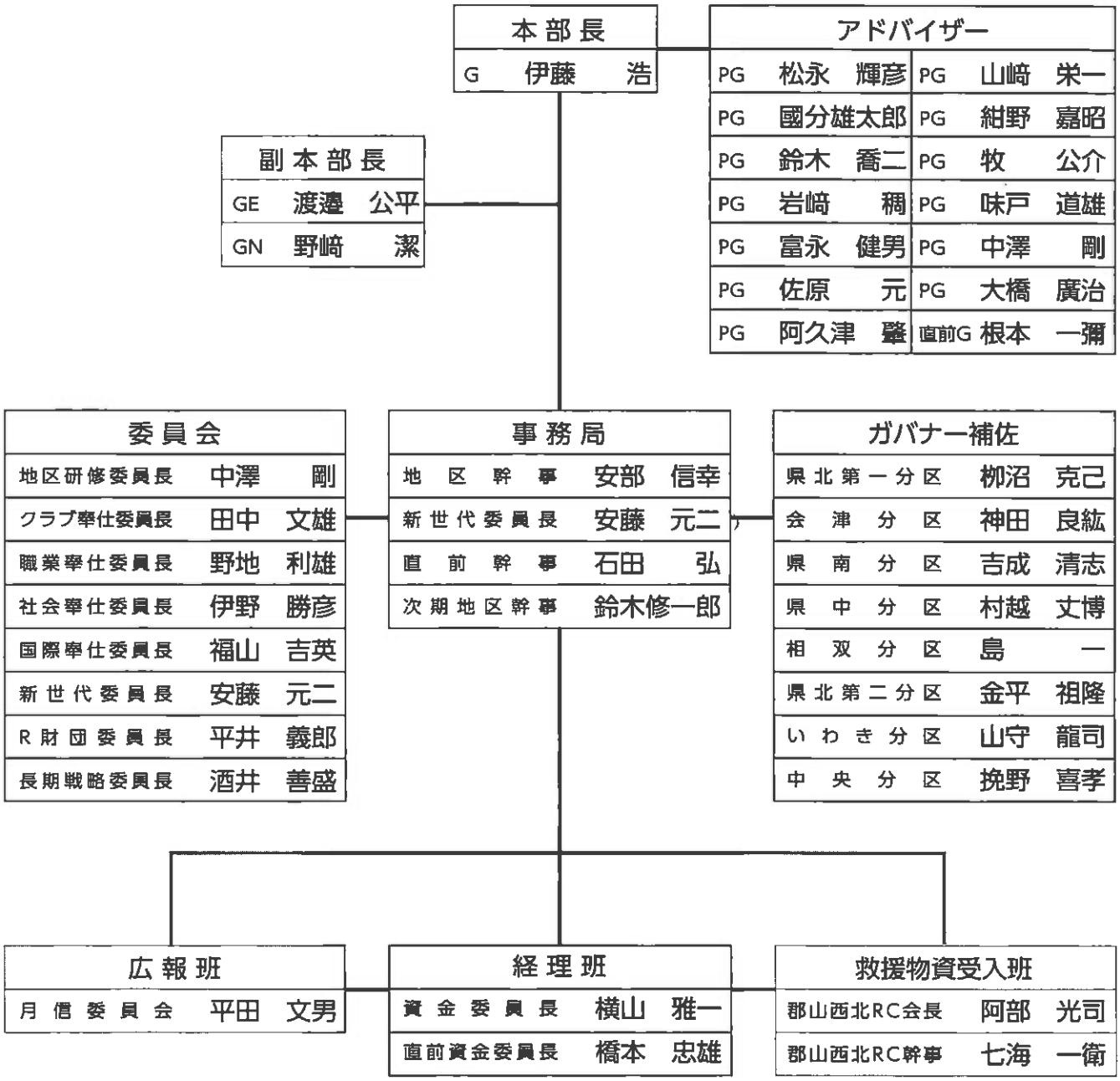
目下、私達第2530地区福島県においては残念ながら新世代の皆様、特に最も若き世代の方々を始めとして多数の方が他地区に流出しておるところでございます。

こうした我が地区、福島県の現状をふまえ、我々ロータリアンとしてもこの事を厳粛に受け止め福島の未来を背負って立つ「宝」の若き世代の人こそが一日も早く福島県に戻ってもらうべく努力して行かねばならないと存じます。

今、何をなすべきか何をなさざるべきかを考察して、特に行政の手が届きにくいところに配慮して支援活動をして参りました。

世界中で今まで経験したことのない自然災害が次々と起こっております。私達2530地区としても御恩返しをしなければならない時期が到来すると思われます。こうした現状をふまえ今日まで寄せられた義援金を有効に、出来るだけ長く、少なくともあと三年間程度は支援活動が継続出来る様に長期戦略的に活動して参りました。風化被害さえ危惧される現状をふまえて「ロータリー精神を実践し」福島の復興と未来のために更なる奉仕活動を繰り広げて行かねばならないと存じておるところでございます。

国際ロータリー第2530地区 災害支援本部組織図



2012-2013年度 復興支援活動報告

The Great East Japan Earthquake Support Activity Report

日本国内からはもとより、
世界のロータリアンからお預かりした貴重な義援金をもとに行った支援活動。
各クラブ、委員会で行った様々な支援活動の一部を掲載いたします。

ミュージカル「葉っぱのフレディ―いのちの旅―」

ミュージカル「葉っぱのフレディ」を被災地の子どもたちやご家族に観ていただくことで、心を癒し、復興へと踏み出そうとしている方に応援をしたいと願い 8月２３日いわき市『いわき芸術交流館アリオス』・２５日　南相馬市『南相馬市民文化会館ゆめ！はっと』にて２公演を開催しました。

東日本大震災復興基金、震災復興基金第２５３０地区補助金、第２５８０地区、第２５００地区、東京銀座新ＲＣ、日本橋西ＲＣ、戸田ＲＣ、日本ロータリー学友会、中部名古屋みらいＲＣ、横浜中ＲＣ、富山中ＲＣ、かながわ湘南ＲＣ、第２７８０地区第９グループ、いわき分区、相双分区、福島南ＲＣ、立命館大学、フレディ福島公演支援募金等大きな支援をいただきました。

実行組織は、伊藤浩ガバナーの英断で地区実行委員会を立ち上げ、ガバナー補佐を中心に「いわき公演」いわき分区、「南相馬公演」相双分区が公演準備から撤収までを行いました。また、当日ステージ設営、撤収に立命館大学、東日本国際大学柔道部のご協力もいただきました。

◀ミュージカル「葉っぱのフレディ―いのちの旅―」の一場面

▲子供たちと握手会

▲子供たちと握手会

◀フィナーレ南相馬

新世代委員会

夏休みの期間に県内の避難している子ども達のためにキャンプを実施

福島キッズキャンプ in 北海道

●8月17日(金)から8月23日(木)の6泊7日で第2510地区と行われた「福島キッズキャンプin北海道」。計画的避難地域に指定された飯舘村の子ども達25名、ボランティアとしてIAC4名、RAC2名が参加。第2510地区細川ガバナーをはじめ清水実行委員長や地区の皆様のご協力により子ども達は笑顔で北海道の大自然を体験して参りました。

福島キッズ in 鹿児島・宮崎

●8月19日(日)から8月23日(木)の4泊5日で第2730地区と行われた「福島キッズin鹿児島・宮崎」川内村の子ども達28名、引率として教員1名、教育委員会職員1名、ボランティアとしてIAC2名、RAC 2名が参加。現地では第2730地区山下ガバナー、長峯直前ガバナー、古木奉仕プロジェクト委員長、地区の皆様に出迎えてもらいました。子ども達は登山や海遊び、地元子ども達との交流祭などを体験してきました。

今回はボランティアとして当地区のIACの桜の聖母学院高等学校と喜多方桐桜高等学校、RACの桜の聖母短期大学の皆さん総勢10名が参加しました。

相馬市・南相馬市・岩見沢市少年少女サッカー交流会

●2510地区（北海道西部）岩見沢東ロータリークラブが相馬市、南相馬市のサッカー少年団総勢32名、9月29日から2泊3日岩見沢へ招待してくれました。豊かな北の大地で久しぶりにのびのび楽しく2日間にわたり交流試合をしました。　ドイツ・ヘレンベルクRCからは子ども達にサッカーボールがプレゼントされました。

福島キッズ IN さっぽろ雪まつり

●2月1日～2月3日、「福島キッズINさっぽろ雪まつり」が開催されました。今回のこの企画は、国際ロータリー第2530地区、2510地区（北海道西部）、札幌北ロータリークラブの共同主催にて開催されました。川内村へ帰村した児童、生徒、保護者、教育委員会から29名が参加し、冬の北海道の雪の中で様々な初めての体験をしました。

ロータリーこども雪遊び広場

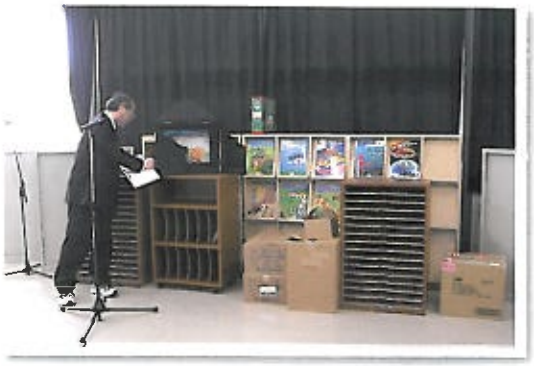
●社会奉仕委員会では「こども達を笑顔にするための事業を」との思いから、放射線の心配のない戸外で思いっきり遊べるようにと考え、放射線量が低く心配の無い猪苗代の磐梯町のスキー場でこども達と保護者が雪の中で楽しく遊びストレスを軽減していただけるように配慮し、県北第一分区、県北第二分区、県中分区、県南分区、中央分区の幼稚園保育園児を招き、親子でそり遊びを楽しみました。

福島県立医大へ移動検診車を寄贈

●東京電力福島第1原発事故を受け福島医大と福島県が取り組んでいる県民健康管理調査（震災当時に18才以下であった子供達を生涯において超音波診断装置を使いサポートする）を目的とした、MG# 78441（第2530地区福島、第3340地区タイ・ノンカイRC、第3350地区バンコク・クロントイRC、2510地区北海道西部第3グループ）」で取り組んだ『甲状腺検査装置福島アンダー18事業』及び第2510地区（北海道西部）、2530地区（福島）がマイクロバス型の移動健診車を、第2780地区（神奈川）と第3650地区（ソウル）、第2530地区（福島）がワゴン車型の移動健診車を寄贈した事業の贈呈式が2013年5月22日福島県立医科大学にて合わせて行われました。

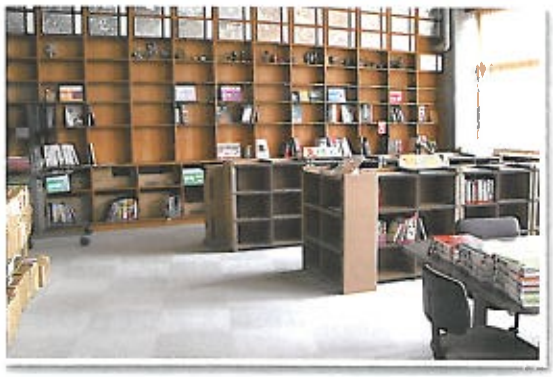
富岡養護学校支援

●新世代委員会は、第2510地区（北海道西部）第3グループのご協力により、富岡養護学校に木製書架や書庫、らくがき帳やクレヨンなどの支援物資を寄贈しました。
いわき市平にある仮設住宅にある同校を第2510地区第3グループの増山ガバナー補佐、いわき分区の山守ガバナー補佐が訪れ贈呈式を行いました。



葛尾村小中学校の支援

●新世代委員会は、第2510地区（北海道西部）のご協力により、今年4月に三春町の旧要田中学校で授業を再開した葛尾小・中学校に、本や鉄棒、サッカーゴールなどを寄贈しました。
贈呈式には第2510地区（北海道西部）美唄ロータリークラブ様も同校を訪れ贈呈式を行いました。



リスボン国際大会　友愛の広場

●リスボン国際大会に於いて、友愛の広場でブースを展開し、世界のロータリアンからいただいた義援金に対し、2530地区として御礼と報告のパネルを展示し、訪れた方にチラシを配り、福島の現況を報告し、福島への訪問を呼び掛けました。（協力：福島県観光・国際交流課）

オーストリア短期派遣プロジェクト

●1910-1920地区（オーストリア）協力のもと、震災、原発事故の被災地福島で学んでいる大学生をオーストリアへ派遣し、今の福島の現状を世界に伝えるプレゼンテーションやIAEAへの訪問・研修、学生との交流を経験し自分自身を高め、そしてそれが今後の福島の復興、再生の力となるよう期待し派遣しました。（2013/7/28~2013/8/14）

補助金報告

●避難地区の浪江RC、富岡RC、小高RCの3クラブ へ支援金を送りました。

（7月1日現在の会員数×一人50,000円）

須賀川第一小学校マーチングバンドへの支援品贈呈式

●須賀川南RCは、七尾RC、七尾みなとRC、モントレーRCの協力で、地区復興補助金を利用し震災の被害の甚大で今も尚、仮校舎で授業を行っている須賀川第一小学校マーチングバンド部へ備品を寄贈しました。

泉崎村体育館での贈呈式・激励会

感謝状を受ける三浦会長

三浦会長挨拶

八木沼校長

指導者　富田敦諭

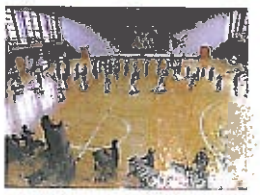
児童代表　部長　斉藤奏結さんお礼の言葉

寄贈品　トロンボーン

マーチングメロフォン

クイント、スパニッシュハット

演技風景



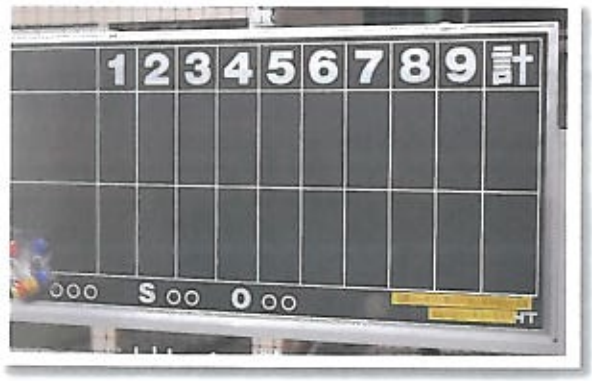
須賀川市立保育園に浄水器の寄贈

●須賀川RCは幼児に安全な飲料水を提供し保護者に安心してもらえるように、須賀川市内の私立保育園（4園）に放射能除去性能のある逆浸透膜浄水器を寄贈しました。

設置状況▶

飯舘中学校にソフトボール一式を寄贈

●福島中央RCは、原発被害により避難し仮設の中学校で授業を行っている飯舘中学校にソフトボール一式を寄贈しました。



郡山市へ「復興の折り鶴」モニュメント寄贈

●郡山西RCは、復興への願いをこめ、7490地区NJイングルウッドRCと911家族会、米国日本人医師会他の協力の元、9.11NYテロで崩壊した世界貿易センタービルの残骸鉄骨で作られた「復興の折り鶴」モニュメントを建設し郡山市へ寄贈しました。

南相馬市内の中高生を東京に招待

●南相馬RCは、被災地の子どもを元気にしようというコンセプトのもと、東京杉並RCの協力の元、南相馬市内の中高生16名を一泊二日の行程で東京に招待しました。東京では宝仙学園の生徒との交流会、研究・作文発表などの研修会と都内の観光をしました。

「第2回　夢・希望・未来　がんばれ南相馬　日野皓正クインテット」コンサートを開催

●南相馬RCは、原町RC、原町中央RC、東京青山RC、東京立川こぶしRC、東京杉並RCの協力の元、「第二回　夢・希望・未来　がんばれ南相馬　日野皓正クインテット」コンサートを開催。原町高等学校の吹奏楽部の演奏の場も設け、地元の子どもたちにも元気を与えました。

福島高専にノートパソコンを寄贈

●いわき平RCは、福島高専復興人材育成事業を支援の目的で、地区復興補助金を申請し、福島高専に15台のノートパソコンを贈呈しました。

大熊町の小中学校へ液晶プロジェクターを寄贈

●会津若松西RCは、鹿児島中央RC、鶴岡西RCの協力で、双葉郡大熊町立大熊中学校と小学校へ、黒板機能付き液晶プロジェクター4台を寄贈しました。

常葉町の小中学校へ授業用備品を寄贈

●常葉RCは、常葉町小・中学生を元気にする為、授業用備品を寄付する目的で、電子黒板並びに教材提示装置2点を、常葉中学校・常葉小学校・西向小学校・関本小学校4校へ寄贈しました。

南相馬市立大甕小学校へ二宮金次郎銅像と校歌碑を寄贈

●原町RCは、南相馬市立大甕小学校へ震災で倒壊した二宮金次郎銅像と校歌碑の再建し、寄贈しました。

第１回 二本松ロータリークラブ杯　児童ソフトボール大会を主催

●二本松RCは、将来を担う野球少年が屋外で思いっきり活動できるよう第1回二本松ロータリークラブ杯児童ソフトボール大会を主催し、県内各地のスポーツ少年団の子どもたちに大会の場を提供し、支援しました。

飯舘村へ軽ワゴン車を寄贈

●福島しんたつRCは、飯舘村避難児童を飯野町の仮設校舎への生徒の送迎・連絡に役立ててもらえるようにと飯舘村へ軽ワゴン車を寄贈しました。

飯舘村立中学校へユニフォームを寄贈

●郡山アーバンRCは、東京六本木RCの協力の元、飯舘村立中学校へ運動部活動ユニホームを寄贈しました。

「みんなでワイワイガヤガヤ映画鑑賞会」

●原町中央RCは、原発事故により避難を余儀なくされている方々へ映画鑑賞を通して心の傷を癒してもらえるよう、「みんなでワイワイガヤガヤ映画鑑賞会」を行いました。

「福モモ・プロジェクト」無料コンサートを開催

●福島中央RCは、福島市民の心を癒すべく「福モモ・プロジェクト」無料コンサートを開催し、桜の聖母学院小学校の児童にも参加してもらい、音楽を通して、子どもたちにも元気を与えました。

福島県立いわき海星高校野球部へ野球部備品を寄贈

●いわき平中央RCは、横浜山手RCの協力の元、平成25年春の全国高等学校野球大会（甲子園）に選抜された福島県立いわき海星高校野球部へ津波で喪失した野球部備品を寄贈しました。初出場の野球部員たちは悔いのないプレーを遂げました。

海外夏休みショートステイを実施

●郡山南RCは、5370地区（カナダ）、1750地区（フランス）の協力により、避難地区より止む無く移住している高校生5名を対象に、海外夏休みショートステイに実施しました。

二本松市で復興支援コンサートを開催

●二本松あだたらRCは、東京多摩RCと共同で復興支援コンサートを開催し、震災により避難している浪江町民、二本松市民を無料で招き、童謡で心を癒していただきました。

四倉第一幼稚園に遊具を寄贈

●いわき四倉RCは、四倉第一幼稚園にサッカーゴール1組、折り畳みマット3枚、三輪スクーター4台を寄贈しました。

県立湯本高校に、街路灯を寄贈

●いわき平東RCは、川崎西RCと合同で、震災により夜間照明が無くなり校内通学路が安全上危険な状態であった県立湯本高校に、ソーラーウインド街路灯を寄贈しました。

川内村認定こども園かわうち保育園へ絵本セットを寄贈

●富岡RCは、川内村認定こども園かわうち保育園へ絵本セットを寄贈しました。

原町第一中学校へ楽器の寄贈

●原町RCは、日本でもトップレベルで活躍する原町第一中学校の吹奏楽部へ、多数の楽器が落下し破壊した為に、フルート等楽器四点を寄贈しました。

「豊かな福島だてを創るプロジェクト」

●だて西RCは、「豊かな福島だてを創るプロジェクト」として桑折町駅前の応急仮設住宅自治会に、校内放送設備一式を寄贈しました。

飯舘村小中学生対象サッカー教室へ寄贈

福島南RCは、飯舘村小中学生対象サッカー教室への協賛し、サッカーボール10個、福島ユナイテッドFCオフィシャルタオル30枚を子供達に贈呈しました。

ミニＳＬを運行

東京日本橋東RCの呼びかけに応じて福島南RC、福島21RC、が協力、四季の里で2日間ミニSLを運行し大勢の子供達に笑顔をもたらしました。

乗車人数は2日間で2,213名と盛況でした。

浪江町に軽車両１台を寄贈

米国ニューポート・バルボア・ロータリークラブか提案し、福島中央RC、二本松RC、浪江RCの3つのロータリークラブが協力したマッチング・グラント事業で、浪江町に援助物資輸送のための軽車両1台を寄贈しました。

福島県立盲学校の生徒さんと保護者の方を千葉県勝浦市へ招待

●勝浦RCの50周年記念事業の一環として、福島21RCが協力し、福島県立盲学校の生徒さんと保護者の方を2泊3日の日程で千葉県勝浦市へ招待していただきました。

南相馬市へ職場訪問

●喜多方RCは職場訪問見学を行い、その後、被災地である南相馬市小高区の視察を行ないました。

南若葉幼稚園へ贈呈

●会津若松城南RCは、福岡城南RC会員様のご夫人よりお預かりした手作りのエプロン・バッグを会津若松市内の南若葉幼稚園に贈呈しました。

大熊幼稚園園児へクリスマスプレゼント

●会津若松城南RCは、大阪城南RCからお預かりした会津へ避難している大熊幼稚園の園児へクリスマスプレゼントとしてお菓子を贈呈いたしました。

会津若松市へ義援金贈呈

●会津若松城南RCは、岡崎城南RC（姉妹クラブ）様より義援金を頂き、会津若松市へ贈呈いたしました。

「こころなごみプロジェクト」を実施

●4RC合同（白河RC、白河西RC、白河南RC、矢吹RC）で「こころなごみプロジェクト」を実施。白河市・西郷村・矢吹町に避難している家族を対象にプランター作りや陶芸教室などを実施しました。

児童養護施設白河学園支援事業

●白河RCは、児童養護施設白河学園支援事業として、料理教室の開催、クリスマス食事会、落語寄席体験招待などを行いました。

姉妹クラブ締結記念植樹

●原町ロータリークラブと東京小金井ロータリークラブの姉妹クラブ締結に伴う記念植樹が6月20日に行われました。東京小金井ロータリークラブから、復興の願いをこめて、地元に伝わるヤマザクラ「小金井桜」が寄贈され、子供たちの遊び場である、高見公園に植樹されました。

小金井桜10本植える

子どもたちの遊び場 高見公園

姉妹クラブ締結記念

原町と東京小金井RC

未永い交流のシンボルに

広野町こども未来基金に寄贈

●富岡RCは、3月に新設された広野町こども未来基金に8万円を寄贈しました。

富岡RCが寄付

広野町こども未来

基金に8万円

楢葉町あおぞらこども園に簡易プール寄贈

●富岡RCは、いわき市に仮設園舎を設けた楢葉町あおぞらこども園に簡易プール6個を寄贈しました。

簡易プール6個贈る

富岡RC 楢葉のこども園に

富岡ロータリークラブ（大和田剛会長）は五日、いわき市に仮設園舎を設けた楢葉町あおぞらこども園（阿部和宏園長）に簡易プール六個を寄付した。

大和田会長、次年度会長の直切正義さん、パスト会長の田中美奈子さんが訪れ、大二個、中一個、小三個の計六個の簡易プールを三十一人の園児に披露した。大和田会長は「暑い夏が来たらプールで元気に遊んでください」とあいさつし、園児は「ありがとうございます」と大きな声でお礼を述べた。

簡易プールと一緒にシャボン玉セットもプレゼントされた。阿部園長は「仮設園舎にはプールがなかったので大変ありがたい」と感謝した。同園は今月下旬にプール開きを予定している。

相馬市消防団に消火用資機材を寄贈

●相馬RCは、MGに申請承認を受け、東京稲城RC、台湾の林園扶輪社RCと共同で、被災地復興支援として相馬市消防団に対し、山火事などの際に使用する消火用資機材を寄贈しました。

「タカトウコヒガンザクラ」を復興祈念として植樹

●原町RCは、信州伊那RCよりいただいた、天然記念物の「タカトウコヒガンザクラ」を、相馬市に復興祈念として植樹しました。

浪江町第２回交流会開催

●飯坂RCは、浪江町からの避難されている方々と交流を図り復興の活力を見出して頂くため、第二回目の交流会を飯坂温泉「花ももの里」にて開催しました。

電子辞書・図書券の贈呈

●福島しんたつRCは、被災地から郡山市の学校法人尚志学園に通う30名の学生に電子辞書や図書券などを支援し5月27日に贈呈式を行いました。また、被災地から福島市の学校法人松韻学園福島高等学校に通う20名の学生に電子辞書や図書券などを支援し5月30日に贈呈式を行いました。

平市内の保育園に絵本や遊具の寄贈

●いわき平RCは、屋外で思い切り遊べない子どもたちの為に、ドイツのフィンリンゲン・シュエニンゲン・センターRCから委託された義援金で購入した絵本や遊具を市内の保育園に寄贈しました。

いわき明星大学のエネルギー教育研究会に助成金を贈呈

●いわき平RCは、小中学生を対象にエネルギー教育を実践している、いわき明星大学のエネルギー教育研究会に助成金を送りました。

ユニフォーム代購入の贈呈

●いわき小名浜RCは、寒川RCよりお預かりした支援金をいわき海星高校へ贈呈しました。支援金は、学生達の部活動支援としてバスケット部ユニフォーム購入代に充てられました。

川崎市幸区民祭に出店

●いわき小名浜RCは、前年度に東日本震災復興支援いわき海星高校P旗プロジェクトで多大なご協力をいただいた川崎幸ロータリークラブのみなさまと2012年10月20・21日川崎市幸区民祭にて、いわき特産コーナーを設け販売させていただきました。

鹿島小学校へ児童図書寄贈

●いわき鹿島RCは、いわき鹿島小学校へ児童図書といわきの震災写真集を贈呈しました。

「ＮＰＯ法人ふくしま震災孤児・遺児を見守る会」へ義援金の贈呈

●いわき鹿島RCは曽我会長エレクトが設立した「NPO法人ふくしま震災孤児・遺児を見守る会」に新潟RCよりお預かりしました震災地域青少年育成の為の義援金を活動資金にと、贈呈致しました。その活動のシンボルとして子供達の手形で絵を描いた「こいのぼり」を作る費用の一部に充てられたそうです。

郡山南ＲＣ杯第３回少年剣道交流大会開催

●郡山南RCは、郡山南RC杯第3回少年剣道交流大会を開催。富岡町から避難している子どもたちにも参加頂き、小学生の部では見事、富岡町少年団が優勝しました。

震災復興記念ピアノリサイタルに協賛

●郡山南RCは、郡山文化協会主催の震災復興記念ミハウ・ソブコヴィアク　ピアノリサイタルに協賛しました。

富岡町教育委員会へ図書カード寄贈

●郡山南RCは、タイ・バンコクRCの協力の元、富岡町教育委員会に図書カードを寄贈しました。

震災復興祈念いこいの森さくら植樹祭

◎郡山南RCは、新狭山RCの協力の元、震災復興祈念いこいの森さくら植樹祭を行いました。

青少年友好訪問合意書に調印

●郡山南RCは、前年度横浜西RCの協力の元、郡山市教育委員会に食品用線量計を寄贈しました。（郡山東RC、郡山コスモスRCからも資金提供有）
今回はその線量計の視察に横浜RCの会員が同行し、翌日は合同例会を開催しました。

青少年友好訪問合意書に調印

●郡山南RCは、カナダ5370地区と青少年友好訪問合意書に調印。2013年7月29日から止む無く避難している高校生5名をカナダへホームステイさせる事業の為、受入れ先である5370地区ガバナーと当クラブ会長が合意書に調印しました。

福島県立盲学校にロータリー財団平和フェローのアリソン・クウェッセルが訪問

●福島グローバルRC、鈴木会員の勤務する福島県立盲学校にロータリー財団平和フェローのアリソン・クウェッセル（フォトジャーナリスト、アメリカ）が訪問。

彼女のカメラを触らせてもらったり、質問をしたりして交流をした後、みんなで生徒の伴奏で"Let it be"を歌った。文化理解や英語でのコミュニケーション、職業理解など様々な面で生徒にとって貴重な経験になりました。

福島県内の小中学校へ図書を寄贈

●福島グローバルRCは、MGに申請承認を受け、ホノルルサンライズロータリークラブ、アメリカ5000地区、アメリカ7710地区、横浜中ロータリークラブ、横浜緑ロータリークラブ、川崎大師ロータリークラブ、茅ヶ崎湘南ロータリークラブの協力の元、福島県内の小中学校へ図書を寄贈しました。

義 援 金 入 金 表

No	入金日	地区No	クラブ名	入金額	メッセージ
1	2012.07.11	2760	名古屋中RC	134,000	
2	2012.07.17	2680	姫路南RC	500,000	
3	2012.07.24	1740	仏オービュソンRC	62,943	福島の子ども達に
4	2012.07.27		前年度繰越	96,813,018	
5	2012.08.19		利息	988	
6	2012.11.29	2770	地区大会ゴルフ大会（チャリティコンペ）	137,500	
7	2012.12.03	2630	2630地区（村橋G）	1,110,000	
8	2013.01.18	6000	米国・アイオワ州	440,471	次世代の子ども達に
9	2013.02.17		利息	4,123	
10	2013.03.05	2780	ふじさわ湘南RC吉田和人様	30,000	
11	2013.04.16	2800	2800地区（山形　和田G）	500,000	
12	2013.05.22	2840	太田中央RC	111,601	
13	2013.05.31	2610	石川第二分区（8クラブ）チャリティゴルフコンペ	32,230	
14	2013.05.31	2740	長崎みなとRC	100,000	
15	2013.06.07	2740	2740地区　7・8グループ	300,000	
16	2013.06.12	2770	2770地区（埼玉南東　田中G）	300,000	震災支援金として
17	2013.06.13	2610	黒部RC	500,000	震災支援金として
18	2013.06.27	2700	田川RC（福岡県）	122,085	震災支援金として
19	2013.08.12	2720	2720地区（岡村G）	6,000,000	
20	2013.08.18		利息	3,033	
			入金合計	**107,201,992**	

義援金支払表

No	支払日	支払先	決定額	振込手数料	支払合計額	摘要
1	2012.09.19	浪江RC	2,250,000	840	2,250,840	45名×クラブ支援金
2	2012.09.19	富岡RC	2,200,000	840	2,200,840	44名×クラブ支援金
3	2012.09.19	小高RC	550,000	840	550,840	11名×クラブ支援金
4	2012.09.19	運用規定発送費	6,000	0	6,000	運用規定発送費
5	2012.10.25	11-12年度支援報告書	781,200	840	782,040	
6	2012.11.26	須賀川南RC	1,914,150	840	1,914,990	NO.2-1
7	2012.11.26	福島中央RC	280,000	840	280,840	NO.2-5
8	2012.12.03	須賀川RC	440,000	840	440,840	NO.2-4
9	2013.01.25	常葉RC	604,000	840	604,840	NO.4-1
10	2013.01.25	郡山西RC	390,000	840	390,840	NO.2-6
11	2013.01.25	会津若松西RC	631,600	840	632,440	NO.3-6
12	2013.02.12	社会奉仕委員会	2,100,000	840	2,100,840	NO.3-7
13	2013.02.12	新世代委員会(福島キッズ)	1,400,000	840	1,400,840	NO.4-8
14	2013.03.25	原町RC	1,604,450	840	1,605,290	NO.4-2
15	2013.03.07	インターアクト	31,640	630	32,270	支援事前調査費用
16	2013.03.07	いわき平中央RC	849,647	840	850,487	NO.5-2
17	2013.03.19	福島しんたつRC	830,000	840	830,840	NO.4-5
18	2013.03.19	郡山アーバンRC	910,000	525	910,525	NO.4-6
19	2013.03.28	南相馬RC	1,290,000	840	1,290,840	NO.3-2
20	2013.04.25	二本松RC	326,570	840	327,410	NO.4-3
21	2013.04.25	福島中央RC	253,640	840	254,480	NO.5-1
22	2013.04.25	いわき四倉RC	156,570	840	157,410	NO.6-3
23	2013.05.07	新世代委員会(特別支援学校)	1,200,000	840	1,200,840	NO.4-7
24	2013.05.10	いわき平RC	1,050,000	840	1,050,840	NO.3-3
25	2013.05.27	南相馬RC	516,250	840	517,090	NO.3-1
26	2013.05.27	原町中央RC	849,000	840	849,840	NO.4-6
27	2013.05.27	二本松あだたらRC	1,050,000	840	1,050,840	NO.5-3
28	2013.05.27	郡山南RC	837,250	840	838,090	NO.7-1
29	2013.05.27	いわき平東RC	1,680,000	840	1,680,840	NO.7-2
30	2013.05.27	富岡RC	67,697	840	68,537	NO.7-4
31	2013.05.27	船引RC	88,893	840	89,733	NO.7-6
32	2013.05.27	原町RC	826,875	840	827,715	NO.7-7
33	2013.05.27	新世代委員会（葛尾村支援）	500,000	840	500,840	NO.7-8
34	2013.06.25	だて西RC	1,000,000	840	1,000,840	最終-2
35	2013.06.25	会津分区	800,000	840	800,840	NO.6-1
36	2013.07.11	国際奉仕委員会（オーストリア短期派遣）①	846,200	840	847,040	最終-1（5人分航空券）
37	2013.07.11	国際奉仕委員会（オーストリア短期派遣）②	846,200	840	847,040	最終-1（5人分航空券）
38	2013.07.25	国際奉仕委員会（リスボン）	1,467,026	840	1,467,866	NO.6-6
39	2013.07.25	国際奉仕委員会（オーストリア短期派遣）③	2,000	0	2,000	最終-1（オリエンテーション会場費）
40	2013.07.25	国際奉仕委員会（オーストリア短期派遣）④	20,000	630	20,630	最終-1（選考会会場代）
41	2013.08.05	国際奉仕委員会（オーストリア短期派遣）⑤	129,110	840	129,950	最終-1（バス代その他）
42	2013.08.12	7~6月支援会議会議費、事務所費等	2,500,000	0	2,500,000	
		支払合計	36,075,968	32,025	36,107,993	
		差引合計			71,093,999	

復興補助金承認報告

No			クラブ名・委員会名	プロジェクト名
1	1	1	浪江ＲＣ	避難地区のクラブ支援金（7月1日現在の会員数×一人50,000円）
2	1	2	富岡ＲＣ	避難地区のクラブ支援金（7月1日現在の会員数×一人50,000円）
3	1	3	小高ＲＣ	避難地区のクラブ支援金（7月1日現在の会員数×一人50,000円）
4	2	1	須賀川南ＲＣ	須賀川市立第一小学校マーチングバンドを支援する件
5	2	4	須賀川ＲＣ	逆浸透膜浄水器寄贈プロジェクト（第6弾）
6	2	5	福島中央ＲＣ	東日本大震災・原発事故被害による避難中学校（飯舘中学校）へソフトボール一式を贈る活動
7	2	6	郡山西ＲＣ	復興の折鶴プロジェクト
8	3	1	南相馬ＲＣ	被災地の子供を元気にしようプロジェクト
9	3	2	南相馬ＲＣ	復興祈念「日野皓正ライブ」
10	3	3	いわき平ＲＣ	福島高専復興人材育成事業支援
11	3	6	会津若松西RC	大熊町立大熊中学校及び小学校へ授業用備品を寄贈
12	3	7	社会奉仕委員会	ロータリーこども雪遊び広場
13	4	1	常葉ＲＣ	常葉町　小中学校を元気にする為、授業用備品を寄付するプロジェクト
14	4	2	原町ＲＣ	南相馬市立大甕小学校へ倒壊した二宮金次郎銅像、校歌碑の復元支援
15	4	3	二本松ＲＣ	第一回二本松ロータリークラブ杯児童ソフトボール大会
16	4	4	福島しんたつＲＣ	飯舘村避難児童支援プロジェクト
17	4	5	郡山アーバンＲＣ	飯舘中学校生徒の運動部活動ユニホームの寄贈
18	4	6	原町中央ＲＣ	みんなでワイワイガヤガヤ映画鑑賞会
19	4	7	新世代委員会	福島⇔北海道　雪だるま大作戦事業（特別支援学校支援事業）
20	4	8	新世代委員会	福島キッズＩＮさっぽろ雪まつり
21	5	1	福島中央ＲＣ	福モモ・プロジェクト　福島市民の心を癒すコンサート
22	5	2	いわき平中央ＲＣ	福島県立いわき海星高等学校　野球部支援プロジェクト
23	5	3	二本松あだたらＲＣ	復興支援コンサート「多摩」童謡の会
24	6	1	会津分区	同志社大学応援団会津まつりでの応援演舞実施事業
25	6	3	いわき四倉ＲＣ	四倉第一幼稚園、園児心のケアーサポート
26	6	6	国際奉仕委員会	リスボン国際大会・友愛の広場で福島の現況報告
27	7	1	郡山南ＲＣ	避難地区より止む無く移住している高校生対象の海外夏休みショートステイ
28	7	2	いわき平東ＲＣ	福島県立湯本高校災害復興支援プロジェクト
29	7	4	富岡ＲＣ	すくすく育てこども達！！応援プロジェクト（絵本の寄贈）
30	7	6	船引ＲＣ	田村市、田村郡の野球中学生を元気にする為に、備品を寄付するプロジェクト
31	7	7	原町ＲＣ	原町第一中学校への楽器の寄贈
32	7	8	新世代委員会	葛尾村小中学校再開支援事業
33	最終	1	国際奉仕委員会	1910-1920地区・2530地区福島県大学生支援プロジェクト「オーストリア短期派遣」
34	最終	2	だて西ＲＣ	豊かな福島だてを創るプロジェクト
35	最終	3	ロータリー財団委員会	「水からプロジェクト」

復興補助金承認報告

実施日※（　）書きは予定日	プロジェクト合計金額	地区承認額	実支払額	クラブ持出額	協力地区・クラブ団体等
2012.09.19	2,250,000	2,250,000	2,250,000	0	
2012.09.19	2,200,000	2,200,000	2,200,000	0	
2012.09.19	550,000	550,000	550,000	0	
2012.12.02	2,964,150	1,914,150	1,914,150	1,050,000	七尾RC、七尾みなとRC、モントレーRC
2012.11.23	640,000	440,000	440,000	200,000	
2012.11.20	400,000	280,000	280,000	120,000	
2012.12.23	805,000	390,000	390,000	365,000	米国イングルウッドRC
2013.03.25	1,032,500	516,250	516,250	516,250	東京杉並RC
2013.03.18	1,850,000	1,290,000	1,290,000	560,000	
2013.04.01	1,500,000	1,050,000	1,050,000	450,000	
2012.12.20	831,600	631,600	631,600	200,000	鹿児島中央RC、鶴岡西RC
2013.03.02	3,000,000	2,100,000	2,100,000	900,000	
2013.01.29	714,000	604,000	604,000	110,000	
2013.03.14	2,004,450	1,604,450	1,604,450	400,000	
2013.03.30	384,200	326,570	326,570	57,630	
2013.03.25	980,000	830,000	830,000	150,000	
2013.04.11	1,300,000	910,000	910,000	390,000	東京六本木RC
2013.04.29	999,000	849,000	849,000	150,000	
2013.04.19・20	2,200,000	1,200,000	1,200,000	1,000,000	2510地区（北海道西部）第3グループ
2013.02.01	2,860,350	1,400,000	1,400,000	1,460,350	札幌北RC
2013.05.11	298,400	253,640	253,640	44,760	
2013.03.08	999,585	849,647	849,647	149,938	
2013.03.31	1,563,680	1,050,000	1,050,000	513,680	二本松RC、浪江RC、多摩童謡友の会
(2013.09.23)	998,000	800,000	800,000	198,000	会津分区、会津若松南RC、京都亀岡RC
2013.04.30	184,200	156,570	156,570	27,630	
2013.06.23	1,500,000	1,500,000	1,467,026	0	福島県観光・国際交流課
2013.08.09	985,000	837,250	837,250	147,750	5370地区（カナダ）、1750地区（フランス）
2013.05.31	2,400,000	1,680,000	1,680,000	720,000	川崎西RC
2013.06.30	79,644	67,697	67,697	11,947	
2013.05.31	104,580	88,893	88,893	15,687	
2013.06.27	1,181,250	826,875	826,875	354,375	
2013.05.25	988,030	500,000	500,000	488,030	2510地区（北海道西部）美唄RC
2013.07.28～08.14	4,226,200	1,890,200	1,843,510	2,336,000	1910-1920地区（オーストリア）のロータリー（交渉・運営など）
2013.08.01	1,430,000	1,000,000	1,000,000	430,000	
2013.07.19 取り下げ	1,200,000	300,000	0	900,000	取り下げ
承認合計　35件	46,403,819	32,836,792	32,757,128	13,517,027	

未来の子供たちの 輝く笑顔ために・・・

国際ロータリー第2530地区　2013－14年度ガバナー
復興支援本部長　渡邉　公平

東日本大震災より今日まで国内外のロータリークラブ皆様より物心両面にわたりご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

大震災より３年が過ぎ、復旧から復興に向けて槌音が聞こえるように感じられてまいりましたが、私どもの第2530地区福島では、東京電力福島第一原子力発電所事故による甚大な被害を被っており、今日に至るまで、風評被害、原子力被害に悩まされ続けております。特に、若き世代の方々を始めとして多数の方々が他地区に流出しているのが現状であります。

福島の将来を考えたとき、未来を担う若き世代の人達が一日も早く安全に安心して生活できるふるさとを取り戻すために、見えない壁を自らの手で取り除く努力をしていかなければならないと考えております。

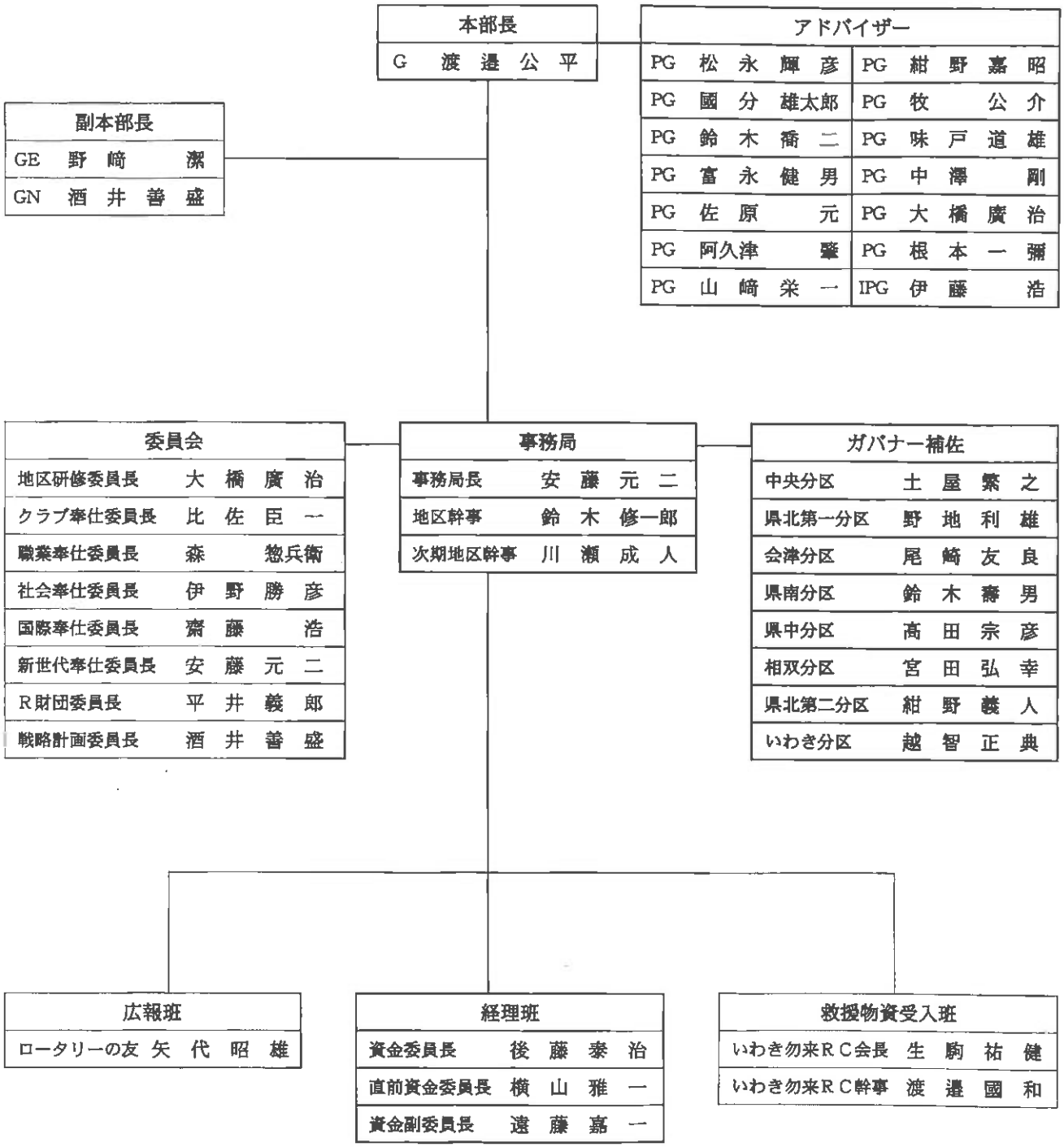
今年度の地区テーマ「未来の子どもたちの　輝く笑顔のために・・・」のもと、県内の各クラブが地域に目を向け、未来の子どもたちの為に今何をすべきか・何ができるのかを主眼に置き支援をしてまいりました。また、支援活動を通して、地域の方々にロータリー活動をご理解いただき、今後とも、共に奉仕活動に加わる方々が増えることを願っております。

寄せられた義援金を有効かつ効果的に活用し支援活動が継続出来る様にと、野﨑潔年度・酒井善盛年度にわたり支援計画をいたしました。福島の復興と未来のために「ロータリーの奉仕」の精神のもと更なる奉仕活動を繰り広げていかなければいけないと考えております。

ここに2013年－14年度の支援内容について、ご報告をさせていただきます。

国際ロータリー第2530地区 復興支援本部組織図

作成日：2013年７月23日



2013-14

3.11東日本大震災

2013-2014年度 災害支援活動記録

The Great East Japen Earthquake Support Activity Report

日本国内からはもとより
世界のロータリアンからお預かりした貴重な義援金をもとに行った支援活動。
ロータリー東日本大震災復興基金日本委員会へ申請された支援プロジェクト。
各クラブ、委員会で行った様々な支援活動の一部を掲載いたします。

2013-2014年度　地区復興補助金報告

原町中央ＲＣ

◀ **元気リターン車椅子事業**
『もう一度自分の足で・・・』

原町中央ＲＣは、仮設住宅入居期間の長期化に伴い、体調不良の高齢者の入院リハビリ用に車椅子２台を寄贈した。

福島中央ＲＣ

浪江町役場と県外の避難先を結ぶ車両の寄贈 ▶

福島中央ＲＣは、和歌山中ＲＣ・和歌山東南ＲＣ・フィリピン・サンペドロＲＣと共同で、浪江ＲＣの協力により、浪江町民の避難先と浪江町役場との移動手段でもある車両が不足している現状への対応として、車両一台（新型プリウス）を浪江町役場に寄贈した。

原町ＲＣ

▶ ＭＪＣ（南相馬ジュニアコーラスアンサンブル）のコンクール出場と兵庫県洲本市の合唱団との交流「響け　若人の歌声　被災地から被災地へ」支援

原町ＲＣは、会津若松南ＲＣ、第2680地区洲本ＲＣ・南淡路ＲＣ・淡路三原ＲＣ・津名ＲＣ・淡路北ＲＣ・あわじ中央ＲＣ、第2680地区ロータリー財団からの支援金を受け、今回の震災で被害を受けた南相馬の子供たちと、阪神淡路大震災に続き今年も同じ大震災の被害を受け被災したＲＩ2630地区淡路島や州本市の子どもたちや地域の皆さんと音楽を通じて交流を深めた。

2013年(平成25年)7月18日　木曜日　神戸新聞

歌声で結ぶ被災地

福島の合唱団公演

島内団体と共演

図書や遊具など寄贈

植田児童館に勿来RC

大型ブロックで遊ぶ子どもたち

いわき勿来ＲＣ

▼ 大震災により全壊した植田児童館の図書、遊具、備品類の復旧支援

いわき勿来ＲＣは、東京江戸川ＲＣの協力により、東日本大震災により全壊した植田児童館の図書・遊具・備品類の復旧支援を行い、会員及びその知人から児童用中古図書の寄付をしてもらった。

社会奉仕委員会

◀「会津の里にこらんしょ！」プロジェクト

社会奉仕委員会は、第2530地区の参加クラブ、会津分区の10クラブの協力により、風評被害を克服し、元気を取り戻すため働きかけ、県内外のロータリークラブ・ロータリアン同士の交流と親睦を図った。

福島しんたつＲＣ

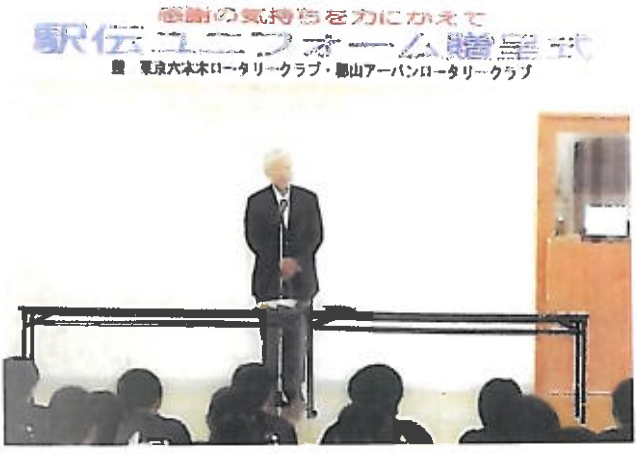
飯舘村・子ども遊び場確保支援事業 ▼

放射線問題で幼稚園の子供たちは屋内活動が中心で発達段階に応じた運動機能が低下しており、これを防ぐべく福島しんたつＲＣは飯舘村の草野飯樋幼稚園に対し、簡易プールを贈呈し、運動機能向上に寄与した。

二本松ＲＣ

福モモプロジェクト・子供たちへ「音楽と歌で楽しいひとときを！」

二本松ＲＣは、「音楽で楽しいひとときを」のコンサートを開催した。出演者は、モンデンモモさん、紺野由香里さん、Nobyさん、砂原嘉博さん、本田裕子さん。主に浪江町から避難している障害福祉サービス事業所「アクセスホームさくら」、二本松「菊の里」の方々を招待し、楽しいコンサートを通して心のケアの支援ができた。



郡山アーバンＲＣ

飯舘中学校駅伝部にユニフォームの支援

郡山アーバンＲＣは、飯舘中学校駅伝部に第2750地区東京六本木ＲＣと共同にてマラソンのユニホームを贈呈した。

白河西ＲＣ

2013白河・深谷ジュニアサッカー交流親善試合 ▶

白河西ＲＣは、深谷ＲＣ・岡部ＲＣの協力により、放射線を気にせず、グランドで日頃のサッカーの練習成果を思う存分発揮してもらい、サッカーの交流親善試合を開催した。

2013年(平成25年)11月30日（土曜日）

サッカーを通じて交流を深めた白河、深谷両市の子どもたち

サッカーで交流

埼玉・深谷 白河の児童ら親善試合

白河市と埼玉県深谷市の子どもたちが参加したジュニアサッカー交流親善試合は29日までに、深谷市の古河スカイ深谷工場内グラウンドで開かれ、子どもたちが試合を通じて交流を深めた。

白河西ロータリークラブ（RC、小林毅勝会長）と姉妹クラブの深谷ノースRCが、両市の子どもたちの交流と青少年育成を目的に開き、今年で2回目。白河市から、白河FCの5年生チーム13人、6年生チーム11人の計24人を含む総勢38人が深谷市を訪れた。

試合に先立ち、小林会長が「練習成果を存分に発揮してほしい」とあいさつし、子どもたちが熱戦を展開。

深谷市の小島進市長や深谷、岡部西RC関係者も駆け付け、声援を送った。

表彰式では、白河西RCから子どもたちにサッカーボールなどが贈られた。

県中分区

県中分区内高等学校バドミントン大会（県中分区杯） ▼

県中分区（全６クラブ）は、県中分区内にある県立学校４校参加によるバドミントン大会を開催した。生徒の親睦を深め、かつ、浜通りより避難している生徒にスポーツの機会を与えることができた。

いわき内郷ＲＣ

「うちごう民話探検団」絵本プロジェクト

いわき内郷ＲＣは、楢葉町から避難し仮設住宅で生活されている方々やいわき市に避難されている方々・地域の子供達に、オリジナル民話「むかし探検隊」の絵本を製作し、クリスマスプレゼントとして贈呈した。

本宮ＲＣ

本宮ロータリー杯　サッカー大会

本宮市近郊の屋外のスポーツ活動の時間を制限されている子供達に対して、本宮ＲＣは、インドアサッカー大会を開催し、大会を通じて参加した子供の体位向上に努めた。また、屋外でのスポーツ活動に必要なテントも寄贈した。

須賀川南ＲＣ

東日本大震災で全壊した鏡石第一小学校と児童を支援する事業

須賀川南ＲＣは、東日本大震災で甚大な被害を受けた鏡石第一小学校に対して宝塚中ＲＣと共同で、速やかな復興を祈念し“未来の子供たちの輝く未来のために”、校旗一式、ヤマハオルガン９台、国語辞典510冊寄贈した。

民友　2014年（平成26年）2月20日（木曜日）

鏡石一小に復興支援品

須賀川南ＲＣなどが校旗やオルガン贈呈

須賀川南ロータリークラブ（ＲＣ）と姉妹クラブの宝塚中ＲＣ（兵庫県）は19日、鏡石町の鏡石一小に東日本大震災復興支援品として校旗一式、ヤマハオルガン9台、小学国語辞典510冊を贈った。

両ＲＣは、東日本大震災で被災し、仮設校舎から新校舎に移り、勉強やスポーツに励む同校児童の教育振興に役立ててもらおうと復興支援品を贈った。

贈呈式は同校体育館で行われ、遠藤富士男須賀川南ＲＣ奉仕プロジェクト委員長が児童代表で6年の松崎史番さんに校旗、小磯拓斗君に国語辞典を贈ったほか、オルガンをステージで披露した。

両ＲＣを代表して竹原善記宝塚中ＲＣ元会長が「大震災から間もなく3年を迎えるが、人への思いやりを持ち、前向きに自分らしく生きてほしい」と激励のあいさつを述べた。

石山晃司校長からは、両ＲＣ代表に感謝状が贈られた。

児童代表で6年生の真船壮史君が「仮設校舎から新校舎への引っ越し。ありがたい贈り物を大切に使わさせていただきます」と感謝の言葉を述べた。

式終了後は、6年生を送る会が開かれ、両ＲＣ会員が児童らの発表を温かく見守った。

▲遠藤委員長から校旗の贈呈を受ける松崎さん㊨

◀贈呈された校旗

県北第一分区

あれこれなんでも相談室

県北第一分区は、市内７クラブの会員のそれぞれの職種と専門的な知識を生かし、福島近郊に避難されている方々や弱者（老人、ご婦人）、一般市民からの様々な困りごとや悩み事の相談に応えた。震災によって傷ついた心のケアをし、災害復興支援を実現した。

専門知識生かして助言

福島中央ＲＣなんでも相談

福島中央ロータリークラブ（ＲＣ）主催の「第15回あれこれなんでも無料相談会」は1日、福島市のアオウゼで開かれ、大勢の市民が来場した。国際ロータリー第2530地区県北第一分区ＲＣの共催、福島民友新聞社などの後援。

弁護士や税理士、司法書士、一級建築士、医師ら幅広い分野で活躍するＲＣ会員が、専門知識を生かし、法律や住宅建築、健康などさまざまな分野の相談員を務めた。今回は、同ＲＣのほか、同県北第一分区に所属する福島、二本松両市の各ＲＣも協力し、各分野に精通する会員を派遣、懇切丁寧に相談に応じていた。

また、5分間で血管年齢を判定、看護師のアドバイスを受けられる生活習慣病予防コーナーが会場に設けられ、来場者が体験した。茂田士郎福島いのちの電話理事長の特別講演も行われ、「命の大切さ」などについて考えた。

ＲＣ会員が不動産や法律などの相談に応じた無料相談会

専門家がお答えします

1日に福島中央ＲＣ相談会

福島中央ロータリークラブ（ＲＣ）は2月1日、福島市のアオウゼで「第15回あれこれなんでも無料相談会」を開催する。参加、相談は無料。国際ロータリー第2530地区県北第一分区ＲＣの共催、福島民友新聞社などの後援。

弁護士や公認会計士、一級建築士、医師、社会保険労務士ら幅広い分野で活躍するＲＣ会員が専門知識を生かし、法律や住宅建築、健康、子どものいじめ問題、冠婚葬祭などさまざまな問題の相談に応じる。また、5分間で血管年齢を判定、看護師のアドバイスを受けられる生活習慣病予防コーナーも設ける。茂田士郎福島いのちの電話理事長の特別講演も行われる。

今回は、福島中央ＲＣのほか、県北第一分区に所属する福島、二本松両市の各ＲＣも協力し、各分野に精通する会員を派遣する。開催時間は午前10時から午後2時30分まで。

問い合わせは福島中央ＲＣ事務局（電話526・7211）へ。

ＰＲ来社した（左から）丹野委員長、大出幹事、坂本会長、野地ガバナー補佐、黒羽幹事、宍戸委員長

法律、健康、いじめ、冠婚葬祭…　無料で悩み対応

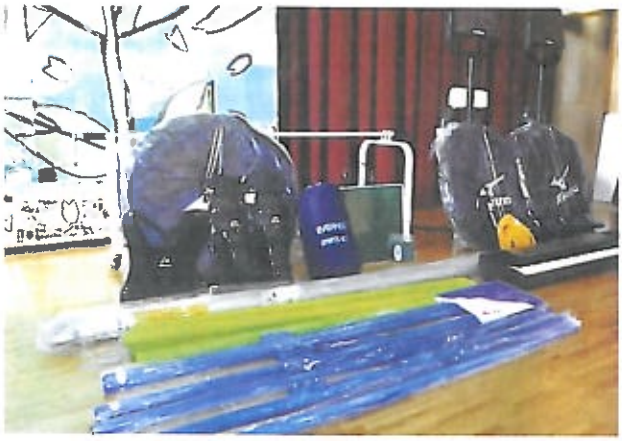
野地利雄県北第一分区ガバナー補佐、黒羽好夫同ガバナー補佐幹事、坂本和司福島中央ＲＣ会長、大出廉秀同ＲＣ幹事、丹野良一同ＲＣ奉仕プロジェクト委員長、宍戸宏行同ＲＣ職業奉仕委員長は27日、福島民友新聞社を訪れ、同相談会をＰＲした。

常葉ＲＣ

▼ 常葉中学生を元気にするプロジェクト

常葉ＲＣは、競技を行うための設備・備品が古くクラブ活動に支障をきたしている常葉中学校に、各クラブで最も必要な備品を贈呈し、活発なクラブ活動が行えるよう貢献し、応援した。

贈呈式　会長より校長へ



贈　呈　品

原町中央ＲＣ

救急ボランティア「Heart Line 鹿島」支援事業 ▼

地域住民に対し応急手当や普通救急救命法の普及啓発を推進し、緊急時に速やかに応急処置できる人材を育成する救急ボランティア団体「Heart Line 鹿島」に対し、原町中央ＲＣは、スタッフ用ジャンパーを寄贈した。

飯坂RC

◀ 銀座・数寄屋橋公園花桃記念植樹事業

飯坂ＲＣは、第2750地区東京銀座新ＲＣの協力により、福島の風評被害を克服し、「観光とくだもの」の郷、観光客を呼び戻すための広報活動の一環として、東京都銀座・数寄屋橋公園に「ハナモモ」を植樹し、飯坂温泉をアピールした。

▶平成26年3月31日式

飯坂RCが花ももを植樹

東京・数寄屋橋公園 須賀川RCはボタンを

飯坂ロータリークラブ（RC）は、東京都中央区の数寄屋橋公園で花ももの植樹を行った。福島市や須賀川市と交流が深く都市間交流をすすめるNPO法人銀座ミツバチプロジェクトが仲介し、中央区が管理する公園に植樹することになった。須賀川RCもボタンを植樹した。式には飯坂RCから堀切知之会長ら八人が参加。交流のある東京銀座新RC、須賀川RCなどから約五十人が出席した。

堀切会長が矢田美英中央区長らとともに花ももの苗二株を植えた。

植樹後、飯坂RCの会員は東京銀座新RCの例会にも出席し、被災地の現状や風評克服に向けた取り組みなどを報告した。

花ももの植樹を行った飯坂ＲＣの会員

▲実施日　平成26年２月14日

会津若松西RC

大熊町に福祉車両を贈呈 ▶

会津若松西ＲＣは、避難生活されている方々の福祉車両の必要性と車両寄贈の要望を大熊町行政側から受け、大熊町へ車両を寄贈した。医療・福祉サービスを受ける避難住民の自立への支援ができた。

車両贈呈式

三春RC

復興支援
全国高等学校選抜柔道錬成三春大会

三春ＲＣは、津波により流出してしまった優勝旗の代わりに優勝カップを贈呈した。三春のまちづくりの一翼を担う武道・スポーツ振興を推進し、再度大会のシンボルを取り戻し、従来開催してきた女川町での柔道大会の再開までつなぐことができた。

全国どこの高校に贈られるかわからないので福島県を入れる

贈呈した優勝カップ

福　島　民　報

三春RCが優勝カップ

全国高校選抜柔道錬成三春大会

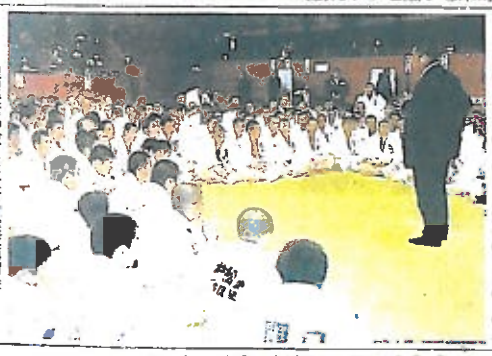
名指導者の実技講習会も

三春町民体育館で八、九日に開かれた復興支援「全国高校選抜柔道錬成三春大会」では、優勝した修徳（東京）に三春ロータリークラブ（RC、大内幸一会長）から優勝カップが贈られた。

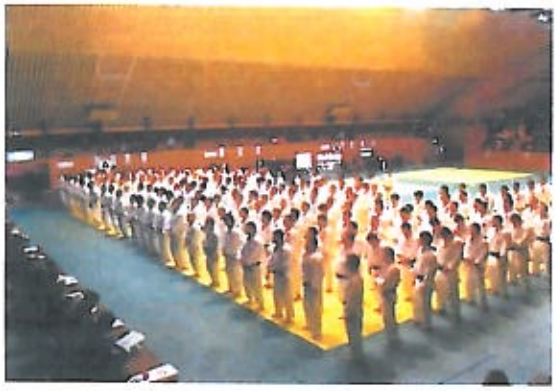
同RCは優勝チームに前回まで贈呈されていた女川町長旗に代わる大会の新たなシンボルとして、優勝カップを提供した。国際ロータリー第2530地区の復興補助金を活用している。閉会式の席上、鈴木端孝町長が修徳の代表選手に手渡した。

閉会後は、出場選手に地元の小中学生らを交えて実技講習会が開かれた。世界大会などで活躍した指導者が立ち技、寝技などのテーマ別に教えた。

修徳の選手に優勝カップを贈る鈴木町長（右）


名指導者の教えを受けた実技講習会

2014年２月10日（月）　県南版


全国から24チームが出場

鈴木三春町長から優勝カップ授与

優勝カップを前に東京・修徳高校

三春RC

三春ロータリークラブ杯少年剣道大会

三春ＲＣは、第３回三春ロータリークラブ杯少年剣道大会を開催した。三春町の中学校統廃合に伴う進学前の各剣道部の子供達同志と避難して共に稽古している「葛尾少年剣道団」の子供達との交流と親睦を図った。また日本の伝統と剣道の理念にある人間形成の育成のため、少年剣道防具一式４式贈呈した。

贈呈した防具一式

胴の裏に送り先と三春ロータリークラブを記入

防具の贈呈

2014年３月４日（金）　福島民友

佐久間大翔君（沢石小）ら優勝

三春ＲＣ杯剣道 40人が熱戦

第三回三春ロータリークラブ（ＲＣ）杯剣道大会は二日、三春町武道館で開かれ、小学校高学年の部は佐久間大翔君（沢石）が優勝した。

三春町武道館剣道スポ少、沢石防犯剣道スポ少、要田剣道クラブ、葛尾少年剣道団の主催、三春ＲＣの共催。年代別の四部門に三春町や葛尾村から約四十人が出場し、個人戦で日頃の精進の成果を競った。

各団体にはＲＣが国際ロータリー第２５３０地区復興補助金で購入した防具一式が贈られた。大内幸一会長が閉会式の席上、贈呈した。成績は次の通り。

▽小学校低学年①佐久間廉斗（三春）②渡辺茉音（沢石）③松本潤（葛尾）若林珠凛（三春）▽同中学年①松本康聖（葛尾）②宮田秀以（三春）③佐久間大輔（同）若林白翔（同）▽同高学年①佐久間大翔（沢石）②佐久間聖太（同）③渡辺直樹

各部門の優勝者（左から低学年・佐久間君、中学年・松本君、高学年・佐久間君、中学生・八島君）

大内会長（左）から防具を受ける各団体の代表

いわき勿来RC

◀ 被災した磐城農業高校の校庭に桜の植樹

いわき勿来ＲＣは、ＵＳＡバンクーバーＲＣ、京都城陽ＲＣからの支援金を受け、磐城農業高等学校の緑地土木科・インターアクトクラブの生徒の協力により、校庭に染井吉野の桜の苗木100本を植樹した。町のシンボルである桜の景観を取り戻すことに貢献した。植樹後は、同校の園芸科の生徒が大切に育てる。

福島民友　2014年（平成26年）6月12日（木曜日）

地域の歴史理解して

鈴木会長（左から２人目）から目録と絵本を受ける飯島校長ら、石沢さん、安斎君

いわき内郷RC

3中学校に民話絵本寄贈

英語、和訳つき「むかし探検隊」

いわき内郷ロータリークラブ（RC、鈴木礼子会長）は10日、いわき市のクレールコートで同市内郷地区の中学校3校に同地区の民話や史跡に関する英語と和訳がついた絵本「むかし探検隊」を贈った。

同RCは昨年12月に、東京電力福島第一原発事故の影響で檜葉町から避難している住民に昔の内郷を知ってもらおうと絵本を配ったのを始め、同地区の小学校7校の6年生と中学校3校の図書館などに千冊贈っている。今回は教育支援として内郷一中、内郷二中、内郷三中の2、3年生にそれぞれ340冊、80冊、35冊計455冊をプレゼントした。

贈呈式では、鈴木会長が「子どもたちのために役に立ってほしい」とあいさつ。3校を代表して内郷一中の飯島裕人校長、同校の生徒会長石沢菜夏さん（14）＝3年＝、副会長安斎将君（14）＝同＝らに鈴木会長が目録と絵本を手渡した。絵本は、英語の授業や朝の読書などで取り上げられる。石沢さんは「絵本でさらに英語に親しみ、民話の舞台を探検したい」と感謝を述べた。

いわき内郷RC

◀ 増刷「うちごうむかし探検隊」絵本プロジェクト

いわき内郷ＲＣは、内郷地区第一中学校・第二中学校・第三中学校の２・３学年の生徒全員へ英語教材として贈呈した。また、地域の団体等、いわき地区のお電話いただいた方々、震災で内郷を離れた方々、相馬ＲＣ地区の小学校へ寄贈した。

南相馬RC

飯舘村中学校仮設校舎 グランド照明設備設置

H26年７月10日に申請取り下げの上、補助金は2014-2015年度へ返金した。

いわき鹿島RC

被災児復興支援施設に備品を贈るプロジェクト ▼

いわき鹿島ＲＣは、第2780地区第８グループの支援金を受け、H26年４月に開設した被災児復興支援施設「チャイルドハウスふくまる」に必要な備品を購入した。円滑な業務・運営の一助を担うことができ、震災孤児・遺児、福島の子供達に役立つことができた。

贈呈備品

贈呈式

いわき小名浜RC

◀ 東日本大震災復興支援

いわき小名浜ＲＣは、川崎幸ＲＣの支援を受け、津波・原発の影響で海洋学習など屋外学習が制限されている永崎小学校に、図書室環境の充実を目的とした品々を贈呈した。併せて津波で流出した校旗の収納庫も贈った。

小名浜RCが永崎小に備品
川崎幸RCが支援
いわき市のいわき小

名浜ロータリークラブ（RC）は二十三日、国際RC第二五三〇地区（本県）と川崎幸RC（神奈川県）の支援を受け、市内の永崎小に支援品を贈った。同校では東日本大震災や東京電力福島第一原発事故の影響で、海

岸清掃など屋外学習の一部を室内学習に変更している。三RCは室内学習に使う図書室の環境を充実してもらおうと、椅子やキャビネットなど約五十九万五千円相当の備品を寄贈した。

贈呈式が同日行われ、川澄純二いわき小名浜RC会長、渡辺公平第二五三〇地区ガバナー、斉木敏雄川崎幸RC会長が、同校の横山敦子校長と児童会代表の上野悟君（六年）に目録を手渡した。

横山校長（手前左）と上野君に目録を渡す（右から）渡辺ガバナー、川澄会長、斉木会長

2014年４月26日（土）　福島民報朝刊掲載

目録を受ける横山校長（左と上野君（左から２人目）

福　島　民　友　2014年（平成26年）4月28日（月曜日）

被災の永崎小に
校旗収納庫寄贈

小名浜RCが支援事業

津波で被災した学校への復興支援事業「P旗プロジェクト」を進めるいわき市小名浜ロータリークラブ（R

[illegible]、川澄純二会長）などは23日、いわき市永崎町の永崎小（横山敦子校長）に校旗の収納庫や贈り物の備品などを贈った。

同校は津波で校舎が基礎まで浸水するなどの被害を受け、校旗の収納庫も流失した。また、震災や東京電力福島第一原発事故の影響で屋外学習が制限され、図書室での学習に時間を費やされている。このため、図書室の環境拡充を支援しようと、同RCや本県の国際ロータリー第2560地区（鈴木[illegible]ガバナー）、神奈川県の国際ロータリー第2590地区川崎幸RC（斉木敏雄会長）の協力でプロジェクトが進められた。

贈呈式には同RCメンバーや[illegible]、川澄会長らが横山校長と同校児童会の上野悟君（6年）に寄付目録を手渡した。横山校長は「復興への大きな力をもらった」と上野君は「感謝の気持ちを伝えるために学校生活を送りたい」とそれぞれ謝辞を述べた。

横山校長、上野君に目録を渡す斎木、川澄両会長と渡辺ガバナー（左から）

いわき民報　（夕刊）　平成26年（2014年）5月3日（土曜日）　第20696号

永崎小へ総額100万円の支援品
小名浜RCなど　図書室の充実に

いわき小名浜ロータリークラブ（RC）、川崎幸RC（川崎市）、国際ロータリー第2530地区（鈴木[illegible]ガバナー）の支援を受け、東日本大震災の津波で被災した永崎小に図書室環境を充実するためのキャビネット、校旗収納庫など総額100万円相当の備品を寄贈した。贈呈式は[illegible]、小名浜RCでは、震災後、[illegible]

[illegible]

贈呈式には同校の[illegible]、斉木敏雄川崎幸RC会長、渡辺公平ガバナーから横山敦子校長と児童代表して上野悟君（6年）へ、目録の贈呈とともに目録が手渡された。上野君は「大好きな学校が使えず、不安な気持ちでいっぱいだった」と、不便な環境で過ごさざるをえなかった震災の気持ちを打ち明けながら、「支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、勉強って学校生活を送りたい」と力強く語った。

いわき市立永崎小学校支援品

いわき市立永崎小学校東日本大震災復興支援品贈呈式

滝根ＲＣ

「日本古来の豊かな心に触れよう」プロジェクト

滝根ＲＣは、ＲＣ管内対象児童生徒へ、古来より千年以上の長きに渡り、親しまれてきた代表的な文化的書籍である「実語教」・「童子教」を、滝根町連合ＰＴＡを通じて寄贈し、人格形成期における家庭教育支援の一助を担った。

地元小中４校に道徳用図書
滝根ＲＣ 40周年記念し寄贈

田村市滝根町の滝根ロータリークラブ（ＲＣ）は十七日、地元の滝根小、広瀬小、菅谷小、滝根中の児童生徒約三百四十人に道徳用図書を寄贈した。

クラブ創立四十周年記念事業の一環として国際ロータリー第２５３０地区復興補助金を活用して実施した。小学二～六年生には平安時代から伝わる初等教育書「実語教」の図書一冊、中学生には実語教と鎌倉時代からの教訓書「童子教」の図書各一冊を贈った。

同ＲＣの真田規行会長、先崎温容幹事が四校に届けた。このうち滝根小では白岩二朗校長に手渡した。子どもたちには滝根町ＰＴＡ連合会を介して配られる。同ＲＣは来年以降も小学二年生、中学一年生を対象に寄贈を継続する方針。

白岩校長（左）に図書を手渡す真田会長（中央）、先崎幹事

田村市立滝根中学校のホームページ

郡山西ＲＣ

サダコの折鶴絵本出版事業

郡山西ＲＣは、イングルウッドＲＣの協力により、福島県内の子供達をなぐさめ勇気づけ、命の大切さを伝えるために、日米をつなぐ命の絵本「サダコの折鶴」を増刷し、福島県内の年長園児1万人に配布する。9月末配布予定、贈呈式を実施予定。

いわき常磐ＲＣ

◀　津波被災中学校に夢と希望を与えよう

いわき常磐ＲＣは、津波で被災した豊間中学校に最新鋭の電子黒板を寄贈した。魅力あふれる中学校にし、子供達に夢と希望を与える授業で活用してもらうことに貢献した。

電子黒板2台
豊間中に贈る
いわき常磐RC

いわき常磐ロータリークラブ（RC、橋本芳家会長）は十二日、いわき市の豊間中に電子黒板二台を贈った。東日本大震災の復興支援の一環で、国際ロータリー第2530地区の支援金などを活用した。授業で活用される。

電子黒板（左）を贈った贈呈式

贈呈式は豊間小中で行われ、橋本会長が高浜俊彦校長に目録を手渡した。

渡辺公平地区ガバナー、越智正典いわき分区ガバナー補佐、生駒祐健いわき勿来RC会長、森雄治いわき平RC会長、川澄清二いわき小名浜RC会長、吉田光善いわき四倉RC会長らが同席した。

2014年5月14日（水）　福島民報　いわき版

いわき分区（10RC）

桜苗木の購入資金の寄贈

いわき分区は、いわき市内10クラブ共同で寄付活動を行い、いわき市豊間・薄磯・沼ノ内の沿岸部に桜等植樹する事業「さくら基金」へ苗木購入資金として寄附をし、桜の名所としての町の復興に寄与した。植樹地には、いわき分区10クラブのプレートを定置される。

豊間、薄磯、沼ノ内へ目録贈呈

豊間、薄磯、沼ノ内区長を囲んでいわき分区10クラブの代表

福島民報

さくら基金に70万円寄付

いわき10RC 3000本計画を応援

（左から）目録を手渡す川澄、越智の両氏と、鈴木、鳥居、遠藤欽也、遠藤重政の各氏

いわき市で活動するロータリークラブ（RC）十団体は二十二日、市内平の豊間、薄磯、沼ノ内に桜三千本の植樹を目指す「さくら基金」に七十万円を寄付した。各クラブは個別に寄付活動を行っているが、十クラブがまとめて寄付するのは初めて。

「さくら基金」は、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた沿岸部の延長約四㌔にわたって防災緑地に桜を植えるため住民有志が集めている。いわき十クラブの全会員約三百五十人が賛同して浄財を寄せ、国際ロータリー二五三〇地区の補助金を合わせて贈った。

来年二月か三月に植樹の第一弾として三百本程度を植える計画。復興事業が完了する平成二十八年三月ごろまでには三千本に増やす。復興のシンボルとするとともに、震災の教訓を後世に伝える。

贈呈式は豊間生活再建サポートセンターで行われ、川澄清二いわき小名浜RC会長、越智正典いわき分区ガバナー補佐が、鈴木徳夫豊間、鳥居喜一郎薄磯、遠藤欽也沼ノ内の三区長、遠藤重政ふるさと豊間復興協議会顧問に目録を手渡した。

いわき民報（夕刊）

さくら基金への贈呈式の出席者たち

豊間、薄磯、沼ノ内地区

津波被災地を桜で飾る

市内の10RC “さくら基金”に70万円を寄付

復興を願って全員が協力

国際ロータリー第2590地区いわき分区は23日、平豊間・薄磯・沼ノ内地区で組織する「さくら基金」へ70万円を寄付した。贈呈式が同日、豊間生活再建サポートセンターで行われた。

東日本大震災の大津波で被害を受けた3地区は、震災の教訓を後世に伝えるとともに復興のシンボルにしようとの思いで、防潮堤や防災緑地などの復興事業の完了する平成28年3月をめどに桜の苗木を地区内に植えることを計画。鈴木徳夫豊間区長を実行委員長に実行委員会を組織、協賛金を集めるためにさくら基金を創設した。

市内で活動する10のロータリークラブ（RC）では、それぞれ奉仕活動を行う中、この基金へロータリアン全員で協力しようと、約350人の会員が1000円ずつを集めるとともに、同分区の予算から35万円を浄財に寄付することを決めた。これには、全国のRCから復興を願って寄せられた支援金も含まれている。

贈呈式は、同分区の越智正典同分区ガバナー補佐のほか、各クラブの会長や役員らが出席。越智ガバナー補佐が「まちが活性化し、早く花が咲くことを願っている」とあいさつし、10クラブを代表して、川澄清二いわき小名浜RC会長が鈴木区長、鳥居喜一郎薄磯区長、遠藤欽也沼ノ内区長、遠藤重政さくら基金顧問へ目録を手渡した。

このあと遠藤顧問が地区の現状を説明。3地区を代表し、遠藤区長が「心から感謝したい。復興事業が完成したあと、復興の証しの桜をみなさんに見てもらえるとうれしい」と謝辞を述べた。

新世代奉仕委員会

「福島の今」を伝える新聞

新世代委員会は、第2630地区大垣ＲＣ、大垣西ＲＣ、大垣中央ＲＣ、地区内のインターアクトクラブ加盟校と連携し、中高生の視点から「福島の今」、そして「これまでの支援に対するありがとうの気持ち」を伝える新聞を作成する。各県のＩＡＣ連絡協議会を通じて全国のインターアクトクラブ加盟校に配布した。

FUKUSHIMA 2014
Interact Club
国際ロータリー 第2530地区

復興青少年親子キャンプ大会

多くの物を失った、三年前の東日本大震災

ふくしまからはじめよう。

コラム

復興に向けて
学校の特色を生かした復興
ゆるキャラと福島の復興
仮設住宅訪問を通して
仮設住宅の問題点　先の見えない不安
福島はまだ続いている
福島を伝える
会津農林高等学校IAC
風評被害に立ち向かえ
本宮高等学校
避難所での活動
岩瀬農業高等学校
故郷を離れても
喜多方市立第一中学校
忘れないこと
立ち上がる福島
喜多方市桜高等学校
通信っぺ福島!!
学校法人石川高等学校

福島中央ＲＣ

復興支援コンサート「復モモ・プロジェクト2014」

福島中央ＲＣは、福島市民のための癒しのコンサートを開催した。去年から引き続きモンデンモモさんが出演し、花見山イメージソングである花見山伝説のＣＤを発表した。花見山から福島市全体の復興支援に寄与することができた。

本県支援へコンサート
福島中央RC

東日本大震災からの復興を後押しする「福モモ・復興支援コンサート」は16日、福島市で開かれ、二本松市にゆかりのあるシンガー・ソングライターのモンデンモモさんが美しい歌声を披露した。福島中央ロータリークラブ（RC、坂本和司会長）の主催。

震災と原発事故で傷ついた心を癒してほしいと企画。モンデンモモさんは、花見山への思いを込めて作った「花見山伝説」などを歌い、会場からは大きな拍手が湧いていた。

「智恵子抄」の朗読なども披露、美しい音楽が聴衆を元気づけた。

歌声を披露するモンデンモモさん

福　島　民　友

心に笑顔咲かせます

花見山の歌 聞きに来て 福島で16日

東日本大震災と原発事故を経験した人々の心を癒やすと同時に、福島市の名所花見山を応援しようと、福島中央ロータリークラブ（RC、坂本和司会長）は16日午後4時から、福島市の福島ビューホテルで復興支援コンサートを開く。二本松市にゆかりのあるシンガー・ソングライターのモンデンモモさんが、花見山への思いを込めて作った「花見山伝説」などの曲で歌声を響かせる。

コンサートは、同RCの「福モモ・プロジェクト」の一環で、昨年に続きモンデンさんを招いた。「花見山伝説」は、昨年モンデンさんが花見山を訪れ、園主の故阿部一郎さんと会って感じたことを歌った曲。今回はこの曲を収録したCD発表も兼ねる。

当日は「智恵子抄」の朗読のほか、ピアノ演奏に乗せたシャンソン、ポップスなども披露。入場無料。希望者は同RC事務局に電話（024・526・7211）かファクス（同7212）で申し込む。

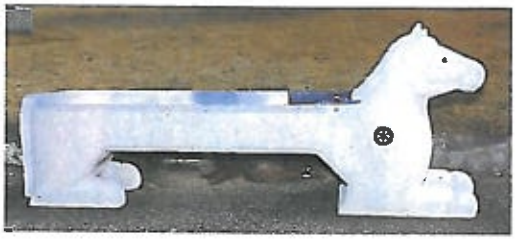
同RCの坂本会長と桐原正雄復興支援プロジェクト委員長、大出隆秀幹事は「多くの皆さんに聴いていただきたい（坂本会長）」「気軽に足を運んで楽しんでください（桐原委員長）」とPRした。

来場を呼び掛ける（右から）桐原委員長、坂本会長、大出幹事

相双分区

図書館周辺ベンチ寄贈事業

道の駅『南相馬』と『相馬』の２か所へ相双分区８クラブ連名の記載されたモニュメント及び馬型ベンチを設置致しました。



福島民報

石碑とベンチ４基贈る

R I 相双分区 道の駅南相馬に

道の駅南相馬で行われた寄贈式

国際ロータリー第2530地区相双分区六日、現地で寄贈式が行われた。

国際ロータリーからガバナー補佐の宮田弘さんが、道の駅南相馬に、記念の石碑とベンチ４基を贈った。二十四日、南相馬市鹿島区の道の駅南相馬に、震災で亡くなった人を追悼するモニュメントと馬型ベンチを設置した。

モニュメントは、震災の教訓を後世に伝えるため、相双分区の関係者十人余りが出席。昨年度の相双分区ガバナー補佐の宮田弘さんが、道の駅南相馬に、震災で亡くなった人を追悼するモニュメントと馬型ベンチを設置した。

寄贈式には相双分区の関係者十人余りが出席。昨年度の相双分区ガバナー補佐の宮田弘さんが、道の駅南相馬に、震災で亡くなった人を追悼するモニュメントと馬型ベンチを設置した。

2014年12月28日
福島民報新聞掲載

川俣ＲＣ

避難者の方々の安全衛生面の向上と絆の強化事業

川俣町山木屋地区の避難者の仮設住宅４か所にごみ収集所を設置し、避難者の衛生状態の改善によるインフルエンザ等伝染病の防止と周囲に及ぼす環境面の改善を図った。８月６日に寄贈式を行った。

2014年８月８日　福島民報新聞掲載

仮設にごみステーション寄贈

川俣RCが4台

川俣ロータリークラブ（RC）は六日、東京電力福島第一原発事故で避難した川俣町山木屋地区の住民が暮らしている同町の仮設住宅二カ所にごみステーション四台を寄贈した。

カラスやネコがごみ収集所の生ごみなどを荒らすため、国際ロータリー第2530地区東日本震災復興基金から約七十万円の支給を受けて屋根と柵付きのごみステーションを設置した。大きさは幅三・八㍍、高さ二・八㍍。

農村広場仮設住宅に三台、体育館仮設住宅に一台を贈った。

農村広場で贈呈式が行われ、関係者約二十人が出席した。紺野希予司会長が広野太山木屋仮設住宅自治会長に目録を手渡した。

ごみステーションを寄贈した川俣RCの関係者

2014年８月９日　福島民友新聞掲載

仮設住宅4カ所にごみステーション

川俣RCが設置

川俣町の川俣ロータリークラブ（RC、紺野希予司会長）は、同町の仮設住宅4カ所に改修したごみステーションを設置し、6日に同町の農村広場仮設住宅で贈呈式を行った。紺野会長が広野太自治会長に目録を手渡した。

同RCは国際ロータリーの復興補助金などを活用、約70万円でごみステーションの扉を設置した。紺野会長は「使っていたネットを上げ下げするのが大変と聞いていた。少しでも貢献できれば」とあいさつした。

ごみステーション前で、広野会長（右から3人目）に目録を手渡す紺野会長

いわき常磐ＲＣ

津波被災中学校に夢と希望を与えよう

豊間中学校は、震災の時に大津波に襲われて校舎は破壊され、校舎は使えない状態が続いて、現在は豊間小学校に間借りしています。全校生徒は、家々も破壊された為豊間地域に住むことが出来ず、家族と共に他の地域に避難を余儀なくされています。魅力ある豊間中学校にする為にも最新鋭の設備を導入し、この子供達に未来への活力と希望を与えるためにも、いわき市の教育委員会でも推奨している電子黒板を寄贈して学問に励んでもらいたい。５月12日寄贈式を行った。

石川ＲＣ

かまどベンチの設置プロジェクト

防災へ目を向ける啓発になればという思いで東日本大震災をきっかけにかまどにもなるベンチを設置しました。

2015年２月25日（水）　福島民友新聞掲載

4町村にかまどベンチ

災害時の活躍に期待

石川RCが寄贈、設置式

加納町長にかまどベンチの使用説明書を手渡す矢吹会長＝

石川ロータリークラブ（RC、矢吹雅弘会長）は23日、石川郡内4町村で災害時用かまどベンチの設置式を行った。「かまどベンチ」は椅子部分を外すと、かまどとして使用できる。国際ロータリーの東日本大震災復興基金を活用し、各町村に2基ずつ設置した。

このうち、石川町の母畑レークサイドセンターでは、矢吹会長が「災害時にはかまどとして活用できるし、平時にはくつろぐために使ってほしい」とあいさつし、使用説明書を加納武夫町長に手渡した。加納町長は「災害はいつ発生するか分からない。こうしたものは大切」と感謝の言葉を述べた。

ベンチはこのほか、平田村民グランド、たまかわ文化体育館（玉川村）、大網庵（古殿町）にそれぞれ設置された。

2013-2014年度 「水からプロジェクト」報告

2013-14年度 ロータリー財団委員会 委員長 平 井 義 郎

2013-2014年度「水からプロジェクト」を通し、全国から寄せられた善意の「水」についてのご報告を申し上げます。ご支援頂いた地区・クラブ様には心より感謝申し上げます。

「水からプロジェクト」とは震災の被災者に「癒しの水」を支援するプロジェクトです。

2011年３月11日に発生した東日大震災に伴い被災された方に対して、「ペットボトルの水」を配布し、心を癒されることを願うプロジェクトです。

このプロジェクトの立ち上げは、2500地区（櫻田正弘ＤＧ）、2670地区（大村大三郎ＤＧ）にサポートを頂き、ラベルデザインは神戸東ＲＣ岩野了氏が担当され、全国に発信されました。

ご支援頂いている地区・クラブ様は下記の通りとなっております。

2013-2014年度としては、2013年６月14日　2760地区（愛知）分より配布先を表記致しました。

詳細につきましては、webサイトをご覧下さい。

http://ri2530.com/2014-2015/mizu/mizu_main.html

第１弾　RI2670地区（四国４県）より

配布日時　2013年３月27日

RI2670地区（四国４県）からの支援です。田村市・飯舘村・川俣町・伊達市それぞれに合計12,000本を支援して頂きました。

第２弾　RI2500地区（北海道）より

配布日時　2013年５月９日

RI2500地区（北海道）からの支援です。浪江町へ合計2,400本を支援して頂きました。

第３弾　RI2600地区（長野県）より

配布日時　2013年６月24日

RI2600地区（長野県）からの支援です。広野町・浪江町・田村市幼稚園及び福島市内幼稚園20か所に合計12,000本を支援して頂きました。

第４弾・第５弾　RI2760地区（愛知県）「福島に思いを寄せる多 くの支援者」より「四国　剣山の水」

配布日時　2013年８月９日

RI2760地区（愛知県）からの支援及び以下に記載しました多くの地区・クラブ・個人様による寄付で「水」を手配させて頂き支援する事ができました。夏休みそしてお盆前という時期でしたので、「水」の搬入と贈呈式がうまく合わず、急ぎ「水」をお渡しし贈呈式は後で行う状況となりました。合計1,000箱 12,000本を支援して頂きました。

今回ご支援頂いた地区・クラブ・個人様
2760地区（愛知）
「福島に思いを寄せる多くの支援者」
松戸西ＲＣ
2710地区（広島・山口）
田沢湖ＲＣ
大館中央ＲＣ
山本ＲＣ
木更津ＲＣ
軽井沢ＲＣ
森　節子
大館北ＲＣ
2660地区（大阪府北部）
秋田東ＲＣ
大館ＲＣ
大館南ＲＣ
蝦名三保子
2680地区（兵庫）

支援先一覧　1,000箱 12,000本

配布先	箱数	担当クラブ
二本松市	200	二本松ＲＣ
浪江町	100	福島中央ＲＣ
広野町	100	富岡ＲＣ
南相馬市原町区 ＮＰＯ法人 ほっと悠	100	小高ＲＣ
福島文化幼稚園他20カ所	200	福島中央ＲＣ
川俣町	100	川俣ＲＣ
富岡町	200	郡山西ＲＣ
計	1,000	

二本松ロータリー・クラブ　冨田恵子会長より二本松市長三保恵一様へ200箱が贈呈されました。

富岡町に飲料水贈る　郡山西ＲＣ

500ミリリットルペットボトル4800本

郡山市の郡山西ロータリークラブ（ＲＣ）は十九日、五〇〇ミリリットルの飲料水ペットボトル四千八百本を富岡町に贈った。

伊東正司会長らが市内の町郡山事務所を訪れ、富本皓一町長に目録を手渡した。

飲料水は熱中症対策として、町内の居住制限区域、避難指示解除準備区域に立ち入る町民に配られる。現地役場連絡所の下郡山集会所で希望者に手渡す。

今回の寄贈は本県の国際ＲＣ第2530地区の「水からプロジェクト」の一環。東京電力福島第一原発事故後、避難自治体などに飲料水を届けている。

富本町長に目録を手渡す伊東会長（前列左から２人目）

8月19日　郡山西ロータリー・クラブの仲介により富岡町へ200箱4,800本が贈られました。

第６弾　RI2840地区（群馬県）より「群馬　谷川の名水」

配布日時　2013年８月９日

RI2840地区群馬県からの支援です。250箱 6,000本を支援して頂き全村避難している葛尾村の三春出張所に寄贈しました。

葛尾村に隣接する市町村は田村市、二本松市、双葉郡浪江町で人口約1,500人の山村です。葛尾村役場は原発事故により全村避難を余儀なくされ仮役場周辺にある応急仮設住宅には800人ほどが避難生活をしています。

葛尾村　松本允秀村長（左から２人目）へ「谷川の名水」を手渡す三春ロータリー・クラブ福原会長

第７弾　RI2500地区（北海道）より「摩周湖の水」

配布日時　2013年９月12日

RI2500地区（北海道東部）からの支援です。834箱 20,016本を支援して頂きました。

「摩周湖の水第２弾」支援先一覧　2500地区（北海道東部）より834箱 20,016本

配布先（配送日時）	箱数	担当クラブ
文化幼稚園他20カ所　９月13日	94	福島中央RC
福島県産婦人科医会県北支部　９月13日	100	福島中央RC
青葉幼稚園　９月17日	100	相双分区
社会福祉法人相双記念会ふきのとう苑　９月17日	200	相双分区
大熊町役場 会津若松出張所 いわき出張所　９月17日	100 100	会津分区 会津若松中央RC
双葉町役場 郡山支所　９月17日	140	中央分区 郡山RC
計	834	

双葉町に飲料水　郡山RCが贈る

原田支所長（右）に目録を手渡す（右から）池田幹事、石黒会長エレクト、鈴木会長

郡山ロータリークラブ（RC）は十二日、東京電力福島第一原発事故で全町避難が続く双葉町に飲料水のペットボトル（五百ミリ入り三千三百六十本）を贈った。

全国各地の銘水を被災者に届ける国際ロータリー第2530地区（本県）財団委員会事業「水からプロジェクト」の一環。国際ロータリー第2500地区（北海道東部）の支援による北海道の「摩周湖の水」が寄贈された。

郡山RCの鈴木禎夫会長、石黒秀司会長エレクト、池田達哉幹事が十二日、郡山市の双葉町郡山支所で原田栄町郡山支所長に目録を手渡した。

駆けつけた文化幼稚園　日下将孝氏、福島県産婦人科医会県北支部　新妻和雄氏へ目録贈呈

相双分区より青葉学園へ寄贈

第８弾　RI2670地区（四国）より「四万十の水」

配布日時　2013年12月26日

RI2670地区（四国）からの支援です。917箱 22,000本を支援して頂きました。

「水からプロジェクト」　第８弾　支援先一覧　917箱 22,000本

配布先	箱数	担当クラブ
文化幼稚園他20カ所	237	福島中央RC
福島県産婦人科医会　県北支部	200	福島中央RC
福島県社会福祉協議会	200	福島中央RC
相馬市防災備蓄倉庫	280	相馬RC 会長　武島昭良
計	917	

福島県産婦人科医会　県北支部内訳

配布先	搬入箱数	担当クラブ
いちかわクリニック	30	福島中央RC
ささや産婦人科	30	福島中央RC
明治病院	40	福島中央RC
本田クリニック産科婦人科	30	福島中央RC
新妻産婦人科 （上記以外の病医院の配達分含む）	70	福島中央RC
計	200	

「四万十の水」4800本　県社福協へ寄贈

四国地方を管轄する国際ロータリー第2670地区は26日、県社会福祉協議会に高知県を流れる四万十川にちなんだ500㎖ペットのミネラルウオーター「四万十の水」4800本を寄贈した。

古川常勤副会長㊧に目録を手渡した坂本会長（右から２人目）

県内外のロータリークラブ（RC）が被災地復興に向けて取り組んでいる「水からプロジェクト」の一環。高知県など四国地方のRCから申し入れがあり、寄贈が実現した。

水を届けたのは、本県を管轄する第2530地区と福島中央RCのメンバー。贈呈式は福島市の同社協で行われ、坂本和司同RC会長が古川雅之同社協常勤副会長に目録を手渡した。

第2530地区の平井義郎ロータリー財団委員長、福島中央RCの桐原正雄復興支援プロジェクト委員長、宍戸宏行職業奉仕委員長が同行した。

同社協によると県内の児童養護施設など8カ所に配分した。

2013－14年度　復興支援金支払表

平成26年７月15日　現在　　(単位：円)

No	区	申請No	申請RC/委員会	プロジェクト名	主な内容	プロジェクト合計金額	補助金	送金料	支出額
1	被災	支援	小高RC	被災RC復興支援金	被災地RCへの復興支援　7/1 10名	500,000	500,000	840	500,840
2	被災	支援	浪江RC	被災RC復興支援金	被災地RCへの復興支援　7/1 41名	2,050,000	2,050,000	525	2,050,525
3	被災	支援	富岡RC	被災RC復興支援金	被災地RCへの復興支援　7/1 35名	1,750,000	1,750,000	525	1,750,525
9	被災	支援	川俣RC	被災RC復興支援金　追加	被災地RCへの復興支援	200,000	200,000	525	200,525
			小　計		4,502,415				
4	緊急	1	原町中央RC	元気リターン車椅子	震災仮設住宅の入院高齢者の	760,000	648,000	840	648,840
5	緊急	2	福島中央RC	避難先との連絡車両の寄贈	浪江町役場と県外の避難先を結ぶ	2,270,525	1,520,525	525	1,521,050
6	緊急	3	原町RC	コーラスグループ洲本市との交流	南相馬市と洲本市の合唱団の交流、	685,100	585,335	840	586,175
7	緊急	4	いわき勿来RC	植田児童館への復旧支援	震災により全壊した施設へ図書	988,616	840,000	840	840,840
8	緊急	5	社会奉仕委員会	会津の里にこらんしょ	風評被害克服のため、県内外のRCに	4,000,000	2,800,000	0	2,800,000
			小　計		8,374,905				
28	2	1	福島しんたつRC	飯舘村子供の遊び場確保　支援	幼稚園児に簡易プールを寄贈	209,160	177,788	864	178,650
10	2	2	二本松RC	福ももプロジェクトコンサート開催	出演料　音響　横断幕　会場費	285,000	200,000	840	200,840
26	2	3	郡山アーバンRC	飯舘中駅伝部にユニフォーム寄贈	震災で休部していた部の復活を支援	286,000	243,100	864	243,964
16	2	4	白河西RC	ジュニアサッカー親善試合	白河/深谷交流親善試合への支援	426,421	362,457	840	363,297
13	2	5	県中分区小野RC	県中高校バドミントン大会支援	避難生徒にスポーツの機会を与え	255,765	170,000	525	170,525
14	2	6	内郷RC	絵本　むかし探検隊	仮設住宅の子供たちにオリジナル	855,750	720,000	525	720,525
20	2	7	本宮RC	ロータリー杯サッカー大会実施	記念メダル トロフィー テントを寄贈	200,000	170,000	540	170,540
11	2	8	須賀川南RC	全壊した小学校と児童の支援	校旗　オルガン　国語辞書　提供	2,999,200	1,499,200	840	1,500,040
15	2	9	福島中央RC県北第一	あれこれなんでも相談室	会員の知識と職業を生かして	660,000	280,000	525	280,525
12	2	10	常葉RC	常葉中学生を元気にする	スポーツ用具を提供	776,685	656,685	840	657,525
			小　計		4,486,431				
19	3	1	原町中央RC	Heart Line 展島　支援事業	救急ボランテイァ団体にスタッフ	262,500	223,125	864	223,989
23	3	3	飯坂RC	銅座跡寄屋橋公園に花桃木植樹	都心に観光広報活動の一環として	181,200	141,200	864	142,064
27	3	4	会津若松西RC	大熊町に福祉車両を贈呈	要支援者に医療施設に送迎車寄贈	1,200,000	840,000	864	840,864
22	3	5	三春RC	全国高等学校選抜柔道大会	津波被害の女川町より委託され	100,000	85,000	0	85,000
21	3	6	三春RC	ロータリー杯少年剣道大会実施	運営助成金　剣道防具を提供	200,000	170,000	864	170,864
	3	7	いわき勿来RC	被災した磐農高に桜の植樹	所設校舎の周辺に桜を植樹	987,000	840,000	864	840,864
	3	8	内郷RC	絵本　むかし探検隊　増刷	うちごうむかし探検隊　追加増刷	525,000	446,000	540	446,540
	3	9	南相馬RC	飯舘中仮設グランドに照明設備	飯舘中仮設校舎グランドに照明設備	2,440,800	1,000,000	864	1,000,864
	3	10	いわき展島RC	被災児支援設備に備品を贈る	被災児復興支援設備に備品を贈る	980,800	840,000	864	840,864
17	3	11	いわき小名浜RC	永崎小学校に図書館へ寄贈	津波被害に遭った図書館に備品を	999,000	845,000	864	845,864
18	3	12	湯根RC	日本古来の豊かな心に触れよう	PTA連合会を通して教育図書を	823,920	700,000	540	700,540
25	3	13	いわき常磐RC	津波被災中学校に電子黒板を寄贈	校舎が崩壊した豊間中への支援	928,800	780,000	864	780,864
	3	14	郡山西RC	「サダコの折鶴」絵本出版事業	絵本を増版し県内の園児に配布する	1,575,000	500,000	864	500,864
	3	15	いわき分区(10RC)	津波被災地に桜苗木の寄贈	いわき市沿岸に桜苗木3000本を提供	700,000	350,000	540	350,540
	3	16	新世代委員会IAC	「福島の今」を伝える新聞	新聞発行、全国の加盟校に配布	140,000	140,000	864	140,864
24	3	17	福島中央RC	復興支援コンサート	「福モモ・プロジェクト2014」の実施	500,000	325,000	540	325,540
			小　計		8,236,989				
					合　計	32,682,242	23,576,413	24,327	23,600,740

ロータリー東日本大震災復興基金日本委員会　2530地区承認報告

（単位：円）

No	申請RC/分区	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト金額	補助金申請額	クラブ持出額
1	相双分区	図書館周辺ベンチ寄贈事業	仮設住宅で生活をされている方々や子供たちが集う道の駅「南相馬」「相馬」にモニュメント２基と馬型ベンチ６基を設置し、気軽に座ったり、井戸端会議をしたりするスペースを提供する。モニュメントには、解散した相馬東・小高ＲＣと解散日も相双８クラブと連名で記載される。プロジェクト進行中で、９月下旬完成予定。	4,320,000	3,672,000	648,000
2	川俣ＲＣ	避難者の方々の安全衛生面の向上と絆の強化事業	川俣町山木屋地区の避難者の仮設住宅４か所にごみ収集所を設置し、避難者の衛生状態の改善によるインフルエンザ等伝染病の防止と周囲に及ぼす環境面の改善を図った。８月６日に寄贈式を行った。	784,520	ゴミステーションのみ 648,000	136,520
3	いわき常磐ＲＣ	津波被災中学校に夢と希望を与えよう	豊間中学校は震災の時に大津波に襲われて校舎は破壊され、校舎は使えない状態が続いて、現在は豊間小学校に間借りしています。全校生徒は家々も破壊された為、豊間地域に住むことが出来ず家族と共に他の地域に避難を余儀なくされています。魅力ある豊間中学校にする為にも最新鋭の設備を導入し、この子供達に未来への活力と希望を与えるためにもいわき市の教育委員会でも推奨している電子黒板を寄贈して学問に励んでもらいたい。５月12日寄贈式を行った。	928,800	780,000	148,800
4	石川ＲＣ	かまどベンチの設置プロジェクト	自然災害は少ないと言われる石川地方ですが東日本大震災をきっかけにかまどにもなるベンチを設置し防災へ目を向ける啓発になればと思います。プロジェクト進行中で９月12日設置予定。	2,232,000	1,632,000	700,000
	計			8,265,320	6,632,000	1,633,320

地区復興補助金承認報告

作成日：2014年６月18日　（単位：円）

	会議回	申請No	クラブ名・委員会名	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト合計金額	地区承認額		クラブ持出額			
1	第1回	1	原町中央RC	元気リターン車椅子事業「もう一度自分の足で・・・」 2013/10/2	震災後の仮設住宅入居期間の長期化に伴い体調不良の高齢者の入院が増加し、リハビリ用機具が不足の為、微力ながら復興記念事業としてリハビリ用車椅子を寄贈する。	760,000 ~~1,140,000~~	646,000 ~~960,000~~	85% 84%	114,000 ~~180,000~~	15% ~~16%~~	承認	
2		2	福島中央RC	浪江町役場と県外の避難先を結ぶ車両の寄贈 2013/9/1～2013/9/30	浪江町民の避難先と浪江町役場との移動手段である車両が不足している現状への対応として車両１台を寄贈し、浪江町民の復興を支援したい。	2,467,825	1,727,478	70%	740,347	30%	承認	
3		3	原町RC	ＭＪＣ（南相馬ジュニアコーラスアンサンブル）のコンクール出場と兵庫県洲本（すもと）市の合唱団との交流「響け　若人の歌声　被災地から被災地へ」支援 2013/8/3～2013/8/7	今回の震災で被災を受けた南相馬の子供たちと、阪神淡路大震災に続き今年も同じ大地震の被害を受け被災した子ども達と音楽を通じて交流を行う。ここのプロジェクトは、他地区との合同プロジェクトであり当クラブが負担する分は、福島～仙台、新横浜～新神戸までのＭＪＣメンバー30名の片道の交通費を支援したい。	665,100	565,335	85%	99,765	15%	承認	協力クラブ： 第2530地区　原町RC、会津若松南RC 第2680地区　洲本RC、南淡路RC、淡路三原RC、津名RC、淡路北RC、あわじ中央RC 第2680地区ロータリー財団
4		4	いわき勿来RC	大震災により全壊した富田児童館の図書、遊具、備品類の復旧支援 2013/8/1～2013/10/31	東日本大震災によって全壊し、現在は仮の施設で運営されている富田児童館の図書、遊具、備品類の必要且つ早急に必要なものを提供して、利用している児童、幼児、その保護者たち、地域住民の為に役立ちたい。このプロジェクトは今年度の地区テーマ「未来の子供たちの輝く笑顔のために」に即したものである。	988,616	840,000	85%	148,616	15%	承認	協力クラブ： 第2580地区 東京江戸川RC
5		5	社会奉仕委員会	「会津の里にこらんしょ」プロジェクト 2013/9/14～2013/10/14	風評被害を克服し、元気を取り戻す。併せて県内外のロータリークラブ・ロータリアン同士の交流と親睦を図るべく、県外友好クラブへチラシ・パンフ・ポスターを送付し働きかけ、会津の里に来訪を促す。会津分区10クラブ会員及び協力店から特別サービス等特典を出してもらう。ロータリー友情スポットを地図上に示す。	4,000,000	2,800,000 ~~3,000,000~~	70% 75%	1,200,000 ~~1,000,000~~	30% ~~25%~~	承認	持出金： 会津分区　10RC 100,000円 社会奉仕委員会 900,000円
6	第2回	1	福島しんたつRC	飯舘村 子ども遊び場確保支援事業 2013/9/1～2014/6/30	放射線問題で幼稚園の子どもたちは屋内での体力低下防止に役立てるべく簡易プールを寄贈するものである。寄贈先は飯舘村（臨時）草野[illegible]幼稚園	209,160	177,786	85%	31,374	15%	承認	
7		2	二本松RC	桃モモプロジェクト・子ども達へのコンサート 2013/9/13	「音楽と歌で楽しいひとときを」コンサート開催。招待者は主に、知的障害者。通所支所を利用している浪江町からの避難者と二本松市内の「福の里」利用者の方。 ※9/13事業実施済。報告書提出済み。	286,000	200,000	70%	86,000	30%	承認	※[illegible]なし、報告書のみ
8		3	郡山アーバンRC	郡山中学校駅伝部にユニフォームの支援 2013/9/1～2013/9/30	震災以降活動を中止していた駅伝部が2年ぶりに結成され、中体連相双支部駅伝大会に出場するにあたり、ユニフォームを新調したいが、避難している保護者から徴収することが困難なため、ユニフォームの支援要請があり寄贈する。	286,000	243,100	85%	42,900	15%	承認	協力クラブ： 東京六本木RC 21,450円 自クラブの持出金も同額の21,450円
9		4	白河西RC	2013白河・深谷ジュニアサッカー交流親善試合 2013/11/3	放射線量を気にしないグランドで日頃のサッカー練習の成果を思う存分に発揮してもらうべく、交流試合を開催したい。 （サッカー用具と交流試合の移動費などを申請）	456,400	387,940	85%	68,460	15%	承認	
10		5	県中分区（全6クラブ）	県中分区内高等学校バトミントン大会（県中分区杯） 2013/12/23	県中分区内にある小野高校、船引高校、田村高校、本宮高校4校の生徒を対象にバトミントンを通じて体力増加をはかり、地域内の生徒の連帯意識を高めるよう青少年育成につとめたい。避難している高校生に用具を与え、運動の機会を与えたい。	200,000	170,000	85%	30,000	15%	承認	持出金は県中分区の全６RC
11		6	いわき内郷RC	「うちごう民話探検団」絵本プロジェクト 2013/12/1～2013/12/25	目に見えない心の痛み、精神的な部分をケアするために、地元民話を描き子供たちに和んでいただき、避難者の皆様には、いわき内郷地区の民話を知っていただく。更にはいわき内郷RCを知って頂き、会員増強に役立てたい。寄贈先は内郷地区の仮設住宅、雇用促進住宅、公民館、図書館、銀行、内郷地区小学校他、全1000部作成。クリスマスプレゼントとしたい。	855,750	720,000	85%	135,750	15%	承認	
12		7	本宮RC	本宮ロータリー杯サッカー大会 2014/2～2014/3	本宮市近隣の市町村も青少年（避難児童も含む）の体位向上とサッカースポーツ少年団の育成に努める。参加した子供たちに記念のメダルやトロフィーを贈り、屋外でのテントを寄贈したい。	200,000	170,000	85%	30,000	15%	承認	協力団体： 本宮サッカースポーツ少年団保護者会
13		8	須賀川南RC	東日本大震災で全壊した鍋石第一小学校と児童を支援する事業 2013/11/30	大震災の被害が甚大で現在も仮設校舎で授業を行っている鍋石第一小学校へ、宝塚中RCと共同し児童の心理的ストレスを幾分なりとも安じられるよう、文房品を寄贈したい。	2,999,200	1,499,200	50%	1,500,000	50%	承認	持出金の協力RC： 宝塚中RC 1,000,000円 自クラブの持出金 500,000円
14		9	県北第一分区（ホストクラブ福島中央RC）	あれこれなんでも相談会 2014/2/1	県北第一分区7クラブの会員のそれぞれの職種と専門的な知識を活かし、福島市近郊に避難されている方々や弱者（老人、ご婦人）、一般市民からの様々な困りごとや悩み事の相談に応え、これらの活動を通しロータリーへの理解を深めてもらうと同時にロータリー公共イメージの高揚及び「ロータリーの目的」を実践します。	660,000	280,000 ~~560,000~~	42%	380,000 ~~400,000~~	58%	承認	協力団体： 公共団体、 被災地役場、 県北第一分区
15		10	常葉RC	常葉中学生を元気にするプロジェクト 2013/10/25～2013/11/30	競技を行うための設備・備品が古く、クラブ活動に支障をきたしている常葉中学校に、各クラブ活動で最も必要な備品を各クラブに贈呈し、活発な活動をしていただき、元気になって頂きたい。	776,685	656,685	85%	120,000	15%	承認	
16	第3回	1	原町中央RC	救急ボランティア「Heart Line 相馬」支援事業 2013/12/5	地域住民に対し応急手当の普及啓発を推進し、消防機関の行う普通救命講習会等の指導協力を無償で行い、仮設住宅に居住し緊急性を持った病人に対し速やかに応急処置ができる人材を育成する、ボランティア団体「Heart Line 相馬」に対し微力ながらＲＣとして支援できることの一環としてスタッフジャンパーを寄贈したい。 ※ポロシャツ・ジャンパー　各60着　版代等含む	262,500	223,125	85%	39,375	15%	承認	
17		3	飯坂RC	銀座・数寄屋橋公園花桃記念植樹事業 2014/2/14	東日本大震災および東京電力福島原子力発電所の事故により飯坂温泉を訪れる観光客は激減した。福島市は「観光とくだもの」の都、観光客を呼び戻すための広報活動の一環として、東京都心の公園に「ハナモモ」を植樹し、飯坂温泉をアピールする。（維持管理は東京銀座新ロータリークラブを通じ中央区とする）※苗木代、送料、贈呈式参加費と旅費 ※贈呈式2/14	181,200	141,200	78%	40,000	22%	承認	協力クラブ： 東京銀座新ロータリークラブ（持出金の協力はなし）
18		4	会津若松西RC	大熊町に福祉車両を贈呈 2014/4/1～2014/4/30	大熊町の住民が会津若松市に避難を余儀なくされ3年目の冬を迎えます。不自由な避難生活と住民の高齢化に伴い要介護者、要支援者の増加が問題化されています。それに伴い医療機関や福祉施設への送迎用の福祉車両が不足しており、車両の寄贈要望を大熊町行政側より受けた。贈呈後の車両の維持管理は大熊町。	1,200,000	840,000	70%	360,000	30%	承認	協力クラブ： 鹿児島中央RC 200,000円 鶴岡西RC50,000円 （自クラブの持出金110,000円）
19		5	三春RC	復興支援 全国高等学校選抜剣道錬成三春大会 2014/2/7～2014/2/9	従来大会を開催してきた宮城県女川町が大震災により大会が開催できなくなり、三春町に委託された。過去二回の大会は女川町からの支援があったが復興優先となり支援が終わってしまった。大会の開催費は各学校の負担、三春町の補助金や寄付金等で賄われるが、津波により流出してしまった優勝旗の代わりに優勝カップを進呈し、三春まちづくりの一翼を担う武道・スポーツ振興を推進したい。 ※大会の開催は2/7～2/9	100,000	85,000	85%	15,000	15%	承認	

（単位：円）

	会議回	申請No	クラブ名・委員会名	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト合計金額	地区承認額	クラブ拠出額			
20	第3回	6	三春RC	三春ロータリークラブ杯少年剣道大会 2014/3/2	三春町の中学校の統廃合に伴い、中学校に進学する前に小学校の各剣道部の交流と親睦を図ると共に、原発事故の影響で三春町に避難してる葛尾村の剣道部の子どもたちとも交流と親睦を図り健全な青少年の育成に寄与したい。大会の運営助成金の還元と少年用剣道防具一式（4組）を贈呈したい。 ※大会の開催は3/2	200,000	170,000 85%	30,000	15%	承認	協力団体は地元スポーツ少年団3団体と、葛尾村剣友会
21	第3回	7	いわき勿来RC	被災した磐城農業高校の校庭に桜の植樹 2014/2/1～2015/3/31	米国バンクーバーRCから京都城陽RCを介し、桜の植樹によって震災後の地域の復興支援に役立ててほしいと寄付をいただいた。磐城農業高校は震災により山全体の地滑りによって校舎が全壊、現在は26年度の完成を目指して再建途中。さくらの名所となるよう染井吉野の桜の苗木を贈呈し、同校の園芸科の生徒に大切に育てていただき校舎完成時に植樹をしたい。	987,000	840,000 85%	148,000	15%	承認	拠出金の協力RC：バンクーバーRC 協力RC：京都城陽ロータリークラブ 磐城農業高等学校、磐城農業高校インターアクトクラブ
22	第3回	8	いわき内郷RC	増刷「うちごうむかし探検隊」絵本プロジェクト 2014/4/1～2014/6/30	前回の地区復興補助金の承認を受け絵本100冊を製本し、内郷地区の小中高校、楢葉町白水仮設住宅などへ寄贈した。メディア等の宣伝効果のおかげで一般市民の皆様から絵本が欲しいとの問い合わせを多くいただいている。更に中学校からは郷土授業の教材にしたいとの要望があった。特に内郷第一中学校長からは平成26年度福島県教育研究発表会の研究発表に活用し、出席する生徒や教員に絵本を配布したいとの要望を受けた。増刷500冊の印刷代を申請したい。	525,000	446,000 85%	79,000	15%	承認	
23	第3回	9	南相馬RC	飯舘村中学校仮設校舎グランド照明設備設置 2014/4/15～2014/6/25	飯野町に避難し仮設校舎で学校生活を送っている飯舘中学校の生徒たちに、体力低下の防止のため、部活のできる環境となるようグランド照明設備を寄贈したい。設置後の維持管理は飯舘村教育委員会とする。 ※相見積書あり	2,440,800	1,000,000 ~~1,700,000~~ 41%	1,440,800 ~~740,800~~	59%	承認	拠出金の協力RC：東京杉並RC（姉妹クラブ）
24	第3回	10	いわき鹿島RC	被災児復興支援施設に備品を贈るプロジェクト 2014/4/10～2014/4/20	平成26年4月に開所予定の被災児復興支援施設。子どもの屋内遊び場と心のケア施設を兼ねているが、事務所内のデスクやパソコン、相談室の机やイス、書架、キャビネットなどを購入する予算が不足していることから、必要最低限の備品を購入して支援したい。 ※維持管理はNPO法人ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会	980,800	840,000 86%	140,800	14%	承認	協力団体：2780地区第8グループ
25	第3回	11	いわき小名浜RC	東日本大震災復興支援 2014/3/20～2014/5/30	津波の災害にあった、いわき市立永崎小学校。海洋関係に従事する家庭が多く、海洋学習が同校の特徴であったが津波・原発事故の影響で現在は中止され、そのため図書室での調べ学習が行われている。図書室の利用頻度も以前より多く、受付カウンター、イス等を新規に購入し、より充実した図書室を創っていけるよう支援したい。 ※維持管理はいわき市立永崎小学校	995,000	845,000 85%	150,000	15%	承認	
26	第3回	12	[illegible]RC	「日本古来の豊かな心に触れよう」プロジェクト 2014/4/2～2015/4/1	[illegible]RC管内の全児童生徒の幼児期、初等教育期よりの人格形成における家庭教育支援として、[illegible]町PTA連合会を通じて図書を全児童生徒の家庭に寄贈したい。『（親子で読もう）実語教』338冊、『童子教』126冊、参考図書として『（子どもと声に出して読みたい）実語教』を各小中学校に15冊寄贈したい。その後テストもPTA連合会と共催にてクラブで実施したい。	823,920	700,000 85%	123,920	15%	承認	※協力団体は[illegible]町PTA連合会をはじめとする[illegible]管内教育団体ならびに地域団体
27	第3回	13	いわき常磐RC	津波被災中学校に夢と希望を与えよう 2014/4/10	豊間中学校は大津波に襲われ校舎が損壊し現在は藤間小学校に間借りしている。全校生徒は家々も津波で損壊し、他の地区に避難を余儀なくされており、生徒は減少。仮設住宅からバス等の交通機関を乗り継いで通学している状態。魅力ある授業環境にする為にも、いわき市教育委員会でも推奨している最新鋭の電子黒板を寄贈し、学習に励んでもらいたい。	928,800	780,000 84%	148,800	16%	承認	
28	第3回	14	郡山西RC	サダコの折鶴絵本出版事業 2014/1/1～2014/6/30	福島県の子ども達は他の県の子ども達よりも精神的不安定さが顕著だという調査結果が出ている。このような状態を踏まえ、日米をつなぐ命の絵本「サダコの折鶴」を増刷し、福島県内の5才園児約1万人に配布し、子ども達をなぐさめ勇気づけ、何よりも命の大切さを伝える機会としたい。	1,575,000	500,000 32%	1,075,000	68%	承認	協力クラブ：イングルウッドRC（米国）721,000円（レート103円）別途企画共済154,000円
29	第3回	15	いわき分区（10RC）	桜苗木の購入資金の寄贈 2014/3/30	いわき市、沼の内・薄磯・豊間の以上3地区に「津波被災地を桜いっぱいに」と沿岸部全長4キロに桜など3,000本を植樹する計画を立て、実行委員会を立ち上げた。今回の申請内容は、その桜の苗木購入資金に対して寄付をすることにより町の復興に対して寄与しようとするものである。植樹地にはいわき分区10クラブのプレートを設置する。	700,000	350,000 50%	350,000	50%	承認	
30	第3回	16	新世代奉仕委員会	「福島の今」を伝える新聞 2014/3	中高生の視点で「福島の今のこと」と「これまでの支援に対するありがとうの気持ち」を新聞という形で全国のIAC加盟校に伝え、福島に目を向けてもらえるようにしたい。新聞の作成は各インターアクト加盟校にて行い、配布は各県のIAC連絡協議会で管理。新聞5,000部の制作費と発送費を申請したい。	140,000	140,000 100%	0	0%	承認	※2012/4/19に2630地区大垣RC、大垣西RC、大垣中RC＆IACからの義援金（¥194,964）の使途指定による
31	第3回	17	福島中央RC 追加申請分	復興支援コンサート「福モモ・プロジェクト2014」 2014/4/18	東日本大震災から3年が経過する中で、今なお原発事故による大きなダメージを受けた福島市民のための癒しのコンサートを実施し、心の支援に繋げたい。コンサート当日は会員が役割分担して運営全般を行う。今回のコンサートは（4/18福島ビューホテル）での復興支援コンサートで締結予定。	500,000	325,000 ~~425,000~~ 65%	175,000 ~~75,000~~	35%	承認	
						¥28,349,756	¥19,308,849	¥9,041,907			

次年度申し送り分　※2014年3月4日の第3回復興支援本部会議をもって本年度分の予算が終了しました。尚、一部が次年度分として申し送りとなりました。

	会議回	申請No	クラブ名・委員会名	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト合計金額	地区承認額	クラブ拠出額			
32	第3回	2	川俣RC	川俣町スポーツ少年団冬期交流会 2014/3	停滞期となってしまう冬期を有効に生かし全スポーツ少年団の子どもたちが所属チームの枠を超えて、スポーツ少年団同士の友好と親睦を図るためミニ運動会を開催し、スポーツ少年団の育成に寄与したい。運動会を開催するための音響機器および運動道具等を寄贈したい。（維持管理は川俣町スポーツ少年団） ※それぞれに相見積書あり	751,369	630,000 84%	121,369	16%	承認（支出は次年度）	
33	第3回	18	福島しんたつRC 追加申請分	福島県立盲学校への支援 琴贈呈プロジェクト 2014/5/1～2014/6/30	震災後も懸命に勉学にいそしんでいる盲学校の生徒は、琴演奏など音楽にもいそしんでおり、これまでもハンドベルやアルトレコーダーなどの演奏会も行っている。今後、同じく全盲であった宮城道雄にちなみ琴（数量2）を贈り、演奏にもはげんでいただき、教育活動の支援をしたい。 ※維持管理は福島県立盲学校	293,630	249,585 85%	44,045	15%	承認（支出は次年度）	
34	第3回	19	福島北RC 追加申請分	選手がんばれ！！福島がんばる太鼓フェスタ 2014/6/6～2014/6/8	本年6月6～8日に福島市で開催される全日本陸上競技選手権大会へ日本全国から観客者、世界各地からのマスコミ、競技観戦者が多数来福する。（例年3日間で5万人程度）私共はその大会を盛り上げる一翼を担う。 ※事業費が減額で済んだため、申請金額も減額（2014/6/17報告）	~~1,320,000~~ 978,600	~~924,000~~ ~~70%~~ 830,110 85%	~~396,000~~ 148,490	~~30%~~ 15%	承認（支出は次年度）	
35		20	社会奉仕委員会	「福島にこらんしょ！」プロジェクト	福島県の復興と風評被害払拭を目的に、ふくしまに来訪していただく事業、RI第2530地区内全クラブで行う。	980,000	882,000	98,000		承認（支出は次年度）	
36			梁川RC 2014/3/31受理	復興ミニコンサート	伊達市立梁川小学校多目的ホール（仮称）にグランドピアノを寄贈する。	1,500,000	1,000,000 67%	500,000	33%	次年度	
37			福島東RC 2014/4/2受理	福島東ロータリークラブ奨学金 2014/7/1～2015/6/30	就学状況の厳しい高校生へ奨学金を贈呈し、学業・部活動に励んでもらい充実した高校生活を送ってもらう	720,000	360,000 50%	360,000	50%	次年度	
						¥5,221,599	¥3,951,695	¥1,269,904			

復　興　支　援　に　感　謝

国際ロータリー第2530地区　2014－15年度ガバナー
復興支援本部長　野﨑　　潔

４年前の東日本大震災の傷跡は未だ癒えず風評被害、原子力被害に悩まされ、各企業とも厳しい環境の中で一日も早く復旧復興へと懸命なる努力を続けて居ります。その中で今日まで物心両面にわたり震災当初から県内外世界各地より多大なご支援を頂きまして心より感謝申し上げます。

本年度２月の統計によりますと福島県から県外への避難状況は、関東 25,277 人、東北 8,221 人、中部 7,497 人と多く、全国合計ではなんと 47,219 人もの方々が県外へ避難されております。その中に幼児等年少者が 2,000 人以上県外へ流出しているのが実態です。将来を担う若者が一日も早く安心して福島に戻れる日が一日でも早く実現することを切に望むところであります。

今年４月に行われた地区大会にＲＩ会長代理として来福されたフリオ・ソルフス氏が津波の被災地を視察したいと申され、私達は南相馬地方の現地にまいりました。４年経過した今も津波で押し流された田畑は無残にも海水を被り、４年前の状態に戻すにはまだかなりの時間が掛りそうです。

異常気象のせいでしょうか今でも全国各地で集中豪雨による被害が多発しております。今迄乱開発して来た結果による人的被害と言えるのかも知れません。世界中で今迄経験したことの無い自然災害が多発しております。私達は今後自然と、どの様に共生していくべきなのか真剣に考え実行して行かなければならないのではないでしょうか。

今後は第 2530 地区としても今日まで寄せられた多くの支援に対して恩返しの意味を含めて、新たにロータリーの「超越の奉仕」の下に福島の復興と未来の為に更なる奉仕活動を続けて行かなければならないと考えます。それでは 2014 － 15 年度の支援内容についてご報告させていただきます。

Rotary International District 2530
2014-15 Governor Kiyoshi Nozaki
■Governor Office■
1-26 Simokawahara Houkida fukushima-City
Fukushima Japan 〒960-8163
Phone ±81-24-573-9631 Fax+81-24-573-9632
Email: d2530@hb.tp1.jp

Rotary

国際ロータリー 第2530地区
2014-15年度 ガバナー 野崎 潔
■ガバナー事務所■
〒960-8163 福島県福島市方木田下川原1-26
Tel.024-573-9631 Fax.024-573-9632
Email:d2530@hb.tp1.jp

2014年７月１日

国際ロータリー第2530地区
クラブ会長・幹事　各位

地区復興支援本部
本部長　ガバナー　野﨑　潔

＜2014－15年度地区復興補助金運用規定基準＞

＜支援対象＞

支援対象条件は以下の内容が当てはまるものとする。

1．人道的支援である事業。
2．文化的事業も対象とするが、人道的支援の意義を持ち（児童に対する支援等）、且つロータリーが主体的に活動する事業。
3．緊急性がありロータリーとして取り組むべきプロジェクトで、行政の手が届きづらい事業。
4．提供物資が、幅広く継続的な効果が見込める事業。
5．ロータリアンの直接の支援活動である事業。

＜報告＞

下記の要領により報告の提出を必ずして下さい。

1．地区復興支援本部に事業完了報告書を完了後２ヶ月以内に提出の事、復興委員会は年度末に全事業の取りまとめを行います。
　2015年５月までに事業完了する計画として下さい。
2．「ロータリーの友」に活動報告を必ず投稿する。
　＊６ヶ月以内に事業完了しない場合は中間報告書を提出する事。

＜対象外支援事業＞

下記のような案件は対象外とする。

1．現金支援は対象としない。
2．他の補助金事業との組み合わせ申請は対象としない。

＜地区復興補助金申請について＞

補助金の額に上限を設け、その基準は次の通りとする。

事業規模が100万円を超える場合
　補助金額は事業総額の70％以内とし、１件の事業に対し、最大210万円を限度額とする。
　申請クラブは事業総額の30％以上をクラブ負担金として用意する。
事業総額が100万円未満の場合
　補助金額は90％以内としクラブ負担金は10％以上を用意する。

＜申請される際の注意事項＞

1．クラブからの申請はガバナー事務所へ直接送付して下さい。

2．合同プロジェクト申請も（複数クラブ、友好クラブ）対象とします。

＊承認前の事前着手の案件は認められないので注意して下さい。

＊緊急且つ突発的な事案はガバナーの専決事項とする。

＊支援に対する事務局費用はガバナーの専決事項とする。

＜申請・選出＞

各クラブは所定の申請書に記入の上地区復興支援本部事務局に提出して下さい。

申請書は、別途お送りします地区復興補助金申請書を使用してください。

（申請書をデータ送信希望される場合は、ガバナー事務所まで御連絡下さい。後日、地区のHPにもUPいたします。）

申請案件は審査会議の２週間前までに事務局に到着した分を審査します。

会議は、原則年４回とし2014年７月・10月・2015年１月・３月の予定です。

詳細な日程は後日発行される地区予定表をご覧下さい。

※申請書と併せて見積書を必ず添付してください。

支援事業は、各要件を満たすもので内容を明確に記入して下さい。

※本年度予定分の復興資金が無くなった時点で今年度の審査は終了するものと致します。

※復興支援本部組織については下記組織図をご覧下さい。

＜問い合わせ・申請書郵送先＞

復興支援本部事務局（国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所内）

〒960-8163　福島県福島市方木田下川原1-26

TEL　024-573-9631　FAX　024-573-9632

E-mail：d2530@hb.tpl.jp

2014-15年度ＲＩ第2530地区　復興支援本部組織

本部長	ガバナー	野崎　潔（福島北）
副本部長	直前ガバナー	渡邉公平（いわき勿来）
副本部長	地区研修委員長・パストガバナー	中澤　剛（会津若松南）
副本部長	副ガバナー	伊藤　浩（郡山西北）
副本部長	ガバナーエレクト	酒井善盛（南相馬）
副本部長	ガバナーノミニー	佐久間英一（三春）
地区クラブ奉仕委員長		渡辺健寿（福島）
地区職業奉仕委員長		森　惣兵衛（会津若松西）
地区社会奉仕委員長		渡部英一（猪苗代）
地区国際奉仕委員長		武田安永（郡山南）
地区青少年奉仕委員長		佐藤利男（船引）
地区ロータリー財団委員長		平井義郎（福島中央）
地区戦略計画委員長		笠原宏男（本宮）
会計・経理		佐藤吉弘（福島北）
事務局		川瀬成人（福島北）

3.11東日本大震災 The Great East Japan Earthquake Support Activity Report
2014-15年度 災害支援活動記録

本年度、復興支援会議にて申請承認されたプロジェクト、
他地区より頂いた支援事業をご報告致します

玉入れなどで交流

川俣のスポ少9団体のソフトバレーも

第十八回川俣町スポーツ少年団冬季交流会やソフトバレーボール

玉入れを楽しむスポ少の児童

2015年２月17日（火）
福島民報

川俣RC

川俣町スポーツ少年団冬期交流会

友好と親睦を図るべく川俣町スポーツ少年団（少年団員129名、指導者・保護者等157名参加）のミニ運動会を開催。大会の運営協力ならびに移動用音響機器一式と運動遊具等を寄贈した。ロータリー活動への理解、そして共有の地域性と親睦を深めた。

福島しんたつRC

福島県立盲学校への支援 琴贈呈プロジェクト

視覚に障害を持つ生徒達がより意欲的に音楽に取り組んでもらえるよう、文化祭や他校との音楽交流会等でも発表の場を広げられるよう福島県立盲学校への教育的支援として、琴を寄贈した。

福島北RC

選手がんばれ!!
福島がんばる太鼓フェスタ

６月６～８日に福島市で開催された全日本陸上競技選手権大会に於いて、全国そして世界各地からの来場者に対し、福島を訪れてくれたことへの感謝と、福島の元気をPRすべく太鼓フェスティバルを開催した。

社会奉仕委員会

「福島にこらんしょ！」プロジェクト

復興と風評被害払拭を目的に全国全世界のロータリアンに福島に来訪していただくPR事業を実施。HPの他、全国のガバナー事務所を通じ、全国のロータリークラブへもPRチラシを送付。県内のロータリアンの経営するお店「友愛スポット」にご協力をいただき、様々なサービスで来福されたロータリアンをおもてなしした。

梁川RC

水ひかる里ピアノコンサート

豊かな音を楽しみながら絆を深めよう

震災により被害を受け、伊達市立梁川小学校に建設された地域住民の為の多目的ホールへグランドピアノを寄贈した。また、以前の元気を取り戻し、復興のシンボルとしての音楽をより身近なものになるよう 、地域住民を招待しミニ コンサートを開催した。

贈呈したグランドピアノ

ピアノ贈呈式の様子（会長挨拶）

原町中央RC

南相馬応急手当普及員会（FASS南相馬）支援事業

消防職員と共に市民への救急講習の指導、救護活動等を無償で行っている「FASS南相馬」に対し、復興活動団体への支援事業。仮設住宅で避難生活を余儀なくされている老齢者や市民のAED使用率向上に役立つよう訓練用AED３台とスタッフ用ユニフォームを寄贈した。

福島西RC

福島西ロータリークラブ主催「少年野球教室」へ プロ野球OBによる直接の指導

福島市内中学校８校の野球部生徒他父兄に対し、スポーツで「元気」を取り戻し、元プロ野球選手の直接指導により震災による精神的苦痛を和らげ、また、専門知識を身につけることにより技術が向上するよう被災者支援の一環として野球教室を開催した。

郡山南RC

復興青少年交流親子キャンプ大会

震災により移住を余儀なくされている被災地の子どもたち（小・中・高）への心のケアを目的とし、猪苗代湖畔にてキャンプ（参加人数70余名）を開催した。尚志高等学校IACにも協力をいただき、バーベキュー大会やキャンプファイヤーなどを行い、震災により被害に遭われた家族、原発事故により避難し離れ離れになった家族など、被災地の子ども達との交流が出来た。

2014年（平成26年）8月15日（金曜日）　福島民報

復興青少年交流キャンプ
30、31日に猪苗代湖畔

郡山南ロータリークラブ主催の復興青少年交流親子キャンプ大会は二十、三十一の両日、郡山市開成町の猪苗代湖畔・尚志高校湖畔キャンプ村で開く。百三十人定員のビッグイベントで被災者を含め参加者は無料。二十日までの参加親子を募集している。

東日本大震災で被災した青少年を元気づけ、被災地と郡山の親子交流の場にもしようと企画した。対象は小中高校生とその保護者。当日はゲーム大会やキャンプファイヤー、バーベキュー大会、花火大会、絵り部による思想などが楽しめる。参加者全員にロータリー記念バッジをプレゼントする。

料金は無料だが、現地集合。駐車場使用の場合は一台五百円必要。初日だけの日帰りも受け付ける。申し込み、問い合わせは、同クラブ事務局 電話024（937）2711へ。

郡山南ロータリークラブの矢吹正会長、春日隆幹事、伊藤力男実行委員長はキャンプ大会PRのため十一日、福島民報郡山本社を訪れた。矢吹会長は「楽しい夏の思い出をたくさんやってほしい」と親子での参加を呼び掛けた。

親子キャンプ大会への参加を呼び掛ける（右から）春日、矢吹、伊藤さん。

小野RC

小野篁の絵本
小野RCが贈る
町に3400部

贈呈式に臨んだ（左から）柳田幹事、大千里会長、大和田町長、二瓶さん

小野町の小野ロータリークラブ（RC）は九月三十日、町ゆかりの小野篁（おののたかむら）の来奥千二百年を記念した絵本を町に寄贈した。

絵本は小野の地名の由来となったと伝わる平安時代の公家・小野篁を地元の子どもたちに知ってもらおうと作成した。今昔物語や宇治拾遺物語、田村郡郷土史などの資料を参考に、RC会員の二瓶晃一さんら町民有志でつくる「まちづくり1200年実行委員会」が編集・発行した。費用は国際ロータリー第2530地区の復興補助金を活用し、三千四百部を町に寄贈した。

贈呈式は町役場で行われ、RCの大千里義市会長が大和田昭町長に手渡した。柳田忠夫幹事、二瓶さんが一緒に訪れた。実行委員の代表を務める二瓶さんは「郷土の伝承を学ぶことで、古里を大切に思う気持ちを持ってほしい」と話している。

古（いにしえ）の伝承（メッセージ）　未来へ（絵本の寄贈）

震災後の県内各地でコミュニティの維持が揺らいでいる中、「地域とそのコミュニティの大切さ」、「地域に暮らすことの意味」を地域の方に再認識してもらえるよう、町の基礎を作り上げた伝承の人物の絵本を作成し小野町全戸におよび関係各位に寄贈した。

会津若松城南RC

(5)　2015年（平成27年）3月30日（月曜日）

復興願い勇壮な組踊
「息吹」の子どもたち
若松城南RCの創立30周年事業

会津若松城南ロータリークラブ（RC）創立三十周年記念事業の「現代版組踊（くみおどり）息吹～南山義民喜四郎伝」は二十九日、会津若松市の會津風雅堂で開催され、会津の子どもたちが力を合わせて勇壮な舞台を披露した。

同RCの創立を祝う事業として、同会南町を拠点に活動する現代版組踊のチーム息吹が出演した。同町の小・中・高校生に、会津は会津全域から集ったメンバーが加わり、約五十人が出演した。

子どもたちは江戸時代に厳しい年貢取り立てに反対する農民が立ち上がった「南山御蔵入騒動」を題材にした現代版組踊を繰り広げた。同RCの一層の発展と福島の復興への願いを込め、勇壮な演舞や踊りを披露した。感動的な舞台に、観客約千三百五十人が惜しみない拍手を送った。

公演に先立ち、同RCの西田和弘実行委員長と野口雄介会長があいさつし、室井照平市長が祝辞を述べた。福島民報社から松田英会津若松支社長が出席した。

会津若松城南RCのさらなる発展と福島の復興を願って踊る「息吹」の子どもたち

現代版組踊（くみおどり）「息吹～南山義民喜四郎伝」～会津の元気発信公演～

会津の子ども達（小・中・高校生）が演じる、会津の歴史偉人ミュージカルを主催および運営し、会津に避難している被災者の方々1,200名を招待し、会津の歴史と文化への理解を深めていただくとともに、笑顔とパワーそして明るい希望を届けるミュージカルを開催した。舞台作りや舞台鑑賞を通じて、避難している青少年と会津の青少年との交流を図ることができた。

福島民報　2015年3月30日（月）

二本松RC

「音楽と歌で楽しいひとときを！」

復興支援コンサート

浪江町から避難されている方々、その中でも特に知的障害者施設に通所されている方たちと、二本松市内の知的障害者施設の利用者とその家族、二本松市内にある同様の施設に通所されている方々約200名を招待し、震災後の心のケアを目的として、二本松市コンサートホールにて癒しのコンサートを開催した。

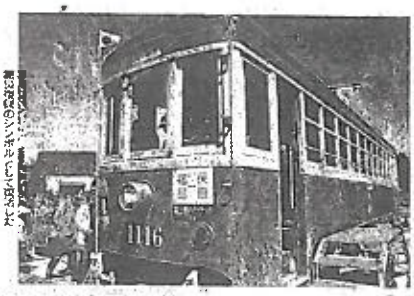
避難者を招待し
復興支援演奏会
二本松ロータリークラブ
二本松ロータリークラブ（野地トヨ子会長）は7日、二本松市コンサートホールで、「音楽と歌で楽しいひとときを！復興支援コンサート」を開催した。
同市のあおぞら福祉会「菊の里」や浪江町から同市に避難しているNPO法人アクセスホームさくらの利用者らを招待した。
コンサートでは、トランペット奏者Nobyさんや高村光太郎の「智恵子抄」にメロディーをつけ、音楽活動をしている歌手モンデンモモさん、ピアニストの砂原嘉博さんを迎え、感動のステージを繰り広げ、来場者を魅了した。

KATEX

保原RC

子どもたちを元気にしようプロジェクト

（避難家族帰還応援…帰って来いよ、子ども達）



"復興"行きチンチン電車

伊達市内の保育園児、幼稚園児、小学生をはじめ、避難をしている同年齢の子ども達、そして伊達市から自主避難をしている子ども達に参加を呼びかけ、音楽の発表、バルーンアートや金魚すくい、飲食の無料提供等子ども達が楽しめる屋外イベントを開催した。参加者は親子約800名。単に子ども達に遊びの機会を提供するだけでなく、子どもと家族の地域との交流の場となり、一人でも多くの親子が帰還し、町が震災前の活気を取り戻せるよう企画した。

福島RC

子どものメンタルヘルスケアセンター設立に向けて車両の贈呈

東日本大震災被災者支援の一環として、長い避難生活で心の病が拡大しつつある子どもの心のケアに資する為、臨床心理士が県内160の中学・高校に出向くカウンセリング活動の足となる車両（中古）を、福島大学子どもメンタルヘルスケア支援室へ寄贈した。

福島大に車と20万円寄付　福島RC

福島ロータリークラブ（RC）は十日、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による子どものメンタルヘルス支援事業を進めている福島市の福島大に車一台と奨学寄付金二十万円を贈った。

同日、同大で贈呈式が行われ、同RCの丹治正博会長（福島稲荷神社宮司）が寄贈を説明した後、中井勝己学長に目録とマスコットキーを手渡した。同RCは今回を含め五年間に計百四十万円の奨学寄付金を贈る予定。

同RCの森川英治社会事業委員長（福島銀行社長）、坪井大雄幹事（福島貸切長巨屋自動車社長）、金子典志人副幹事（福島自産自動車社長）、福岩徳副幹事（テレリ社長）が一緒に訪れた。

同大の功刀俊洋理事・副学長（子どものメンタルヘルス支援事業推進室室長）、牛島清教授（同副学長）、中村信一事務局長が同席した。

中井学長（前列左から2人目）にマスコットキーを手渡す丹治会長（前列左端）ら福島RCと福島大の関係者

2014年9月11日(木)
福島民報

福島南RC

福島市内保育園玩具贈呈

福島市社会福祉協議会を通して、27か所の福島市内保育園を対象に、保育園児の屋外活動充実強化の為、また保育園児の体力増進に寄与しようと「砂遊びセット」を33セット寄贈した。

市内27保育園に砂場遊びセット

福島南RCが寄贈

福島南ロータリークラブ（RC、高橋勇雄会長）は22日、福島市社会福祉協議会を通じ、同市27カ所の保育園に対し、砂場遊びセットを寄贈した。

園児の屋外活動に活用してもらおうと、国際RC2530地区復興補助金の支援を受けて実施した。

寄贈式は同協議会で行われ、高橋会長が金子典宏同協議会長に砂場遊びセットの目録を贈呈。金子会長が各保育園の代表に砂場セットを手渡した。

寄贈に際し、高橋会長は「今後も福島南RCとしてさまざまな活動を続けていきたい」とあいさつ。金子会長は「福島南RCの善意に感謝する」などと謝辞を述べた。同RCの吉田和義幹事、吉田仁一クラブ広報雑誌委員長らが同席した。

金子会長（左から2人目）に目録を手渡す高橋会長（右から3人目）

2014年9月29日(月)
福島民友

本宮RC

原発事故被災地・ふるさと民俗芸能出演交流支援事業

避難されている方々が一般市民と交流のできる民俗芸能大会を開催した。双葉地方の民俗芸能出演を担うと共にロータリアンの職業に係る中から『ロータリークラブ賞』を創設進呈（抽選会賞品）で盛り上げ、交流の場を広げ激励支援した。参加された方へロータリーの周知ならびにイメージアップの為、広報資料の作成、配布を行った。

地元に伝わる伝統芸能を披露する出演者

地元の民俗芸能 披露

本宮で7団体

本宮市民俗芸能大会は7日、同市のしらさわカルチャーセンターで開かれ、同市の各神社太々神楽保存会などが地元に伝わる伝統芸能を披露した。

同大会実行委の主催、市、市教委、本宮ロータリークラブ（RC）の共催。安達地方地域振興文化事業、国際ロータリー第2530地区復興事業の一環。関係者や市民ら約300人が来場した。

同市、浪江町の民俗芸能団体7団体が、東日本大震災からの復興の願いを込めて、民俗芸能を披露。詰め掛けた来場者から盛んな拍手を浴びていた。本宮RCからの賞品と市特産品が当たる抽選会も開かれた。会場では、地元農産物の直売・昼食販売コーナーが設けられ、終日に賞わった。

2014年12月8日（月） 福島民友

県中分区

県中分区高等学校バトミントン大会（県中分区杯）

青少年育成の為、バトミントン大会を開催。県中分区にある小野高校・船引高校・田村高校・本宮高校４校の生徒を対象にバトミントンを通じて体力強化を図り、地域内生徒間の連携意識を高めるよう、避難している高校生に用具を寄贈した。放射能汚染により屋外活動の規制を受けている高校生の為に、屋内運動をする機会を与えることが出来た。

常葉RC

都路中学校支援プロジェクト

都路中学校内体育館への音響設備の寄贈。今年４月の都路地区避難区域解除に伴い、本校舎に戻り授業を再開させたが震災の影響で体育館の音響設備が劣化・破損し、使用が不可能な状態であった。中学校の体育館は地域住民も様々な行事で使用。また非常時の連絡・指示等（防災対策）にも活用できるよう設備を贈り、復興を目指す子ども達を支援した。

放送機器2種類贈る
常葉RCが都路中に

常葉ロータリークラブ（RC、吉田太一会長）は19日、田村市の都路中に放送機器を贈った。

同RCは、体育館備え付けの放送機器と持ち運びができるポータブル放送機器を寄贈。国際ロータリー2530地区に寄せられた復興支援金を活用した。

同校は4月に避難先から本校舎に戻ったが、体育館の放送機器が壊れており、入学式など行事の際は公民館から機器を借りて対応していた。

贈呈式は同校体育館で行われた。吉田会長が「今後の学校生活に役立ててください」とあいさつし、生徒会長の枡井敬翔君（2年）に目録を手渡した。枡井君は「大切に使わせていただきます」とお礼を述べた。

吉田会長から目録を受ける枡井君

2014年11月24日（月）福島民友

福島南RC

県リトルリーグ協会に硬式球をプレゼント

青少年の健全育成に貢献する為、福島県リトルリーグ協会に硬式球100セットを寄贈した。少子化と被災による転出で各リーグのメンバーが減少し、リーグの運営予算が厳しい中、少しでも活動にゆとりを持たせる為に贈呈した。県リトルリーグ連盟より各リーグへ配分表を提出してもらい確認後に贈呈した。

硬式球100ダース贈る
福島南RC　県リトルリーグ野球協に

福島南ロータリークラブ（RC）は十二日、県リトルリーグ野球協会に硬式球百ダースを贈った。

少子化と東京電力福島第一原発事故による避難で選手が減り、運営が厳しくなっている各チームを助けようと、国際ロータリー第2530地区の複合補助金を受けて購入した。

贈呈式は福島市のサンパレス福島で開いた。同地区の野崎崇ガバナーが同協会の内山治理事長に目録を手渡した。内山理事長が同RCの高橋勇雄会長に感謝状を手渡し、「子どもと励まし合いながら努力したい」と話した。

福島リトルリーグ主将の西脇空也君（福島二小六年）が「みんなで全国大会を目指し頑張ります」と決意を述べた。同協会の鈴木清事務局長が同席した。

贈呈式に臨んだ（右から）高橋会長、野崎ガバナー、内山理事長、西脇君、鈴木事務局長

2014年11月16日（日）　福島民報

須賀川ぼたんRC

障害を持っている子ども達が未来の夢をみれるよう絵本をおくる

須賀川市内児童養護施設へ絵本を寄贈。県南地区は震災の被害が大きく、若い保護者の負担も大きくその施設に入っている子ども達は、障害がある故に外に出ることが少ない。大型の絵本を贈り、障害のある子ども達に夢を与えたい。(寄贈先：須賀川市立たけのこ園、社会福祉法人プラナの森はるにれ園、社会福祉法人うつみね福祉会はっぴいチャイルド)

矢吹RC

保育園への遊具類の贈呈

震災後、園児達は放射能被害で屋外での活動を制限され、室内では遊具類不足から保育園生活を制限されている為、テリトリー内の４保育園の園児達（０～５歳児310名）へ三輪車や積み木など50セットの遊具を寄贈した。子ども達が安心して保育園生活が出来ることで園児達の未来と保護者の社会生活地域社会に恩恵を与えることが出来た。

矢吹RC

三輪車、アンパンマンの乗り物、積み木…

4保育園・所に贈る

子どもたちの元気を後押し

2014年11月29日（土） 福島民報

郡山南RC

復興応援プロジェクト

東京米山友愛と尚志高校インターアクトクラブの協力により、(社)富岡町社会福祉協議会主催のイベント「ふくしまつり」に復興応援の為出店し、カレーライスを販売。売上金を同協議会へ寄贈した。当日は米山奨学生、インターアクト・ローターアクトにも運営協力いただいた。学生たちとロータリアンとの交流、富岡町との友好も図ることが出来た。

石川RC

憩いの公園プロジェクト

石川郡内、町内の方々が各種大会やイベントで利用する施設（石川町総合運動公園　クリスタルパーク）に、お孫さん連れの年配の方やお子さんのいる若い夫婦の方にも親しんでいただける遊具(スプリング遊具)を設置。今まで閉じこもりがちだった被災された方々も、これを機会に足を運んでくれるような憩いの公園になるよう設置した。資材の搬入、設置、残土処理など、全会員で行いました。遊具の維持管理は石川町。

子ども用遊具２基贈る

石川ＲＣ 町運動公園内に設置

遊具を寄贈した石川ＲＣのメンバー

石川ロータリークラブ（ＲＣ）は、石川町総合運動公園内に子どもが乗って遊ぶ遊具二基を寄贈した。贈呈式が現地で行われ、清井清一会長が加納武夫町長に目録を手渡した。

子どもたちに元気に外で遊んでもらうため、公園内に遊具を設置した。遊具は小さな子どもたち用で、スカンクとカエルの形をしている。国際ロータリー第２５３０地区の復興補助金の助成を受けた。

贈呈式で清井会長が「子どもたちに楽しく使ってもらいたい」とあいさつした。加納町長が「子どもたちも喜ぶはず。非常にありがたい」とお礼を述べた。

同ＲＣは平成二十一年、公園内に同じ種類の遊具とベンチを寄贈した。今回の遊具は、以前寄贈した遊具の近くに設置された。

福島21RC

「歌で福島を元気に」

個人・団体・年齢も問わない歌の発表会を福島市「こむこむわいわいホール」にて開催（出演者80名、 来場者200名）。一人ひとりが抱えている様々な思いや伝えたいメッセージをステージ上で歌声として発信してもらうことで、福島に生き、共に今を分かち合いながら元気を掴み、各々が前を向いて歩き出せる一助となるよう企画した。

2015年5月19日(火) 福島民報

福島南RC

玩具セット(ソフトブロック)贈呈

東京麹町ロータリークラブとの共同奉仕事業の一環として福島県保育協議会を通し、県内保育園へ室内での遊戯ができる安全な玩具セット（ソフトブロック）を寄贈した。保育園児の体力増進に寄与。

子どもたちにソフトブロックを手渡す秋山会長（手前右）と高橋会長（手前左）

ソフトブロック 県保育協に贈る

麹町、福島南両RC

東京都の東京麹町ロータリークラブ（RC）と姉妹クラブの福島市の福島南RC（福島市）は十五日、県保育協議会（国井降介会長）に子ども用の玩具「ソフトブロック」を十三セット贈った。

麹町RCは東京電力福島第一原発事故を受け、県内の子どもたちの屋内遊びを支援する目的で昨年からブロックを寄贈しており、今回で二回目。

贈呈式は福島市の県総合社会福祉センターで行われ、秋山宗和東京麹町RC会長と高橋勇雄福島南RC会長が市内のあすなろ保育園の園児にソフトブロックを手渡した。

協会はブロックをいわき支部と県北支部に配る。

2015年4月19日(日)
福島民報

滝根RC

「日本古来の豊かな心に触れよう」プロジェクト

（大越町新規、滝根町継続）

児童生徒の幼児期、初等教育期よりの人格形成における家庭教育支援を目的とし、大越町PTA連合会を通じ、対象児童367名に「（親子で読もう）実語教」と「童子教」を寄贈、さらに大越町各小中学校６校の図書館に参考図書として寄贈した。（滝根町管内は昨年度実施済み）また、今後も地域で家庭教育支援講演会を企画し、事業の更なる醸成を図りたい。

地元小中4校に道徳用図書

滝根RC 40周年記念し寄贈

白岩校長（左）に図書を手渡す
真田会長（中央）、先崎幹事

学二～六年生には平安時代から伝わる初等教育書「実語教」の図書一冊、中学生には実語教と鎌倉時代からの教訓書「童子教」の図書各一冊を贈った。

岡RCの真田博行会長、先崎昌吉幹事が四校に届けた。このうち滝根小では白岩二朗校長に手渡した。子どもたちには滝根町PTA連合会を介して配られる。岡RCは来年以降も小学二年生、中学一年生を対象に寄贈を継続する方針。

福島北RC

September Peachプロジェクト

（福島の果樹園応援プロジェクト）

第一次産業に対する風評被害払拭の為、９月に収穫される桃（さくら白桃）などを「セプテンバーピーチ」という新しい概念で売り出し、福島の果樹園を応援。桜の聖母ミリアムRACと共に福島の桃を全国にPRすべく東京の大手町「みでって」と福島市「こらっせ」にて販売会を開催。福島の食の安全をPRすることができた。

県産晩生種モモPRへ

桜の聖母短大のボランティアサークル
ミリアムローターアクトクラブ

来場を呼び掛ける（左から）菅野さん、佐藤さん、笠原さん

2015年9月17日（木）福島民報

2014−15年度地区復興補助金　収支並びに承認一覧

収入の部

前年度繰越金	47,400,525
南相馬RCより返金	1,000,000
福井南RCより義援金	22,902
銀行利息	9,159
合計	¥48,432,586

支出の部

会議No	支援No	申請RC／委員会	プロジェクト名	主な内容	プロジェクト合計金額	補助金申請額	クラブ持出額	送金料	送金日	掲載ページ
繰越事業	2013-2	川俣RC	川俣町スポーツ少年団冬 期交流会	運動会を開催する為、音響機器および運動遊具等の寄贈	751,369	630,000	121,369	540	2015.2.24	6
	2013-18	福島しんたつRC	福島県立盲学校への支 援琴贈呈プロジェクト	福島県立盲学校への教育的支援として琴の寄贈	293,630	249,585	44,045	864	2015.6.29	6
	2013-19	福島北RC	選手がんばれ!! 福島がんばる太鼓フェスタ	福島の元気を PRすべく太 鼓フェスティバルを開催	976,600	830,110	146,490	216	2014.9.12	7
	2013-20	社会奉仕委員会	「福島にこらんしょ！」プロジェクト	復興と風評被害払拭を目的 に全国全世界のロータリアン に福島に来訪していただくPR事業	980,000	882,000	98,000	540	2015.6.30	7
1	2014-1	梁川RC	水ひかる里（まち）ピア ノコンサート　豊かな音を 楽しみながら絆を深めよう	伊達市立梁川小学校多目 的ホールへのグランドピアノの寄贈	1,512,432	1,000,000	512,432	540	2015.6.29	8
1	2014-2	原町中央RC	南相馬応急手当普及員 会（FASS南相馬）支援事業	復興活動団体へ、スタッフユニフォーム及び訓練用AEDを寄贈	356,580	300,000	56,580	864	2014.10.8	8
1	2014-3	福島西RC	福島西ロータリークラブ 主催「少年野球教室」へプロ野球OBよる直接の指導	被災者支援の一環として野 球教室を開催	650,000	455,000	195,000	540	2015.3.23	9
1	2014-4	郡山南RC	復興青少年交流親子キャ ンプ大会	被災地の子どもたち（小・中高）への心のケアとして、キャンプを開催	897,864	599,691	298,173	540	2014.11.4	9
1	2014-5	小野RC	古（いにしえ）の伝承（メッセージ）未来へ	地域の伝承を絵本にし小野町に寄贈	977,400	877,400	100,000	540	2014.12.11	10
1	2014-6	会津若松城南RC	現代版組踊 （くみおどり ）「息吹〜南山義民喜四郎伝 」〜会津の元気発信公演〜	被災者の方々を招待 し、希望を届けるミュージカルを開催	3,800,000	1,300,000	2,500,000	864	2015.5.20	10
1	2014-7	二本松RC	「音楽と歌で楽しいひとときを！」復興支援コンサ ート	震災後の心のケアを目的と して癒しのコンサートを開催	375,740	330,000	45,740	864	2014.12.11	11
1	2014-8	保原RC	子どもたちを元気にしよ うプロジェクト（避難家族帰還応援・・・帰って来いよ、子ども達）	避難している子ども達が戻 ってこれるよう、元気になれるよう子どもイベントを開催	1,640,373	967,000	673,373	540	2015.6.1	11
1	2014-9	福島RC	子どものメンタルヘルス ケアセンター設立に向けて 車両の贈呈	子どものメンタルヘルスケ アセンター設立に向けてカウンセラーの移動車両の贈呈	1,800,000	1,000,000	800,000	540	2014.11.4	12
1	2014-11	福島南RC	福島市内保育園玩具贈呈	保育園児の屋外活動充実強 化の為に、「砂遊びセット」を贈呈	396,000	356,400	39,600	540	2014.11.17	12
1	2014-12	本宮RC	原発事故被災地・ふるさと民俗芸能出演交流支援事業	避難の方々が一般市民と交 流のできる民俗芸能大会の開催	350,000	250,000	100,000	216	2014.12.25	13
2	2014-15	県中分区	県中分区高等学校バトミ ントン大会（県中分区杯）	バトミントン大会を開 催。避難している高校生へ用具を 寄贈	200,000	170,000	30,000	540	2015.2.24	13
2	2014-16	常葉RC	都路中学校支援プロジェ クト	都路中学校内体育館への音 響設備の寄贈	733,320	633,320	100,000	864	2014.12.11	14
2	2014-18	福島南RC	福島県リトルリーグ協会 に硬式球をプレゼント	福島県リトルリーグ協会に 硬式球を寄贈	997,920	898,128	99,792	540	2014.12.17	14

会議No	支援No	申請RC／委員会	プロジェクト名	主な内容	プロジェクト合計金額	補助金申請額	クラブ持出額	送金料	送金日	掲載ページ
2	2014-19	須賀川ぼたんRC	障害を持っている子ども 達が未来の夢をみれるよう 絵本をおくる	須賀川市内児童養護施設へ の絵本の寄贈	285,000	255,000	30,000	864	2015.1.15	15
2	2014-20	矢吹RC	保育園への遊具類の贈呈	保育園への遊具類の寄贈	528,000	475,000	53,000	864	2015.4.3	15
2	2014-21	郡山南RC	復興応援プロジェクト	東京米山友愛クラブと富岡町復興応援イベントへ出店	255,960	217,566	38,394	540	2015.1.15	16
3	2014-24	福島21RC	「歌で福島を元気に」	個人・団体・年齢も問わない歌の発表会を開催	1,059,600	500,000	559,600	864	2015.6.29	17
3	2014-25	福島南RC	玩具セット（ソフトブロック）贈呈	東京麹町 RCとの共同で県 内保育園に玩具を寄贈	269,400	242,460	26,940	864	2015.6.1	17
					¥20,087,188	¥13,418,660	¥6,668,528	¥14,688		

支援金	1	浪江RC	避難地区のクラブ維持活 性化支援金（7月1日現在 の会員数37名×一人50,000円）	被災地RCへの復興支援		1,850,000		540	2014.12.17	
	2	富岡RC	避難地区のクラブ維持活 性化支援金（7月1日現在 の会員数38名×一人50,000円）	被災地RCへの復興支援		1,900,000		540	2014.12.17	
	3	川俣RC	避難地区のクラブ維持活 性化支援金（7月1日現在 の会員数（避難）7名×一人50,000円）	被災地RCへの復興支援		350,000		540	2014.12.17	
					支援金合計	¥4,100,000				

事務費引継ぎ金	報告書代金	2013-14年度復興支援報告書　印刷代ならびに郵送代		467,100		0		
	会議費	復興支援会議　会議費等		94,537		0		
	引継ぎ金	2015-16年度ガバナー事務所への送金		24,200,879		540	2015.7.6	
	送金手数料	送金手数料(期首繰越金送金手数料525円含む)		17,373				
			小計	¥24,779,889				
			合計	¥42,298,549				

監査後

2	2014-22	石川RC	憩いの公園プロジェクト	運動公園への遊具の寄贈	424,000	230,000	194,000	216	2015.9.30	16
3	2014-28	湯根RC	「日本古来の豊かな心に触れよう」プロジェクト（大越町新規、湯根町継続）	家庭教育支援として図書の寄贈	968,792	820,000	148,792	216	2015.9.4	18
3	2014-30	福島北RC	September Peach プロジェクト（福島の果樹園応 援プロジェクト）	風評被害払拭、桜の聖母ミリアムRACと共に福島の桃を全国にPR	714,000	634,168	79,832	216	2015.10.12	18
報告書代金			2014-15年度復興支援報告書	350冊印刷、送料（地区内・地区外）		589,400		216	2015.10.27	
					¥2,106,792	¥2,273,568	¥422,624	¥864		

本年度収入額	¥48,432,586
本年度支出額	¥44,572,981
次年度繰越金	¥3,859,605

監査後の支出金額含む

次年度引継ぎ(申し送り)…事業完了が伸びたため

3	2014-29	いわき桜RC	「震災・原発と福島の女 性たち」記録集の英語版出 版事業	「震災・原発と福島の女性 たち」記録集の英語版出版事業	972,000	872,000	100,000

国際ロータリー　第2530地区
2015ー2016年度　災害復興支援本部　組織図

本部長
G　酒井　善盛

アドバイザー
PG　佐原　　元
PG　阿久津　肇
PG　大橋　廣治

事務局
◎　川崎　博祐
○　青木　謙二

経　理
◎　大谷　和年
○　石田　　弘
佐藤　吉宏

委	員
地区研修委員会	ガバナー補佐
田中　文雄	三本杉栄広
渡辺　健寿	中田　博道
野地　利雄	石黒　秀司
地区運営委員会	鈴木　和夫
関　　盛夫	佐瀬　正行
土屋　繁之	茨木　龍芳
挽野　善孝	佐藤　利男
社会奉仕委員長	遠藤　充洋
佐久間好夫	IT委員会委員長
財団委員長	平井　義郎
橋本　芳家	元地区幹事
元危機管理委員会委員	鈴木修一郎
安藤　元二	

防護服を着て福島第一原発電所の視察をされた「さんさん会」のメンバー。2008 － 09 年度 RI 会長、李東建氏を囲んで当時のガバナーの方々。

東日本大震災
2015－16年度　復興支援報告

国際ロータリー第2530地区　2015－16年度ガバナー
復興支援本部長　酒井　善盛

福島 RC

福島ロータリークラブ
青少年国際理解フォーラムを主催

2015年12月7日

福島の青少年が海外の青少年と交流の機会を増やし、お互いの国を理解し、交流を深めることは、将来の福島の復興を考え、お互いの交流の機会を増やし、青少年の国際理解に努めました。

福島市内小学生の読書活動支援

2016年9月16日

読書奨励に意欲的な取り組みを行っている市内小学校10校に各10万円（合計で100万円）相当の図書を贈呈し、その取り組みのさらなる推進を応援しました。

福島中央 RC

市民の悩みに助言
「あれこれなんでも無料相談会」開催

2016年2月6日

民の悩みに助言
北第1分区ロータリー
島、二本松、福島南、
西、二本松あだたら、
21、福島中央の東北第
区ロータリークラブは
、福島市のエスパルで
れこれなんでも無料相
を開き、来場者の悩
助言した。
員がそれぞれの専門分
相談や悩み事に応じる
「税金・遺言・相続」不動
定をめぐる相談が特に
、会員の税理士らが熱
話に聞き入っていた。

福島南 RC

子ども達の夢を育む「こむこむキッズワークショップ号」車両を寄贈

2015年10月28日

被災した多くの福島の子供たちの心のケア支援のため、年間2235回（平成26年度）のワークショップを実施しているこむこむ館に、学校では実施しにくい体験学習、キッズワークショップに使用する展示物・道具・機材等を運搬する車輌を寄贈しました。

福島 21RC

歌で福島を元気に

2016年9月16日

老若男女色んなジャンルの歌に思いを込め披露し福島を元気にし、様々な賞を贈呈しました。

郡山 RC

「2016 郡山市まちなか 子ども夢駅伝競走大会」に協賛

2016年5月28日

駅伝大会で使用したゼッケン、タスキ、スタッフ用帽子などの提供しました。

郡山アーバン RC

希望が丘学園に遊具・絵本を贈呈

2016年6月29日

震災後に屋外で遊ぶ機会が少なくなり、屋内の遊具、絵本等の痛みが激しくなったため、新しい遊具・絵本等を贈呈しました。

聾学校にロジャーペン・マイリンク贈呈プロジェクト

2016年6月28日

聾学校にロジャーペン（ワイヤレスマイク送信器）とマイリンク（補聴受信器）を贈呈し、児童・生徒が利用することで健常者と変わらないコミュニケーション能力を修得する一助としました。

郡山南 RC

「うつくしま福島　福島の安全でおいしいものを食べよう」
～県おいしい農畜産物サポーター養成講座～

2015年10月17日

福島県農畜産物の風評払拭のため、県民自身が県参品の安全性への理解を深め、他県の方にも県参品の安全性をロコミで広めていく「県参品サポーター」「食の伝道師」になってもらうために、講座を開催しました。
放射性物質の検査体制の説明をし、計測方法を知って頂き、県内農産物の安全性や魅力を広めるお手伝いをしました。

(3)　2015年（平成27年）10月7日（水曜日）

本県農畜産物の風評払拭へ
17日に安全理解講座

国際ロータリー第2580地区と郡山南RC

須賀川 RC

須賀川養護学校体育館 ステージ幕の新調補助

2015年12月18日

震災および自らの障害と闘い、勉学に励む須賀川養護学校の児童生徒の、様々な活動の発表の場となる体育館のステージ幕の新調に対し、後援会と併せてその費用を補助しました。

小野 RC

県立小野高等学校・ 蕎麦プロジェクトに指導協力

2015年11月20日

東日本大震災・福島第一原発事故からあぶくま地域がそばによる復興を目指し、「あぶくま高原そば振興協議会」が中心となり活動を展開。そんな中で小野高校がそば打ちに挑戦し、全国高校生そば打ち選手権大会に出場。今後の若いそば打ち達人と地域振興をはかるため、そば打ち道具を寄贈しました。

県中分区４高等学校 バドミントン大会を開催

2015年12月20日

第６回県中分区４高等学校バドミントン大会を主催し、用具などを支援しました。

川俣 RC

「ありがとう」川俣高校野球グラウンドプロジェクト

2016年5月24日

県立川俣高等学校の野球グラウンドのベンチを増築、各種大会に使用するテント2張、グラウンド整備用レーキを贈呈しました。

常葉 RC

「文化の館ときわ」に椅子100脚寄贈

2015年11月11日

震災避難時の使用による破損、及び約40年間にも渡る使用期間による老朽化のため、イベントホール内の多数の椅子が何かしらの破状況でありました。当施設は子各種団体のイベント会場となっており、老若男女を問わず幅広い世代から使用され、災害時の避難所ともなるため、施設を安全に使用していただくために、新しくスタッキングチェアを寄贈し支援を実行しました。

石川 RC

玉川村総合運動公園に遊具3基を寄贈

2016年4月27日

村民の方々や被災された方々にも、足を運んで頂けるような憩いの公園になるように、遊具（スプリング遊具）を設置しました。資材の搬入、設置、残土処理など、専門の担当ロータリアンに責任をもって関わってもらい、全会員で行いました。

船引 RC

船引小にサブステージ寄贈

2016年6月24日

船引RC「末永く活用して」

船引小にサブステージ寄贈

会津若松南 RC

福島県風評被害払拭「知産知消」大看板設置

2016年4月24日

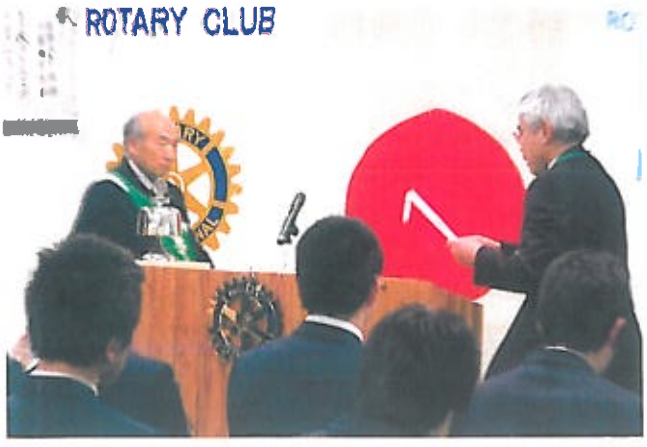
県内産品の風評被害払拭のため「地産地消」ならぬ「知産知消」のすすめ…… 知っている人が作っているから安心、知っている人が食べてくれるから手を抜けない。 この信頼関係による経済交流の輪を広げるためのスローガンとして「知産知消」の看板を設置しました。

田島 RC

県立田島高校出入口に門灯を設置

2016年2月5日

県立田島高校出入口は曲がり角で灯りも無く、近くに保育所、町有団地があり、車の往来も多居場所でした。門灯設置で地域の方々にも安全・安心して頂けると思います。



猪苗代 RC

「私も僕も・みんなでつくろう花壇プロジェクト」

2016年6月21日

ちゅうりっぷ保育園の園庭に、子供たちの情操教育の一環として桜の木の植栽と花壇を整備しました。子供たちが草花を自ら手入れをして、自ら育て上げるという教育が実践出来るようになりました。

花あふれる保育園に　島

猪苗代RC 園児と球根植え　福

猪苗代町の猪苗代ロータリークラブ（RC）は十九日、福島市のちゅうりっぷ保育園にハンジーの苗とヤマユリの球根を寄贈した。国際ロータリー第2453の地区の復興補助金を活用した「私も僕も・みんなでつくろう花壇プロジェクト」の一環。東京電力福島第一原発事故に伴う除染で花が消えた園の花壇に再び花を植え、植物を大切にする心を育もうと企画した。江花祥雄クラブ奉仕委員長と江川則子園長は長

NPO 法人「輝く猪苗代湖を作る県民会議」に軽ダンプカー寄贈

2015年12月21日

特定非営利法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」が発足し、漂着水草回収作業等の活動を継続しています。この法人に、軽ダンプカーを寄贈して水草運搬作業を効率化し、きれいな猪苗代湖と泳げる砂浜を多く作り、復興支援に役立てました。

子供たちに安心安全でスキーができる環境を創るプロジェクト・町にスノーモービル贈呈

2016年6月10日

怪我や事故の対応のレスキューのスノーモービルが、古く、台数も少ない状況であるため、現在お越しいただいている子供たちや学生に、安全で安心してスキーができる環境を創ってあげたいとプロジェクトを立ち上げました。緊急の対応ができ、安全で安心してスキーを楽しんでいただくために、レスキューするスノーモービルを贈り、事故の起きないようパトロールしたり、レスキューができる環境になりました。

いわき平中央 RC

「震災を記録にとどめ後世に伝える－復興支援・５年の歩み－」発刊

2016年６月11日

これまでの支援に対する感謝と奉仕活動の記録、震災の記録やクラブ会員の想いをまとめ、震災の教訓と風評被害の払拭を訴え、ロータリアンを中心に全国に発信しました。具体的には、支援を受けたクラブの情報収集・その際の活動内容の確認と資料収集、クラブ会員からの原稿提出・整理、冊子の企画・編集、写真撮影、発送業務を行いました。

東日本大震災
記録誌を発刊
平中央ロータリークラブ

新聞等媒体の記事掲載
① 2016年６月11日
いわき民報（夕刊）記事

いわき常磐 RC

いわき市豊間中学校へ電子黒板を寄贈

2015年12月

津波被害を受けた豊間中学校に対し、最新の設備を寄贈し、より良い学びの環境を提供することで、震災復興の勇気と希望を持ってもらおうと、電子黒板を寄贈しました。

いわき民報
THE IWAKI MINPO
3月12日（土曜日）
震災5年に思い込める
カップ灯ろう2000基に点灯
河津桜が見ごろ迎える
仏越町の火力グラウンド

東日本大震災の相双・いわき・復興祭

2016年３月11日

震災で犠牲になった方々への慰霊と復興への思いを込め、「3.11 希望の灯り」モニュメントがある平中央公園にて、カップローソクにメッセージを添えローソクに火を灯し、多くの市民達と祈りのつどいを行いました。

いわき桜RC

「震災・原発事故と福島の女性たち」記録集の英語版出版

2016年3月10日

1000年に一度と言われる経験したことのない震災・津波のほか、原発避難した女性たちが、未曽有の災害にあって何をどのように行動したかを記録し、今後の防災や災害予防対策の参考になる記録集。それを英文化したことにより、大使館などを通じて世界に情報発信できたと思います。

被災地の現状、体験―
―海外にも伝えたい

いわき平東RC

劇団四季ミュージカル公演の共催

2015年11月10日

生の舞台（ミュージカル）を観劇することにより被災地域の青少年の心のケア及び教育的支援につながるだけではなく、地域の上質な舞台芸術を提供することにより、いわき・相双地区の文化の復興振興に寄与しました。

福島民報新聞掲載記事

いわき平東RC創立50周年
一流の芸術に触れて
ミュージカルに中高生招待

原町中央 RC

被災子どもたち支援事業・NPO フロンティア南相馬に車両贈呈

2016年1月30日

被災した子どもたちにイベント事業を通じ心のケアを実施。また通学路の放射線量を測定して安全な通学路を確保したり、子供たちのイベント送迎や、線量測定に会員の自家用車を拠出して行っているNPO法人フロンティア南相馬に対し、送迎・作業用車を寄贈しました。

南相馬 RC

聖愛保育園にツリーハウスを寄贈

2016年6月

原町聖愛保育園に、子供達に夢と希望を持ってもらおうと、ツリーハウスを寄贈しました。

小野田病院に椅子20脚贈呈

2015年10月6日

オープン予定となった小野田病院新外来棟に、東京立川こぶしRCと共同で、待合椅子20脚を寄贈しました。

2015－16年度地区復興補助金収支並びに承認一覧（1）

収入の部

前年度繰越金	28,060,484
いわき常磐RCから返金	73,360
銀行利息	1,851
合計	28,135,695

支出の部

申請No	クラブ名	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト合計金額	補助金申請額	クラブ持出額	承認日	備考
繰越事業	いわき様	「震災・原発と福島の女性たち」記録集英語版出版事業	「震災・原発と福島の女性たち」記録集英語版出版事業	972,000	872,000	100,000	前年度	
1	福島南	「こむこむキッズワークショップ号」寄贈	被災した多くの福島の子供たちの心のケア支援のため、年間2235回(平成26年度)のワークショップを実施しているこむこむ館に、学校では実施しにくい体験学習、キッズワークショップに使用する展示物・道具・機材等を運搬する車輌を寄贈。	2,000,000	1,400,000	600,000	8月8日	
2	猪苗代	NPO法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」に軽ダンプカー寄贈プロジェクト	NPO法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」が発足し、継続して水環境改善活動を進めるにあたり、軽ダンプカーを寄贈。	1,412,364	988,655	423,709	8月8日	
3	郡山南	「うつくしま福島　福島の安全で美味しいものを食べよう」	県民自身が県産品の安全性への理解を深め、他県の方にも県産品の安全性をロコミで広めていく「県産品サポーター」「食の伝道師」になってもらうために、まずロータリアンと家族になってもらい、福島県の復興に寄与する。	750,000	637,500	112,500	8月8日	
4	南相馬	患者様のためのロビーチェア寄贈	震災後経営厳しい最中、1年掛かりで外来棟のオープン予定となった小野田病院新外来棟にロビーチェアを寄贈する。	2,067,120	1,067,120	1,000,000	8月8日	
5	小野	県立小野高県高等学校 そばプロジェクト	東日本大震災・福島第一原発事故からあぶくま地域がそばによる復興を目指しあぶくま高原そば振興協議会が中心となり活動を展開。そんな中で小野高校がそば打ちに挑戦し、全国高校生そば打ち選手権大会に出場。今後は若いそば打ち達人と地域振興をはかるため、小野高校農業技術系列、作物班にそば打ち道具を寄贈。	686,880	586,880	100,000	10月10日	
6	須賀川	福島県立須賀川養護学校生徒の活動支援体育館ステージ幕の新調補助	震災および自らの障害と闘い、勉学に励む養護学校の生徒が、様々な活動の発表の場となる体育館のステージ幕の新調に対し、後援会と併せてその費用を補助する。	587,304	150,000	437,304	10月10日	
7	いわき常磐	津波被災中学校に震災復興の勇気と希望を与える	豊間中学校はいまだに豊間小学校に間借りしており、全校生徒は家々も破壊されたため、他の地域に避難を余儀なくされている。この子供達に未来への活力と希望を与えるため、いわき市教育委員会で推奨している電子黒板を寄贈。	893,160	800,000	93,160	10月10日	
8	常葉	常葉地域・町民支援プロジェクト	文化の館ときわイベントホールは、約40年間にも渡る試用期間によって老朽化が起きているが、町内には飲食ができて大人数を収容できる施設がここだけである。町民の憩いの場であり、災害時の避難場所となる当施設を安全に使用してもらうために支援をしたい。	871,560	771,560	100,000	10月10日	
9	石川	元気なたまかわ応援プロジェクト	平成28年4月玉川村認定こども園(仮称）開園に伴い、隣接するたまかわ文化体育館,図書館などの周辺施設に遊具三基を寄贈する。	735,480	661,932	73,548	10月10日	
10	原町中央	被災子どもたち支援事業	被災した子どもたちにイベント事業を通じ心のケアを実施。また通学路の放射線量を測定して安全な通学路を確保したり、子供たちのイベント送迎や、線量測定に会員の自家用車を提出して行っている。	2,000,000	1,400,000	600,000	10月10日	
11	いわき平中央	震災を記憶にとどめ後世に伝える	多くのRCや人々から多大な支援をいただいたが、それらの支援に対する感謝と事仕活動の記録、震災の光と影や震災の記録、クラブ会員の感いなどをまとめ、全国に発信し、福島で生きるロータリアンとして風評被害の払拭と震災の教訓を訴え、震災5年目のマイルストーンとする。	964,800	886,000	98,800	10月10日	
12	猪苗代	私も僕も-みんなでつくろう花壇プロジェクト	ちゅうりっぷ保育園の子供たちへの情操教育の一環として様の木の植栽と花壇を整備し、子供たちに草花を自ら手入れして自ら育て上げるという教育を実践させることを目的とし、園児の人格形成の一翼を担う。	600,480	540,000	60,480	10月10日	
13	福島	福島市内小学生の読書活動支援	福島市内の小学生は震災後十分な学習環境が確保されないため学力低迷が続いている。学力低迷の根本には読解力に代表される国語力の低下がある。小学校では読書奨励によってこの改善を図っているが、各校の取り組みにはかなりの差がある。そこで意欲的な取り組みを行っている学校10校に図書を贈呈し、その取り組みのさらなる推進を応援するとともに、それ以外の学校に刺激を与え、新たに取り組むきっかけとする。	990,000	880,000	110,000	10月10日	
14	福島	福島RC青少年国際理解フォーラム	福島の青少年が海外の青少年と交流の機会を増やし、お互いの国を理解し、交流を深めることは将来の福島の復興を考えるとき、非常に重要で必要なことと考える。そこでお互いの交流の機会を増やし、青少年の国際理解に努める。	400,000	360,000	40,000	10月10日	
15	小野	県中分区高等学校バトミントン大会（県中分区杯）	県中分区にある小野高校・船引高校・田村高校・本宮高校４校の生徒を対象にバトミントンを通じて体力の強化を図り、地域内生徒間の連携意識を高めるよう青少年育成に努めたい。遊離している高校生に用具を与え、運動の機会を与えたい。	200,000	170,000	30,000	10月10日	

2015－16年度地区復興補助金収支並びに承認一覧（2）

申請No	クラブ名	プロジェクト名	活動の主な内容	プロジェクト合計金額	補助金申請額	クラブ持出額	承認日	備考
16	会津若松南	福島県風評被害払拭看板設置プロジェクト	「地産地消」は経済効果が地域の域内で円を閉じてしまうが、「知産知消」は海を越えていく力を有する。信頼関係による経済交流の輪を地域間内だけでなく世界中にこの輪を広げたいと大分県の竹田市首藤勝次市長は提唱している。この考え方は必ずや福島県の県内産品の風評被害の払拭に繋がると信じ応援したい。	972,000	372,000	600,000	10月10日	
17	福島21	歌で福島を元気に	個人・団体・年齢を問わない歌の発表会。歌の発表ができる機会を提供することで出演者・来場者共に元気に復興への道を歩んでいく足がかりとなる催しにする。	1,300,000	910,000	390,000	10月10日	
18	田島	奥会津に未来に輝く灯火	田島高校の出入り口に門灯をつけ地域を明るく安全にする。	999,000	899,000	100,000	1月24日	
19	川俣	「ありがとう」川俣高校野球グラウンドプロジェクト	野球大会を継続するための野球グランドを整備する。	881,372	793,000	88,372	1月24日	
20	郡山	「2016郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会」	中心市街地を会場に、子ども参駅伝競走大会を開き、人々との交流を通して郡山市のイメージアップを図る。	773,604	700,000	73,604	1月24日	
21	いわき平東	劇団四季ミュージカル公演の共催および、いわき・相双エリアの文化の復興と振興に寄与。	生の舞台（ミュージカル）を、地域に住まう人たちの心の癒しとして「劇団四季」の公演を提供する。	2,000,000	1,200,000	800,000	1月24日	
22	福島中央	あれこれなんでも相談会	福島近郊に避難されている方々や親御(老人、ご夫人)、一般市民から様々な困りごとや悩みごとの相談に応え、これらの活動を通してロータリーの理解を深めてもらう。	817,340	429,840	387,500	1月24日	
23	いわき常磐	東日本大震災の相双・いわき　復興祭	東日本大震災が起きてからH28年3月11日で5年目を迎えるにあたり復興祭を行う。	715,176	640,000	75,176	1月24日	
24	猪苗代	子供たちに安心安全でスキーができる環境を創るプロジェクト	震災前の約５０％しか戻ってきていない現状で、現在来ている子供達や学生達が安全で安心してスキーを楽しめる環境を創る。	999,000	899,100	99,900	1月24日	
25	郡山アーバン	２０周年記念事業遊具・絵本等贈呈プロジェクト	希望ヶ丘学園（知的障害を持つ子供達のための保育所）に、震災後に屋外で遊ぶ機会が少なくなり、屋内の遊具や絵本等の痛みが激しくなったため、新しい遊具、絵本等を贈呈する。	198,520	178,668	19,852	1月24日	
26	岡相馬	保育園にツリーハウス寄贈	情操教育の一環としてツリーハウスを寄贈する。	2,000,000	1,400,000	600,000	1月24日	
27	郡山アーバン	20周年記念事業ロジャーベン・マイリンク贈呈プロジェクト	ロジャーベンとマイリンクを養学校に贈呈し、児童・生徒が健常者と変わらないコミュニケーション能力を修得する一助とし、障がいを持つ児童・生徒が健常者と変わらぬ社会生活をすごせるようにロータリークラブが導く。	245,160	220,644	24,516	1月24日	
28	船引	楽しいスクールライフ応援プロジェクト②	体育館のステージ前部に階段状のサブ舞台(2段)を設置することにより、子どもたちの様々の発表活動を行いやすくするとともに、発表の機会を確保する。	450,000	400,000	50,000	1月24日	
			補助金合計	28,482,320	21,193,899	7,288,421		

支援金	高岡	避難地区のクラブ維持活性化支援金（7月1日会員数39名×50000円）			1,950,000		
	滝江	避難地区のクラブ維持活性化支援金（7月1日会員数37名×50000円）			1,850,000		
	川俣	避難地区のクラブ維持活性化支援金（7月1日会員数8名×50000円）			400,000		
			支援金合計		4,200,000		

事務費等	会議費等	復興支援会議・報告書作成委員会会議費等			347,417		
	報告書作成費等	東日本大震災支援報告書作成委員会へ			2,370,403		
	送金手数料	補助金・会議費等送金手数料			23,976		

本年度収入額	28,135,695
本年度支出額	28,135,695
残額	0

ドイツ ヘレンベルクロータリークラブからの友情

Welcome

WELCOME
Sweet home
ENTRANCE

国際ロータリー第2530地区
東日本大震災支援報告書編集委員会

委員長	酒井　善盛	2015－2016年度　ガバナー
副委員長	野地　利雄	福島南ＲＣ
委　員	安藤　元二	郡山西ＲＣ
	小澤　　積	南相馬ＲＣ
	伊藤　淳一	福島21ＲＣ
	野口美佐子	南相馬ＲＣ
顧　問	阿久津　肇	2002－2003年度　ガバナー

2016年12月

本誌は2010～2015年まで発行された各年度ごとの支援報告書を転載しております。

そして未来へ

東日本大震災支援報告書編集委員会　副委員長　野地　利雄

2011年2月22日、ニュージーランドで日本人28名の死者を出したカンタベリー地震が起こりました。遠い外国の報道をドラマの一場面のようにテレビで観ておりました。

それから20日も経たない3月11日に国内史上最大マグニチュード9.0の大地震に見舞われるとは、我々の誰一人として想像していなかったでしょう。

まして福島県は、地震にはほぼ無縁の県でした。最悪なことに「原発は絶対安全」と言い切っていたはずにも関わらず、震災の翌日に水素爆発を起こし、放射能が漏れ出すという悪夢のような大惨事となりました。

あれから丸5年が経過し、次々と日本各地に天災が降りかかっております。東日本大震災の被災地3県の復興は遅々としながらも、新たに被災地が発生し、私たちの復興も惨事も過去の1ページとして忘れ去られようとしていますが、放射能に汚染されたことに関しては、忘れてくれないようです。

折しも復興五輪を掲げ、東日本大震災の3県にてオリンピック競技を開催するかどうかが議論に上がっております。正直、何をもって復興というのか疑問がありますが、あの震災を振り返れば、未曾有の大惨事に立ち向かい、ロータリアンとして自身を顧みず、分け隔てなく支援活動を行った、地区ロータリアンの顔を思い出します。

陣頭指揮に立ち、率先して昼夜なく活動した大橋パストガバナー始め、大阪から一睡もせずトラックで支援物資を届けられた米田真理子パストガバナー。自家用機を自ら操縦し、医療資材を運んでくださった明石西RCの西大條公一会員。フランスからシェルターボックスの説明に来福したJohn Disk氏と2520地区の笹氣パストガバナー。その他、国内外のロータリアンから多くの支援物資・義援金も頂きました。中には1日1ドルにも満たない所得で生活するアフリカ諸国からの義援金もありました。今もこの時を思い出せば、目頭が熱くなりますし、思い出を語ればきりがありません。

日本国内また世界すべてのロータリアンの活動記録を後世に残し、教訓として活かして頂ければ、幸甚の至りでありますし、この素晴らしいロータリアンの一員であることを皆さん、誇りに思い、また新たな奉仕活動の一歩を進んで頂きたいと思います。

最後にこの活動記録報告書の編集に関わって下さった全ての方々に感謝申し上げ、編集後記とします。

感謝

Fukushima

国際ロータリー第2530地区　東日本大震災支援報告書